

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅱ－1		指定団体等の指定状況		区分	令和5年度(千円)	令和4年度(千円)	区分	令和5年度(千円・%)	令和4年度(千円・%)
							財政健全化等	×	歳入総額	27,192,700	26,482,459	実質収支比率	2.4	6.9
市町村名		銚子市		地方交付税種地	1-3		財源超過	×	歳出総額	26,746,160	25,361,353	経常収支比率	92.1	91.0
							首都	×	歳入歳出差引	1,121,106	( 92.9 )	( 92.8 )		
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	93,108	103,298	標準財政規模	14,934,447	14,844,953
								×	実質収支	353,432	1,017,808	財政力指数	0.58	0.59
人口		令和2年国調(人)	58,431 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造(※5)</th> <th>中部</th> <td>×</td> <th>単年度収支</th> <td>-664,376</td> <td>-203,531</td> <th>公債費負担比率</th> <td>17.1</td> <td>17.3</td>	産業構造(※5)			中部	×	単年度収支	-664,376	-203,531	公債費負担比率	17.1	17.3
		平成27年国調(人)	64,415 <th>過疎</th> <td>×</td> <th>積立金</th> <td>82</td> <td>18</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>				過疎	×	積立金	82	18	健全化判断比率		
		増減率(%)	-9.3 <th>山振</th> <td>×</td> <th>繰上償還金</th> <td>0</td> <td>0</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-
住民基本台帳人口(※7)		令06.01.01(人)	55,016 <th>区分</th> <th>令和2年国調</th> <th>平成27年国調</th> <th>低開発</th> <td>×</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>0</td> <td>0</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率	-	-
		うち日本人(人)	52,452 <th rowspan="2">第1次</th> <td>2,949</td> <td>3,307<th>指数表選定</th><td>○<th>実質単年度収支</th><td>-664,294</td><td>-203,513</td><th>実質公債費比率</th><td>13.4</td><td>12.2</td></td></td>	第1次	2,949	3,307 <th>指数表選定</th> <td>○<th>実質単年度収支</th><td>-664,294</td><td>-203,513</td><th>実質公債費比率</th><td>13.4</td><td>12.2</td></td>	指数表選定	○ <th>実質単年度収支</th> <td>-664,294</td> <td>-203,513</td> <th>実質公債費比率</th> <td>13.4</td> <td>12.2</td>	実質単年度収支	-664,294	-203,513	実質公債費比率	13.4	12.2
		令05.01.01(人)	56,373 <td>10.8</td> <td>10.9<th></th><td><th></th><td></td><th>将来負担比率</th><td>65.1</td><td>67.8</td></td></td>		10.8	10.9 <th></th> <td><th></th><td></td><th>将来負担比率</th><td>65.1</td><td>67.8</td></td>		<th></th> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>65.1</td> <td>67.8</td>			将来負担比率	65.1	67.8	
		うち日本人(人)	53,875 <th rowspan="2">第2次</th> <td>7,930</td> <td>8,844<th></th><td><th>基準財政収入額</th><td>7,459,632</td><td>7,320,745</td><th rowspan="6">資金不足比率(※4)</th><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td></td></td>	第2次	7,930	8,844 <th></th> <td><th>基準財政収入額</th><td>7,459,632</td><td>7,320,745</td><th rowspan="6">資金不足比率(※4)</th><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td></td>		<th>基準財政収入額</th> <td>7,459,632</td> <td>7,320,745</td> <th rowspan="6">資金不足比率(※4)</th> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="6"></td>	基準財政収入額	7,459,632	7,320,745	資金不足比率(※4)		
		増減率(%)	-2.4 <td>29.2</td> <td>29.3<th></th><td><th>基準財政需要額</th><td>12,784,545</td><td>12,587,956</td></td></td>		29.2	29.3 <th></th> <td><th>基準財政需要額</th><td>12,784,545</td><td>12,587,956</td></td>		<th>基準財政需要額</th> <td>12,784,545</td> <td>12,587,956</td>	基準財政需要額	12,784,545	12,587,956			
		うち日本人(%)	-2.6 <th rowspan="2">第3次</th> <td>16,306</td> <td>18,072<th></th><td><th>標準税収入額等</th><td>9,438,024</td><td>9,287,803</td></td></td>	第3次	16,306	18,072 <th></th> <td><th>標準税収入額等</th><td>9,438,024</td><td>9,287,803</td></td>		<th>標準税収入額等</th> <td>9,438,024</td> <td>9,287,803</td>	標準税収入額等	9,438,024	9,287,803			
面積(k㎡)	84.12 <td>60.0</td> <td>59.8<th></th><td><th>経常経費充当一般財源等</th><td>13,908,195</td><td>13,856,073</td></td></td>	60.0	59.8 <th></th> <td><th>経常経費充当一般財源等</th><td>13,908,195</td><td>13,856,073</td></td>			<th>経常経費充当一般財源等</th> <td>13,908,195</td> <td>13,856,073</td>	経常経費充当一般財源等	13,908,195	13,856,073					
人口密度(人/k㎡)	695 <th></th> <td></td> <td></td> <th>歳入一般財源等</th> <td>18,086,729</td> <td>17,822,294</td>				歳入一般財源等	18,086,729	17,822,294							
世帯数(世帯)	25,544 <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <th></th> <td></td>													
職員の状況(※8)														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	23,722,773	24,946,640			
	市区町村長	1	8,000 <th>一般職員</th> <td>472</td> <td>1,485,384</td> <td>3,147</td> <th>うちの公的資金</th> <td>17,727,528</td> <td>19,218,668</td>		一般職員	472	1,485,384	3,147	うちの公的資金	17,727,528	19,218,668			
	副市区町村長	1	6,640 <th>うち消防職員</th> <td>108</td> <td>338,256</td> <td>3,132</td> <th>地方債現在高(臨時財政対策債除き)</th> <td>13,659,139</td> <td>13,971,217</td>		うち消防職員	108	338,256	3,132	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	13,659,139	13,971,217			
	教育長	1	6,130 <th>うち技能労務職員</th> <td>38</td> <td>111,910</td> <td>2,945</td> <th>債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>3,407,412</td> <td>2,350,142</td>		うち技能労務職員	38	111,910	2,945	債務負担行為額(支出予定額)	3,407,412	2,350,142			
	議会議長	1	4,400 <th>教育公務員</th> <td>73</td> <td>255,134</td> <td>3,495</td> <th>収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td>		教育公務員	73	255,134	3,495	収益事業収入	-	-			
	議会副議長	1	4,000 <th>臨時職員</th> <td>5</td> <td>13,000</td> <td>2,600</td> <th>土地開発基金現在高</th> <td>547,154</td> <td>547,154</td>		臨時職員	5	13,000	2,600	土地開発基金現在高	547,154	547,154			
	議会議員	16	3,650 <th>合計</th> <td>550</td> <td>1,753,518</td> <td>3,188</td> <th>積立金現在高</th> <td>2,331,706</td> <td>1,821,624</td>		合計	550	1,753,518	3,188	積立金現在高	2,331,706	1,821,624			
									減債基金	347,140	272,648			
									その他特定目的基金	1,528,425	1,278,090			
一般会計等の一覧														
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧	項番	地方公社・第三セクター等一覧	団体名(※3)
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業特別会計	(5)	水道事業会計	(8)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(18)	銚子マリナー	(9)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(19)	銚子水産観光	
		(3)	介護保険事業特別会計	(6)	病院事業会計	(9)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(20)	銚子市医療公社	(10)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(21)	銚子スポーツタウン	
		(4)	後期高齢者医療事業特別会計	(7)	下水道事業会計	(12)	東総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)	(22)	銚子電力	(11)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)			
						(13)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般会計)			(12)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般廃棄物処理事業特別会計)			
						(14)	東総地区広域市町村圏事務組合(東総地区ふるさと市町村圏事業特別会計)			(13)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)			
						(15)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)			(14)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)			

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※8：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	7,901,333	29.1	7,456,929	49.8	普通税	7,442,471	94.2	103,364	
地方譲与税	215,370	0.8	215,370	1.4	法定普通税	7,442,471	94.2	103,364	
利子割交付金	3,527	0.0	3,527	0.0	市町村民税	3,206,296	40.6	103,364	
配当割交付金	49,804	0.2	49,804	0.3	個人均等割	101,758	1.3	-	
株式等譲渡所得割交付金	59,269	0.2	59,269	0.4	所得割	2,657,189	33.6	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	199,236	2.5	33,094	
地方消費税交付金	1,473,482	5.4	1,473,482	9.8	法人税割	248,113	3.1	70,270	
ゴルフ場利用税交付金	19,307	0.1	19,307	0.1	固定資産税	3,566,801	45.1	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	3,548,418	44.9	-	
自動車取得税交付金	2,519	0.0	2,519	0.0	軽自動車税	209,060	2.6	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	460,314	5.8	-	
自動車税環境性能割交付金	35,859	0.1	35,859	0.2	鉱産税	-	-	-	
法人事業税交付金	134,029	0.5	134,029	0.9	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金等	31,088	0.1	31,088	0.2	法定外普通税	-	-	-	
地方特例交付金	24,327	0.1	24,327	0.2	目的税	458,862	5.8	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	6,761	0.0	6,761	0.0	法定目的税	458,862	5.8	-	
地方交付税	5,859,970	21.5	5,367,861	35.8	入湯税	14,458	0.2	-	
普通交付税	5,367,861	19.7	5,367,861	35.8	事業所税	-	-	-	
特別交付税	487,388	1.8	-	-	都市計画税	444,404	5.6	-	
震災復興特別交付税	4,721	0.0	-	-	水利地益税等	-	-	-	
（一般財源計）	15,785,557	58.1	14,849,044	99.2	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	6,007	0.0	6,007	0.0	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	122,407	0.5	-	-	合計	7,901,333	100.0	103,364	
使用料	275,954	1.0	50,414	0.3					
手数料	206,065	0.8	268	0.0					
国庫支出金	4,352,417	16.0	-	-					
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-					
都道府県支出金	1,596,719	5.9	-	-					
財産収入	143,516	0.5	18,547	0.1					
寄附金	717,928	2.6	-	-					
繰入金	863,215	3.2	-	-					
繰越金	611,106	2.2	-	-					
諸収入	736,747	2.7	49,796	0.3					
地方債	1,775,062	6.5	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	128,562	0.5	-	-					
歳入合計	27,192,700	100.0	14,974,076	100.0					

（注釈）  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	190,851	0.7	-	190,851	
総務費	3,695,677	13.8	208,223	2,494,246	
民生費	9,506,115	35.5	8,548	5,295,234	
衛生費	2,785,833	10.4	720,022	1,699,092	
労働費	13,589	0.1	-	12,553	
農林水産業費	1,175,765	4.4	458,570	244,806	
商工費	429,203	1.6	1,334	155,895	
土木費	1,927,173	7.2	606,357	1,360,119	
消防費	1,138,232	4.3	145,052	977,922	
教育費	2,750,477	10.3	474,296	2,109,415	
災害復旧費	13,650	0.1	-	6,950	
公債費	3,119,595	11.7	-	3,093,106	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	26,746,160	100.0	2,622,402	17,640,189	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	13,974,016	52.2	10,492,385	9,180,120	60.8
人件費	5,403,193	20.2	5,206,124	4,818,250	31.9
うち職員給	3,307,561	12.4	3,167,406	-	-
扶助費	5,451,228	20.4	2,193,155	1,268,764	8.4
公債費	3,119,595	11.7	3,093,106	3,093,106	20.5
元利償還金	3,119,595	11.7	3,093,106	3,093,106	20.5
うち元金	2,998,929	11.2	2,972,936	2,972,936	19.7
うち利子	120,666	0.5	120,170	120,170	0.8
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	10,136,092	37.9	6,746,462	4,728,075	31.3
物件費	3,101,816	11.6	1,879,914	1,562,583	10.3
維持補修費	139,770	0.5	103,499	102,773	0.7
補助費等	2,519,443	9.4	2,011,328	923,131	6.1
うち一部事務組合負担金	298,344	1.1	297,881	284,019	1.9
繰出金	2,547,569	9.5	2,061,284	2,032,949	13.5
積立金	1,188,124	4.4	264,801	-	-
投資・出資金・貸付金	639,370	2.4	425,636	106,639	0.7
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,636,052	9.9	401,342	-	-
うち人件費	59,210	0.2	58,927	-	-
普通建設事業費	2,622,402	9.8	394,392	-	-
うち補助	735,643	2.8	19,185	-	-
うち単独	1,463,563	5.5	331,947	-	-
災害復旧事業費	13,650	0.1	6,950	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	26,746,160	100.0	17,640,189	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	27,215	26,769	447	353	863	23,723	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	27,193	26,746	447	353		23,723	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険事業特別会計	7,304	7,298	7	7	570	-	-	-	
2 介護保険事業特別会計	6,553	6,423	130	130	981	-	-	-	
3 後期高齢者医療事業特別会計	922	921	1	1	229	-	-	-	
4 水道事業会計	2,152	2,056	95	2,347	72	5,079	549	-	法適用企業
5 病院事業会計	634	679	▲ 45	61	612	704	631	-	法適用企業
6 下水道事業会計	1,475	1,435	39	210	907	8,321	5,617	-	法適用企業
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				2,756		14,104	6,797		
連結実質赤字額									

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	22,493	18,905	3,589	3,589	216	-	-	
2 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治体経営管理運営特別会計)	187	162	26	26	-	-	-	
3 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研センター特別会計)	104	94	10	10	1	-	-	
4 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通実用済特別会計)	100	62	37	37	-	-	-	
5 東総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)	1,608	1,480	128	3,887	-	2,649	-	
6 東総地区広域市町村圏事務組合(一般会計)	73	59	14	14	-	-	-	
7 東総地区広域市町村圏事務組合(一般廃棄物処理事業特別会計)	1,449	1,417	33	33	-	-	-	
8 東総地区広域市町村圏事務組合(東総地区ふるさと市町村圏事業特別会計)	4	3	1	1	1	-	-	
9 千葉県東後期高齢者医療広域連合(一般会計)	2,922	2,446	476	476	58	-	-	
10 千葉県東後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	758,421	750,353	8,067	8,067	4,245	-	-	
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				16,139		2,649	-	

### 公債費負担の状況

### 将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）												
区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	内訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
元利償還金		2,995,085	3,128,082	3,119,515	23.7	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	26,607,934	24,946,640	23,722,773	180.5	債務負担行為	PFI事業に係るもの	870,279	756,997	642,603	4.9
	減価基金積立不足算定額	-	-	-			債務負担行為に基づく支出予定額	870,279	756,997	642,603	4.9		いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-			公営企業債等繰入見込額	7,266,997	6,523,385	6,797,041	51.7		国営土地改良事業に係るもの	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	718,799	825,430	929,121	7.1		組合等負担等見込額	-	-	-	-		森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-			退職手当負担見込額	6,655,550	6,159,624	5,716,370	43.5		地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	130,184	129,931	123,371	0.9		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-		依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-
準元利償還金						うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-		社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	
元利償還金							連結実質赤字額	-	-	-	-		損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
一時借入金の利子		182	110	80	0.0		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-		引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
合計	(A)	3,844,250	4,083,553	4,172,087		合計	(E)	41,400,760	38,386,646	36,878,787		企業債等繰入見込額	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
内訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	充当可能財源等	充当可能基金	3,096,834	4,062,818	4,917,888	37.4		下水道事業会計	6,346,991	5,617,518	5,616,548	42.7
PFI事業に係るもの		124,362	123,866	123,371	0.9		充当可能特定歳入	4,167,909	4,859,328	3,809,712	29.0		病院事業会計	319,485	360,437	631,066	4.8
いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額	21,652,649	20,665,677	19,593,190	149.1		水道事業会計	600,521	545,430	549,427	4.2
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-	合計	(F)	28,917,392	29,587,823	28,320,790			介護保険事業特別会計	-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-	将来負担比率 ((E)-(F))/((C)-(D)) × 100		92.8	67.8	65.1			その他の会計	-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-							地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-	
損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-							土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-	
引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-							地方独立行政法人に係る将来負担額	-	-	-	-	
その他上記に準ずるもの		-	-	-	-							その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-	
利子補給に係るもの		5,822	6,065	-	-												
特定財源の額	(B)	440,003	426,338	407,689		健全化判断比率	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準								
標準財政規模	(C)	15,307,304	14,844,953	14,934,447		実質赤字比率	-	12.78	20.00								
算入公債費等の額	(D)	1,863,344	1,868,929	1,791,069		連結実質赤字比率	-	17.78	30.00								
	(C)-(D)	13,443,960	12,976,024	13,143,378		実質公債費比率	13.4	25.0	35.0								
実質公債費比率 ((A)-(B)+(D))/((C)-(D)) × 100 (3ヵ年平均)	(単年度) (3ヵ年平均)	11.5 12.0	13.8 12.2	15.0 13.4		将来負担比率	65.1	350.0									

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名		経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	鏡子マリーナ	12	142	110	-	-	-	-	-	
2	鏡子水産観光	▲ 7	274	203	-	-	-	-	-	
3	鏡子市医療公社	▲ 1	48	18	3	210	-	-	-	
4	鏡子スポーツタウン	▲ 4	▲ 146	3	-	-	-	-	-	
5	鏡子電力	3	10	5	-	-	-	-	-	
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			338	3	210	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

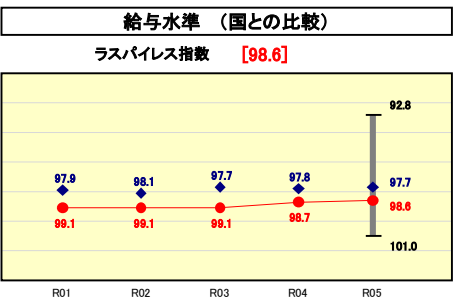
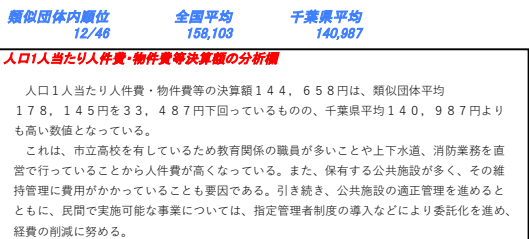
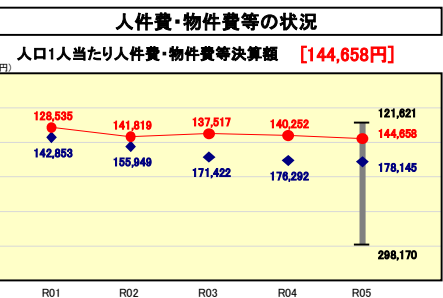
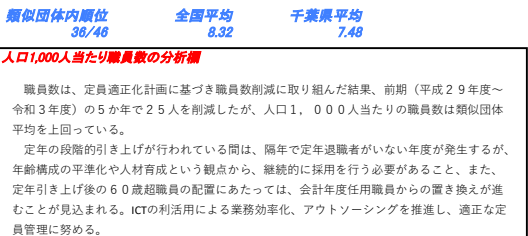
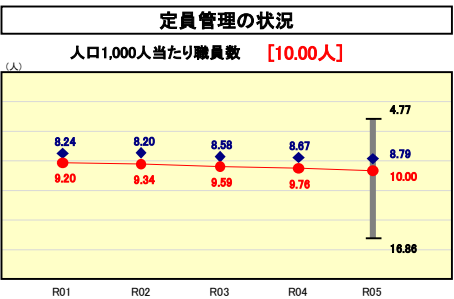
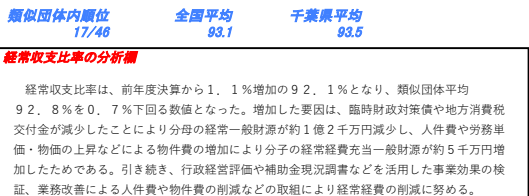
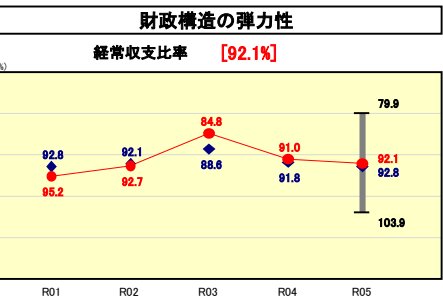
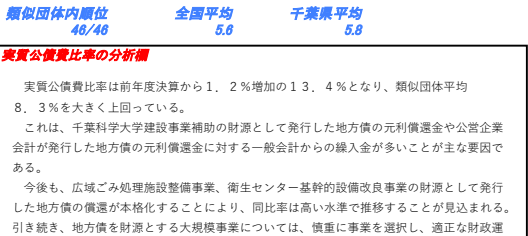
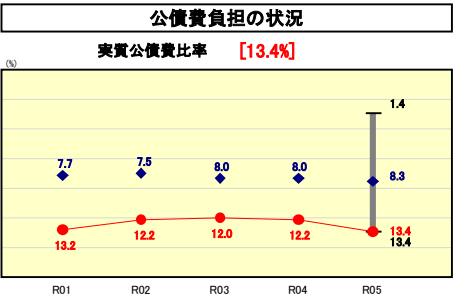
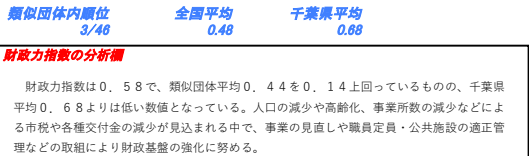
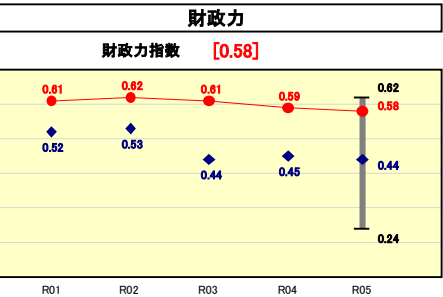
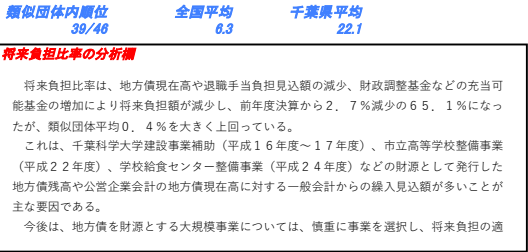
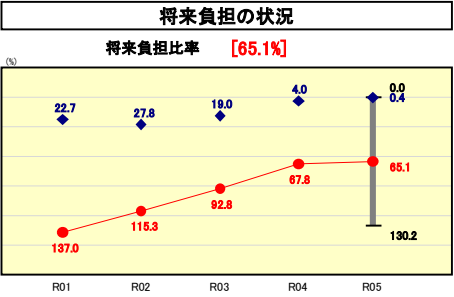
(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和5年度

千葉県銚子市

人	口	55,016	人(R6.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%			
うち日本人		52,462	人(R6.1.1現在)	通	結	実	質	赤	字	比	率			
面積		84.12	km <sup>2</sup>	実	質	公	債	費	比	率	13.4			
歳入総額		27,192,700	千円	将	来	負	担	比	率	65.1	%			
歳出総額		26,746,160	千円	市	町	村	類	型						
実質収支		353,432	千円	(	年	度	毎	)	R01	Ⅱ-1	R02	Ⅱ-1	R03	Ⅱ-1
標準財政規模		14,934,447	千円						R04	Ⅱ-1	R05	Ⅱ-1		
地方債現在高		23,722,773	千円											

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※充当可能財源等を将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



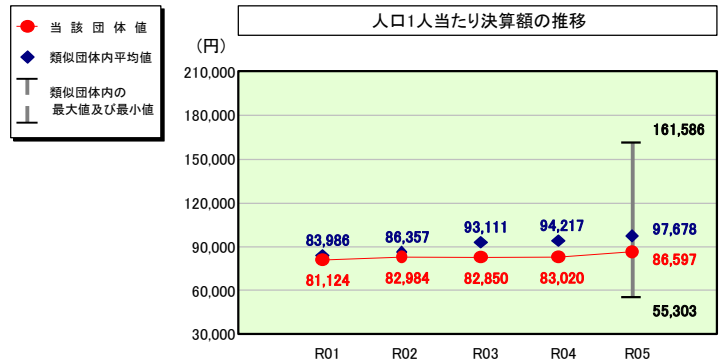


(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

千葉県銚子市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

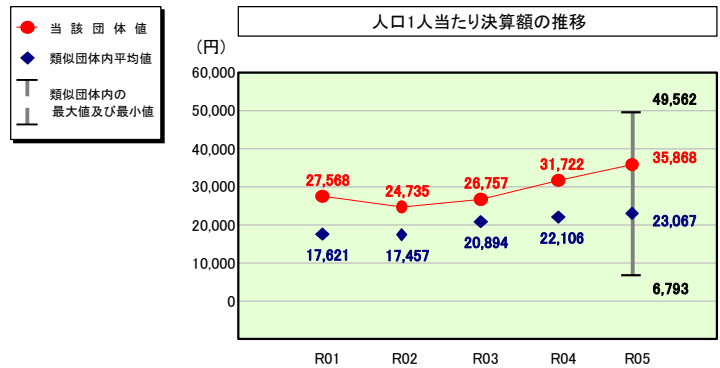
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	5,403,193	98,211	88,459	11.0
一部事務組合負担金(補助費等)	47,307	860	6,814	▲ 87.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,610	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	24	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	3,854	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	59,210	1,076	1,979	▲ 45.6
▲退職金	▲ 745,471	▲ 13,550	▲ 5,062	167.7
合計	4,764,239	86,597	97,678	▲ 11.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.00	8.79	1.21
ラスパイレズ指数	98.6	97.7	0.9

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

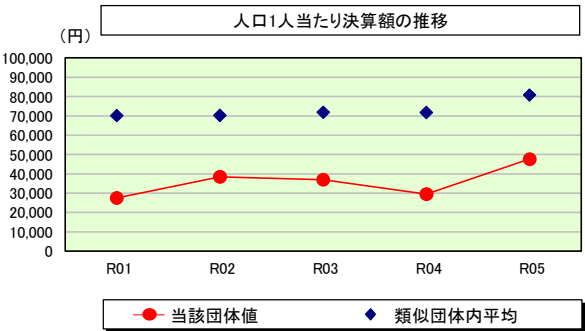
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,119,515	56,702	63,215	▲ 10.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	3	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	929,121	16,888	15,084	12.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,958	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	123,371	2,242	529	323.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	80	1	2	▲ 50.0
▲特定財源の額	▲ 407,689	▲ 7,410	▲ 3,177	133.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,791,069	▲ 32,555	▲ 54,547	▲ 40.3
合計	1,973,329	35,868	23,067	55.5

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

		当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
			当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
R01		1,662,358	27,556	5.7	70,166	1.4	4.3
	うち単独分	531,720	8,814	▲ 39.2	36,115	▲ 6.2	▲ 33.0
R02		2,272,708	38,449	39.5	70,329	0.2	39.3
	うち単独分	1,168,747	19,773	124.3	39,403	9.1	115.2
R03		2,131,023	37,004	▲ 3.8	71,871	2.2	▲ 6.0
	うち単独分	1,267,971	22,018	11.4	38,232	▲ 3.0	14.4
R04		1,666,768	29,567	▲ 20.1	71,807	▲ 0.1	▲ 20.0
	うち単独分	1,011,427	17,942	▲ 18.5	37,333	▲ 2.4	▲ 16.1
R05		2,622,402	47,666	61.2	80,821	12.6	48.6
	うち単独分	1,463,563	26,602	48.3	49,586	32.8	15.5
過去5年間平均		2,071,052	36,048	16.5	72,999	3.3	13.2
	うち単独分	1,088,686	19,030	25.3	40,134	6.1	19.2

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

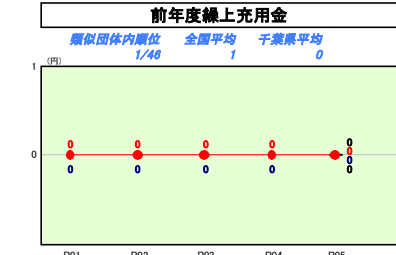
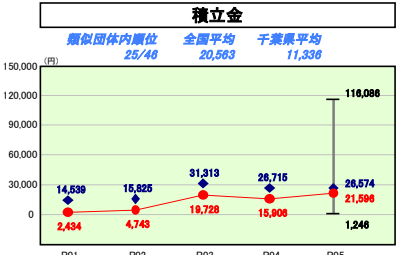
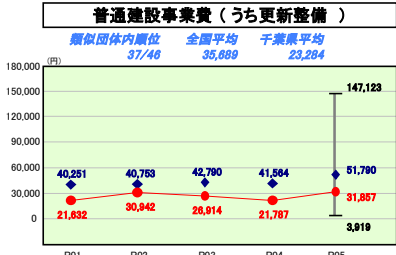
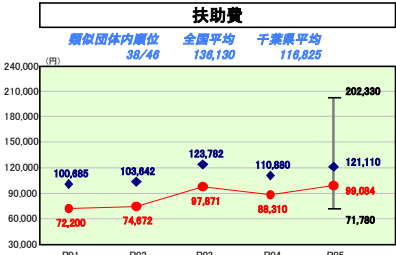
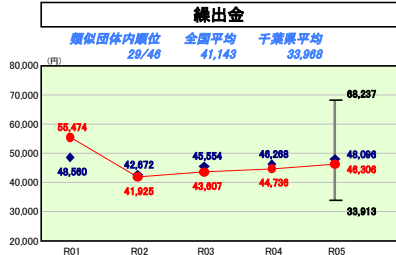
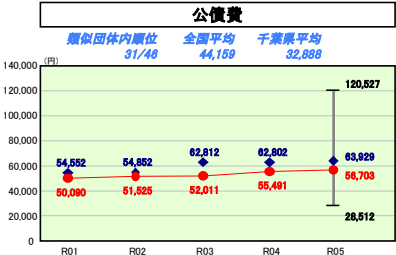
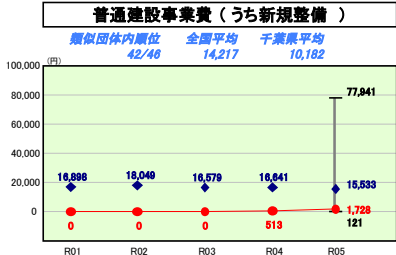
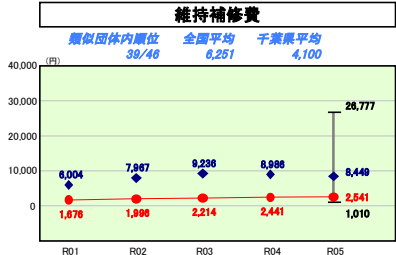
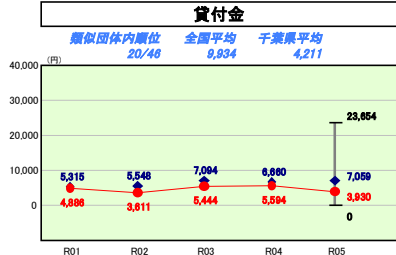
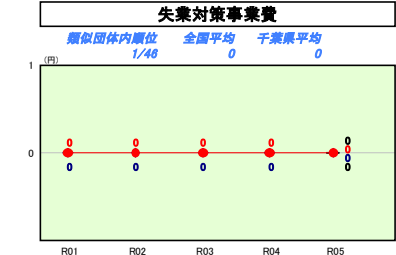
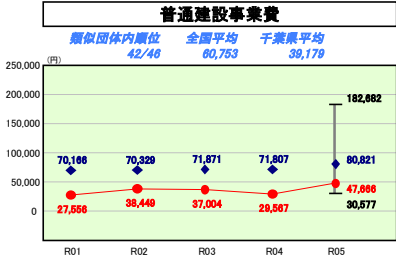
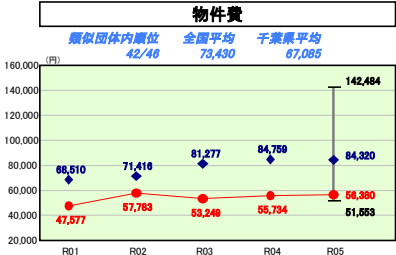
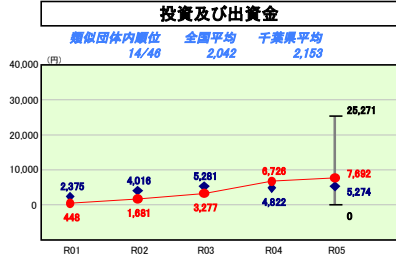
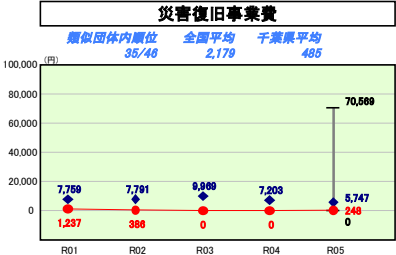
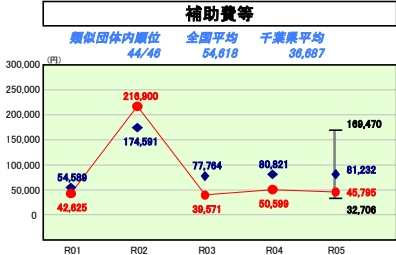
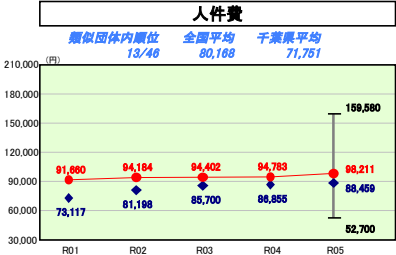
令和5年度

千葉県銚子市

人口	55,016人(第6.1.1項在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	52,482人(第6.1.1項在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	84.12km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.4	%
世帯数	27,192,700千円	特例負担比率	65.1	%
世帯平均	26,746,160千円	市町村類型	R01Ⅱ-1R02Ⅱ-1R03Ⅱ-1	
実質収支	353,432千円	(年度毎)	R04Ⅱ-1R05Ⅱ-1	
標準財政規模	14,934,447千円			
地方債現在高	23,722,773千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

本市の性質別歳出の特徴は、市立高校を有しているため教育関係の職員数が多いことや、上下水道や消防業務などを直営で行っていることから、住民一人当たりの人件費が類似団体平均と比較して9、752円多くなっている。一方で、一部事務組合等への負担金が少ないため、住民一人当たりの補助費等が類似団体平均と比較して35、437円少ない。  
令和5年度決算の歳出総額は、前年度と比較して約14億1千万円増加した。広域ごみ処理施設整備に伴う旧清掃センター解体事業や名洗港港湾整備事業に係る千葉県への負担金、銚子漁港第3卸売場整備に係る銚子市漁業協同組合への補助金の増加などにより普通建設事業費が約9億6千万円増加したほか、低所得世帯への給付金事業などの実施により扶助費が約4億7千万円増加したことが主な要因である。

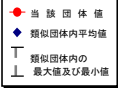


(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

千葉県銚子市

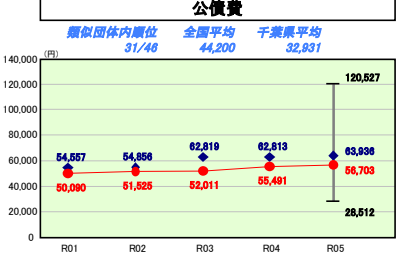
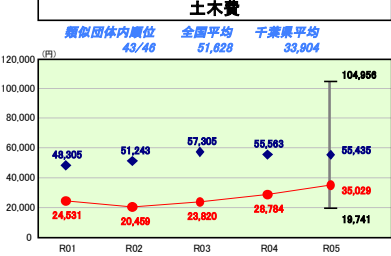
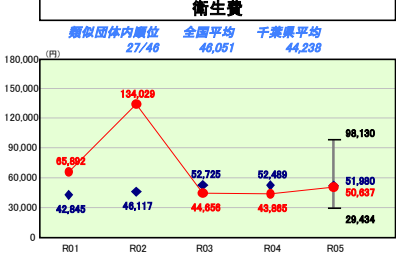
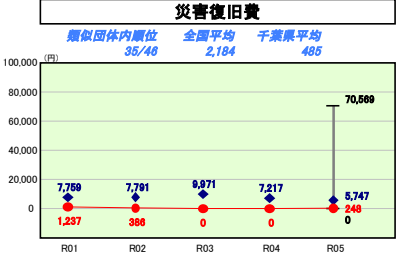
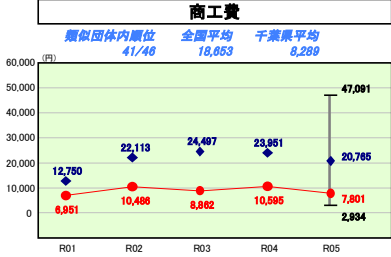
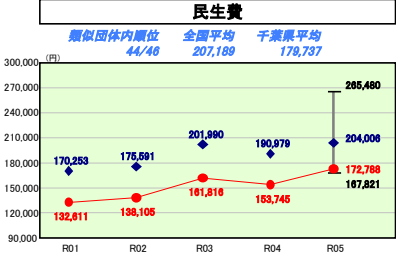
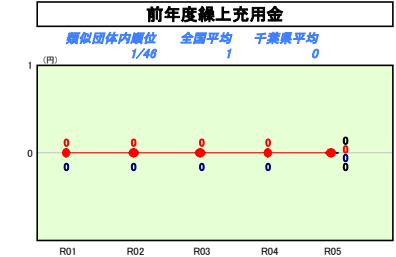
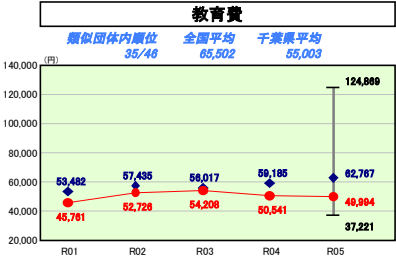
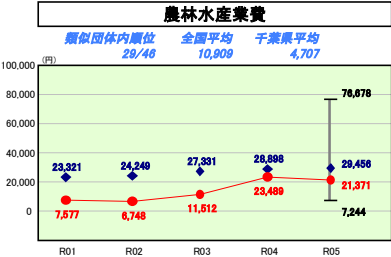
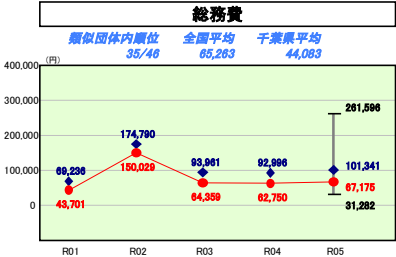
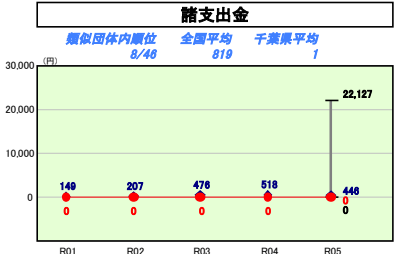
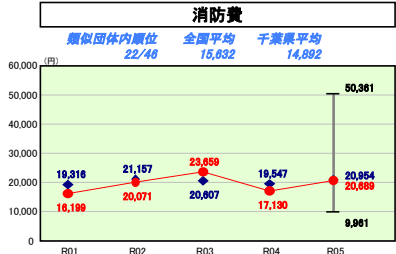
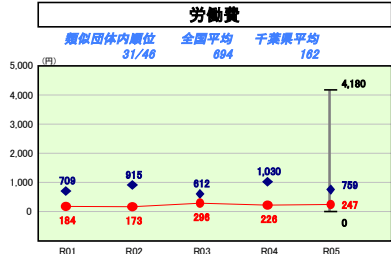
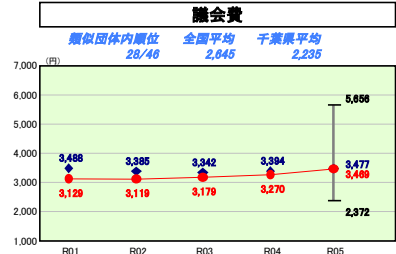
人口	55,016人(第6.1.1項在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	52,452人(第6.1.1項在)	通船実質赤字比率	-	%
面積	84.12km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.4	%
産業総額	27,192,700千円	特長負担比率	65.1	%
支出総額	26,746,160千円	市町村類型	R01Ⅱ-1R02Ⅱ-1R03Ⅱ-1	
実質収支	353,432千円	(年度毎)	R04Ⅱ-1R05Ⅱ-1	
標準財政規模	14,934,447千円			
地方債現在高	23,722,773千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

本市の目的別歳出の特徴は、財政状況が非常に厳しいことから、すべての目的別決算額で類似団体平均を下回っている。  
令和5年度決算において増加が大きかった目的別歳出は、民生費と土木費である。民生費は、低所得世帯への給付金事業の実施やふるさと納税を財源とした子ども未来基金への積立金、生活保護扶助経費の増加などにより約8億4千万円増加した。また、土木費は、名港港湾整備事業に係る千葉県への負担金や道路・河川の整備費、下水道事業会計の収支不足を補填するための出資金の増加などにより約3億円増加した。

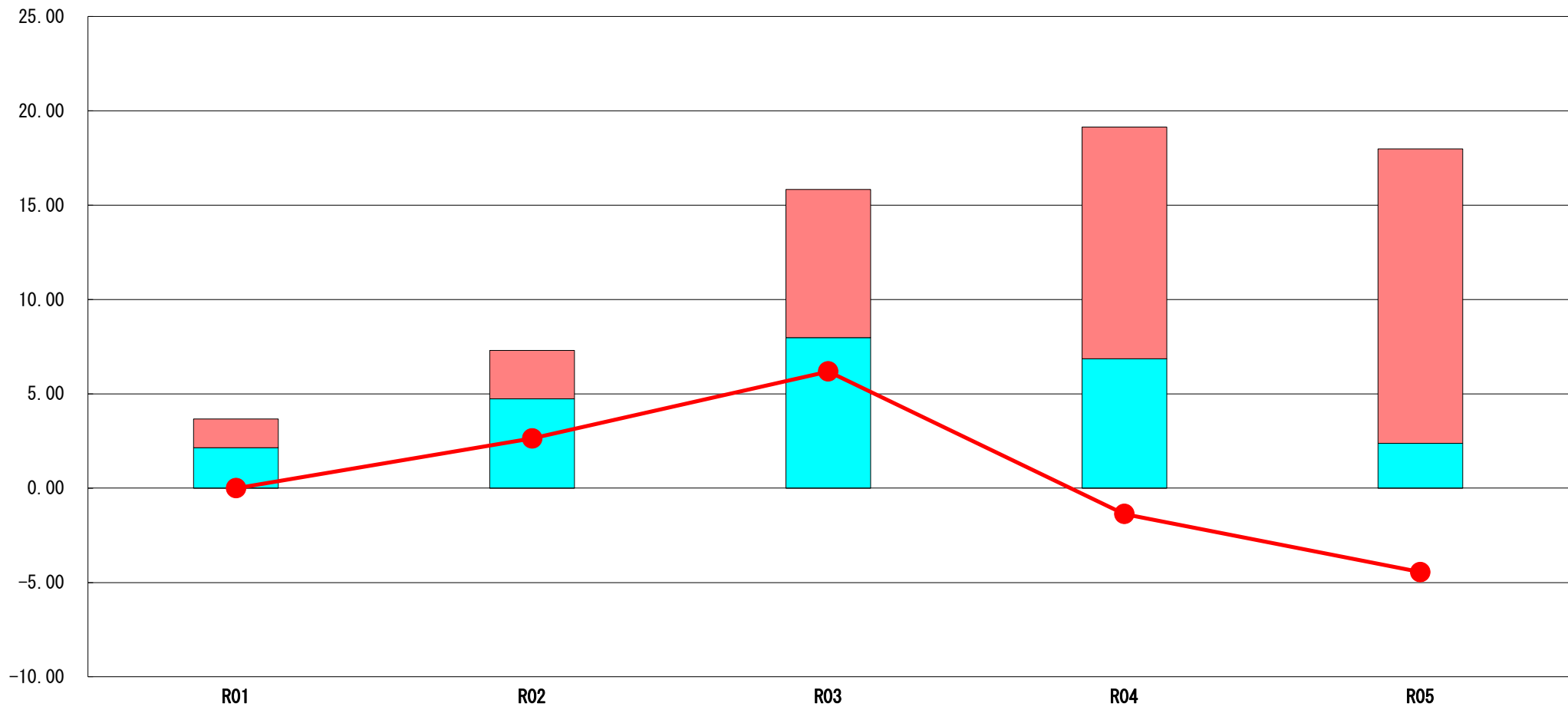


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

千葉県銚子市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）		年度				
区分		R01	R02	R03	R04	R05
<div></div> 財政調整基金残高		1.52	2.57	7.85	12.27	15.61
<div></div> 実質収支額		2.14	4.73	7.98	6.86	2.37
<div></div> 実質単年度収支		0.00	2.63	6.18	▲ 1.37	▲ 4.45

分析欄

令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により国費の支出が大きかったことや行財政改革を着実に進めていることから、実質収支額は継続的に黒字を確保している。また、令和5年度は最終的に財政調整基金の取崩しを行わず、前年度決算剰余金を5億1千万円積み立てたため、標準財政規模比15.61％に増加した。

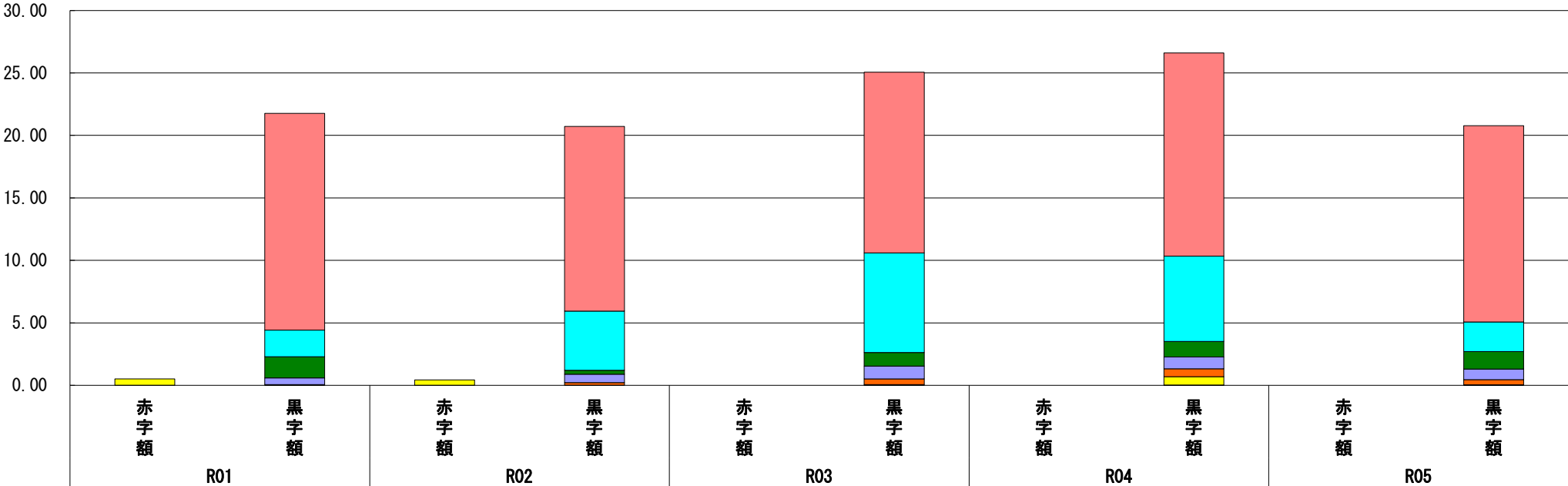
しかしながら、実質単年度収支は、前年度決算剰余金積立額5億1千万円（令和5年度の歳入予算へ編入しない剰余金積立額）を加味してもマイナスとなっている。今後は人口減少の影響による市税や地方交付税などの歳入の減少が見込まれており、引き続き行財政改革を推進し、経費の削減に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和5年度

千葉県銚子市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		R01	R02	R03	R04	R05
会計						
水道事業会計		17.34	14.77	14.46	16.27	15.71
一般会計		2.14	4.73	7.97	6.85	2.36
下水道事業会計		1.70	0.33	1.10	1.24	1.40
介護保険事業特別会計		0.52	0.67	1.02	0.94	0.86
病院事業会計		0.06	0.21	0.46	0.63	0.40
国民健康保険事業特別会計		▲ 0.51	▲ 0.43	0.05	0.68	0.04
後期高齢者医療事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

**分析欄**

連結実質赤字比率を構成する各会計のうち、国民健康保険事業特別会計は、平成27年度から赤字となっていたが、令和3年度決算において赤字を解消し、令和5年度もすべての会計で黒字を確保することができた。

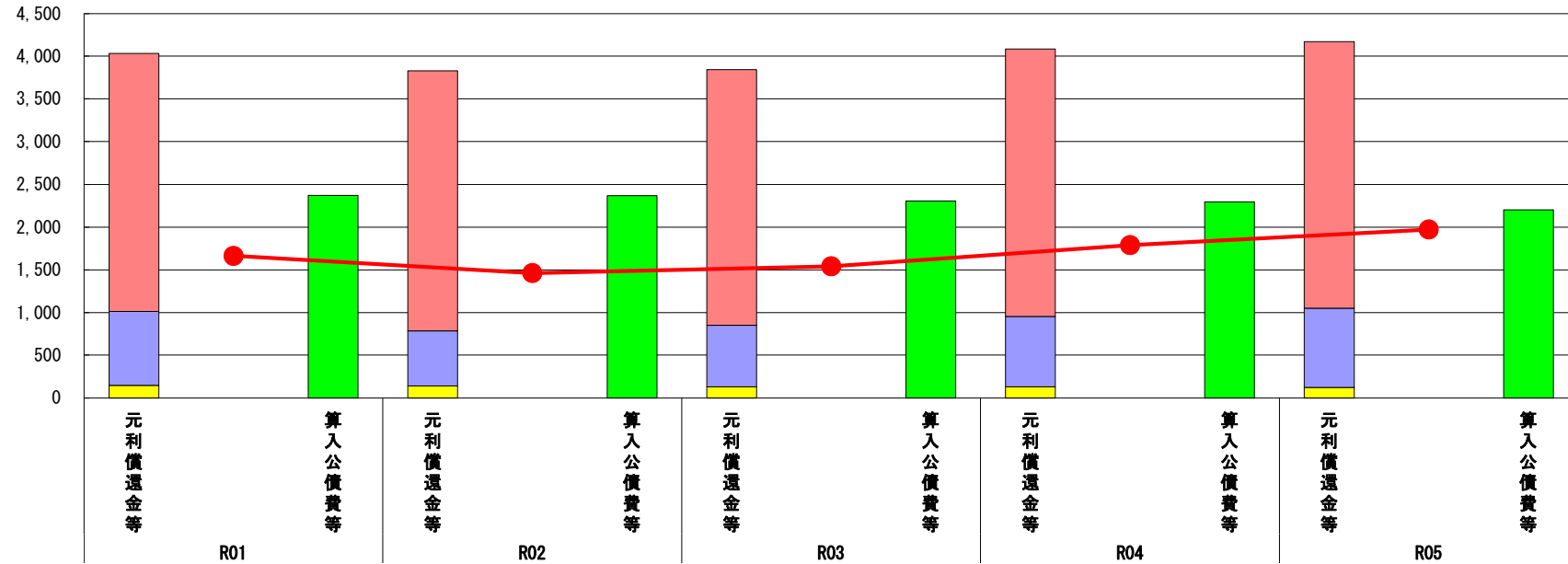
しかしながら、病院事業会計及び下水道事業会計については、収支不足額を一般会計から多額の繰入金を支出することで収支均衡を図っている。病院事業会計は、令和5年度に「公立病院経営強化プラン」を策定し、同プランに基づき、市内医療機関・拠点病院である国保旭中央病院との機能分化・連携強化に取り組むとともに、医師確保や収支改善等の経営安定化に取り組み、安定・充実した地域医療の提供に努める。下水道事業会計は、施設の老朽化が進み施設整備に係る費用の増加が見込まれる中で、ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に施設の更新を行い、経営の安定化に努める。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県銚子市

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,021	3,046	2,995	3,128	3,120
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		867	646	719	825	929
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		145	138	130	130	123
	一時借入金の利子		0	0	0	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,371	2,368	2,304	2,295	2,200
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,662	1,462	1,540	1,788	1,972

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

## 分析欄

実質公債費比率の分子の合計額は、前年度決算から約1億8千万円増加の19億7千2百万円となった。分子が増加した主要因は、公営企業債の元利償還金に対する繰入金が増加したことによるもので、水道事業会計に対する高料金対策に係る補助金で約5千万円、病院事業会計の収支不足を補填するための交付金で約1億5千万円増加した。また、元利償還金も横ばいであるものの高い水準となっており、地方債を財源とする大規模事業については、慎重に事業を選択し、適正な財政運営に努める。

（参考）

（百万円）

		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金 積立状況等（注）	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		-	-	-	-	-

（注）減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

## 分析欄

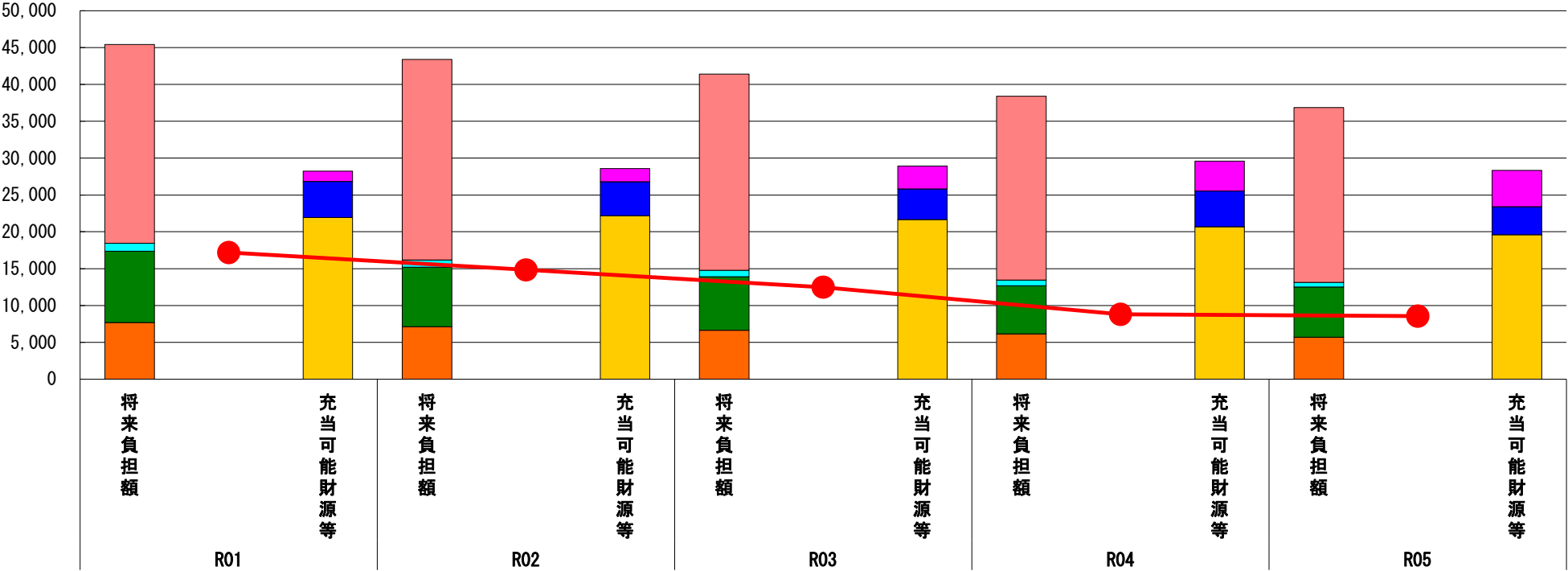
満期一括償還地方債は、利用していない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県銚子市

(百万円)



(百万円)

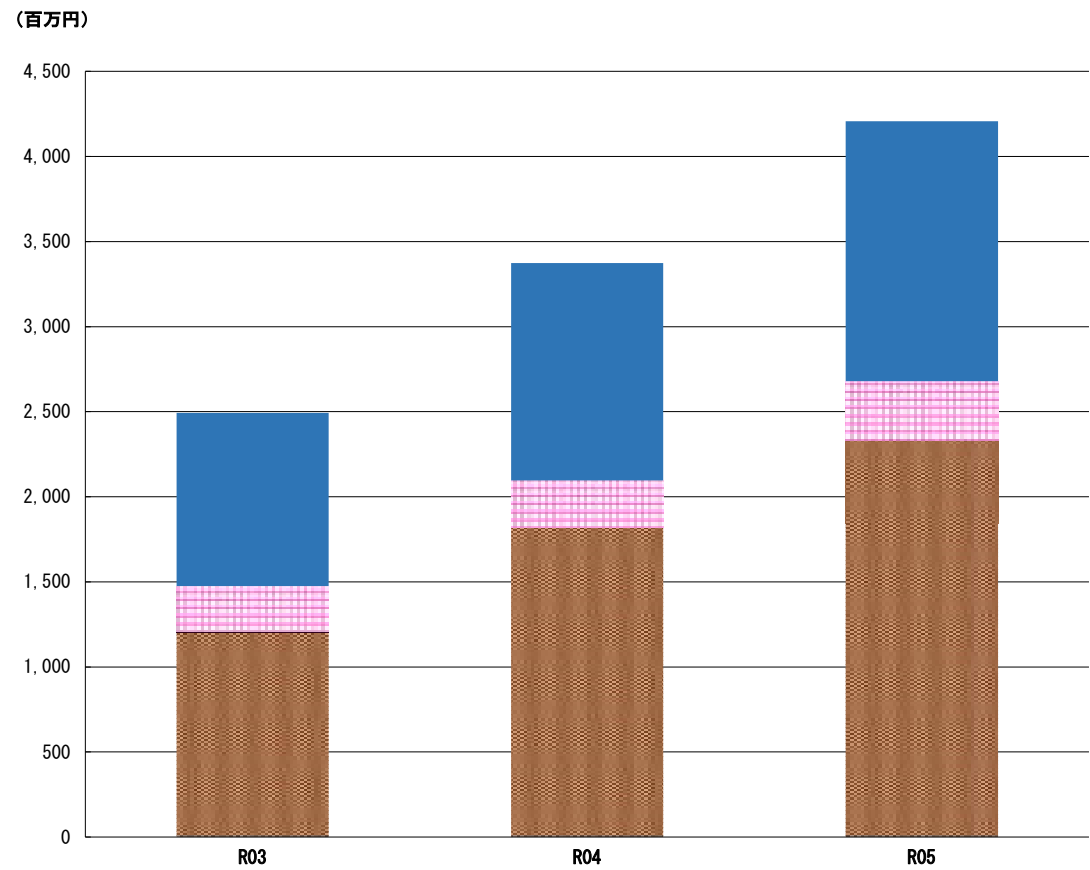
分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		26,982	27,235	26,608	24,947	23,723
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,094	982	870	757	643
	公営企業債等繰入見込額		9,682	8,041	7,267	6,523	6,797
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		7,674	7,143	6,656	6,160	5,716
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,405	1,764	3,097	4,063	4,918
	充当可能特定歳入		4,894	4,628	4,168	4,859	3,810
	基準財政需要額算入見込額		21,947	22,179	21,653	20,666	19,593
(A) - (B)	将来負担比率の分子		17,186	14,831	12,483	8,799	8,558




**分析欄**

将来負担比率の分子の合計額は前年度決算から約2億4千万円減少の85億5千8百万円となった。分子が減少した主な要因は、一般会計等に係る地方債の現在高や退職手当負担見込額の減少、財政調整基金などの充当可能基金の増加によるものである。

引き続き、地方債を財源とする大規模事業については、慎重に事業を選択するとともに、公営事業会計の経営改善に取り組み、将来負担の適正化に努める。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



年度		(百万円)		
区分		R03	R04	R05
	財政調整基金	1,202	1,822	2,332
	減債基金	273	273	347
	その他特定目的基金	1,018	1,278	1,528
	銚子市豊里住宅団地公共施設整備等基金	364	411	386
	がんばれ銚子ふるさと応援基金	166	181	231
	銚子市公共施設等総合管理基金	101	103	221
	銚子市地域再生基金	139	146	149
	銚子市子ども未来基金	—	1	138
基金残高合計		2,492	3,372	4,207

令和5年度	千葉県銚子市
<div>基金全体</div> <p>(増減理由)</p> <p>令和5年度末の基金残高は、前年度末から約8億4千万円増加の42億7百万円となった。</p> <p>基金残高が増加した要因として、「財政調整基金」は取り崩しを行うことなく、前年度決算剰余金を5億1千万円積み立てることができたため、約5億1千万円増加した。「減債基金」は、普通交付税の再算定による臨時財政対策償還基金費分を積み立てたことにより約7千4百万円増加した。また、ふるさと納税の寄附額が増加し、寄附金を積み立てた「がんばれ銚子ふるさと応援基金」が約5千万円、「銚子電気鉄道応援基金」が約3千7百万円、「銚子市子ども未来基金」が約1億3千8百万円増加した。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>令和6年度当初予算では、財政調整基金から約10億9千万円の繰入れを見込み収支を整えており、一定規模の基金残高を確保するため、引き続き施設の統廃合や事務事業の見直しなどの行政改革を推進し、経常経費の削減に努める。</p>	
<div>財政調整基金</div> <p>(増減理由)</p> <p>近年の傾向として、市税や普通交付税の減少に加え、介護保険事業等の特別会計に対する繰出金の増加や病院事業に対する多額の補助金等の支出のほか、大規模事業実施に伴って平成20年度以降公債費が増加するなどの理由で、財政調整基金の残高は減少した。平成28年度に基金残高は増加したものの、平成29年度は、様々な事業への支出が増加したことにより、基金繰入れを行った結果、残高は再度減少し、以後令和元年度まで同水準で推移している。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、決算剰余金による財政調整基金の積み増しができているため、令和5年度末残高は約23億3千万円となった。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>引き続き、施設の統廃合や事務事業の見直しなどの行政改革を推進し、経常経費の削減に努め財政の安定運営のため、一定規模の残高を確保する。</p>	
<div>減債基金</div> <p>(増減理由)</p> <p>令和5年度に普通交付税の臨時財政対策償還基金費分を約7千4百万円横立てたことにより増加した。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>財政の安定運営のため財政調整基金の残高を確保した上で、減債基金に横立てられるよう適正な財政運営に努める。</p>	
<div>その他特定目的基金</div> <p>(基金の使途)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>銚子市豊里住宅団地公共施設整備等基金：豊里住宅団地の造成に係る公共施設の整備及び維持管理</li><li>がんばれ銚子ふるさと応援基金：ふるさと納税による寄附金を財源として、寄附者の本市に対する思いを具体化し、多様な人々の参加と協力による個性豊かで活力あるまちづくりを推進</li><li>銚子市公共施設等総合管理基金：公共施設等の整備等（更新、集約化、複合化、長寿命化及び転用を目的とした整備、改修及び修繕）又は除却</li></ul> <p>(増減理由)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ふるさと納税の寄附額増加に伴い、次の基金残高が増加した。<ul style="list-style-type: none"><li>がんばれ銚子ふるさと応援基金 +5千万円</li><li>銚子電気鉄道応援基金 +3千7百万円</li><li>銚子市子ども未来基金 +1億3千8百万円</li></ul></li></ul> <p>(今後の方針)</p> <p>市民等からの寄附の目的に合わせ各基金に横立てるとともに、各基金の目的に沿った事業への繰入れを行っていく。</p>	

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

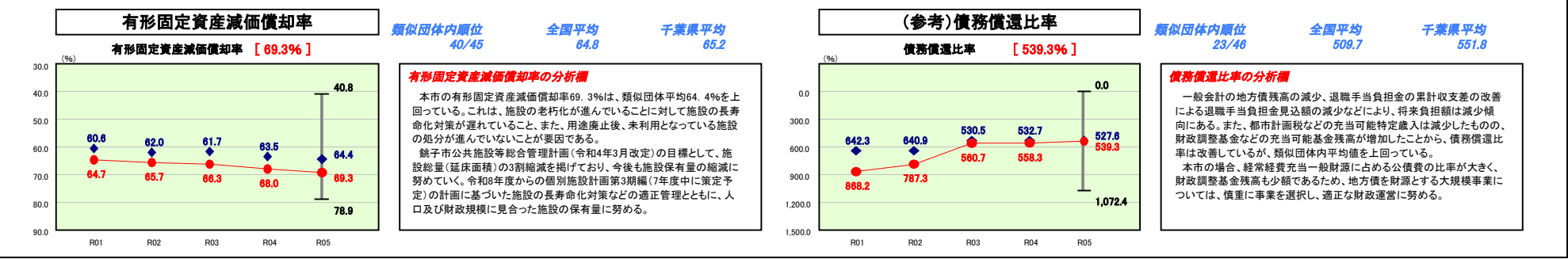
令和5年度

千葉県銚子市

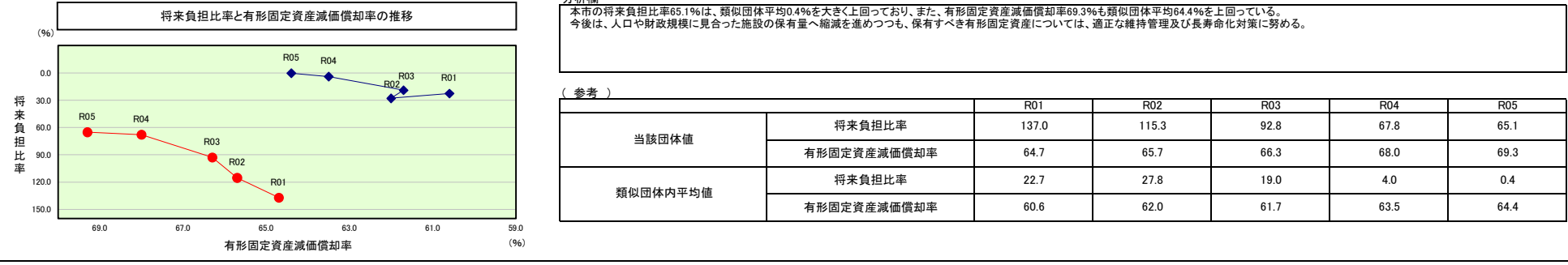
人	55,016	人(R6.1.1現在)	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	52,452	人(R6.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比
口	84,12	人	実	質	公	債	費	比	率
入	27,192,700	千円	将	来	負	担	比	率	13.4
出	26,746,160	千円	市	町	村	類	型	R01	Ⅱ-1
実	353,432	千円	(	年	度	毎	)	R04	Ⅱ-1
標準財政規模	14,934,447	千円						R05	Ⅱ-1
地方債現在高	23,722,773	千円							



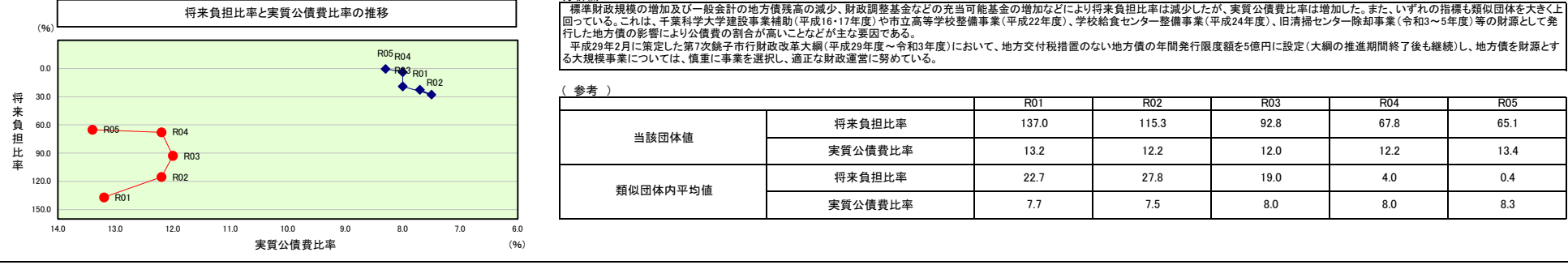
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和5年度

千葉県銚子市

人口	55,016	人(06.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	52,452	人(06.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	84.12	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.4	%
歳入総額	27,192,700	千円	将来負担比率	65.1	%
歳出総額	26,746,160	千円	市町村類型	R01Ⅱ-1 R02Ⅱ-1 R03Ⅱ-1	
実質収支	353,432	千円	(年度毎)	R04Ⅱ-1 R05Ⅱ-1	
標準財政規模	14,934,447	千円			
地方債現在高	23,722,773	千円			



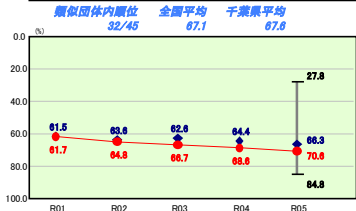
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

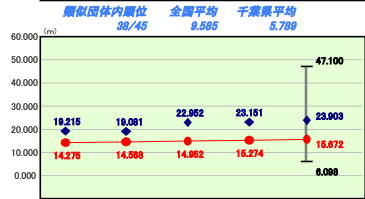
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

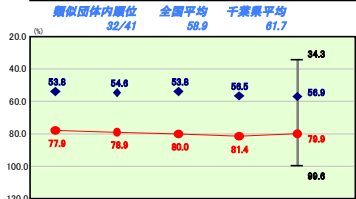
【道路】  
有形固定資産減価償却率



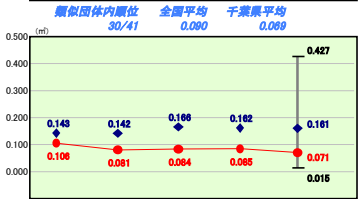
【道路】  
一人当たり延長



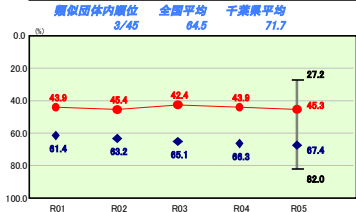
【認定こども園・幼稚園・保育所】  
有形固定資産減価償却率



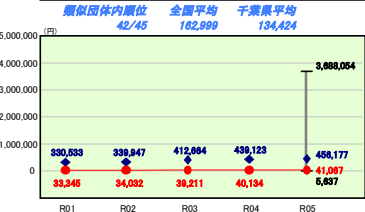
【認定こども園・幼稚園・保育所】  
一人当たり面積



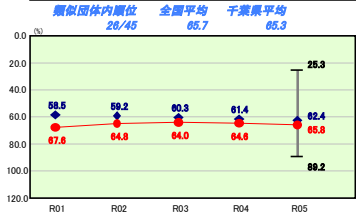
【橋りょう・トンネル】  
有形固定資産減価償却率



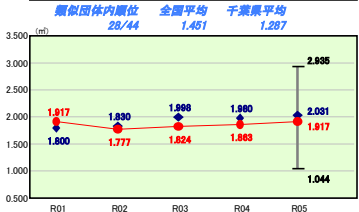
【橋りょう・トンネル】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



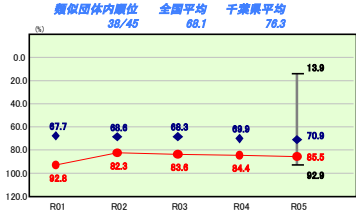
【学校施設】  
有形固定資産減価償却率



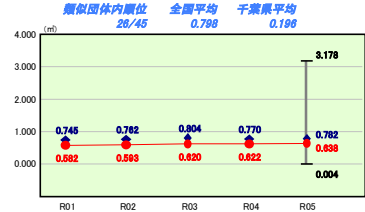
【学校施設】  
一人当たり面積



【公営住宅】  
有形固定資産減価償却率



【公営住宅】  
一人当たり面積



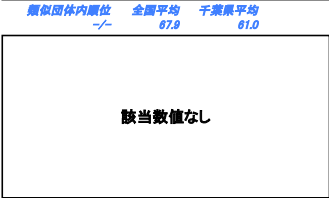
【児童館】  
有形固定資産減価償却率



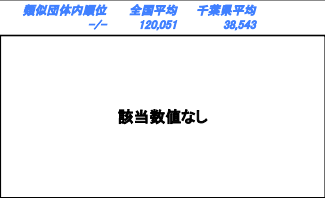
【児童館】  
一人当たり面積



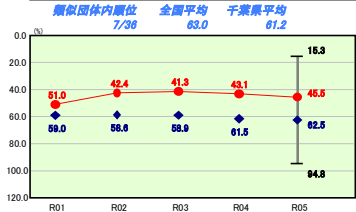
【港湾・漁港】  
有形固定資産減価償却率



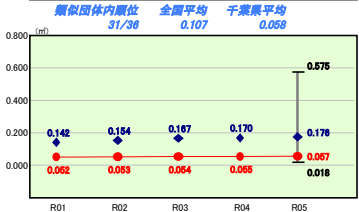
【港湾・漁港】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【公民館】  
有形固定資産減価償却率



【公民館】  
一人当たり面積



施設情報の分析欄

本市の施設類型別における有形固定資産減価償却率は、橋りょう・トンネル、公民館を除き、類似団体平均に比べると高い傾向にある。人口減少化の中で、幼稚園・保育所及び学校施設の再編を進め、施設保有総量を縮減させ、一人当たり面積の減少に努めている最中にある。また、過去に多くの公営住宅が建設されていることから、公営住宅のストック量を適正にするため、一部の公営住宅において入居エリアを集約し、除却に進む準備をしている。今後は、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づいた、長寿命化対策及び集約化を計画的に行うとともに、未利用となった建物を計画的に除却し、施設保有総量を縮減させ一人当たりの面積の減少に努める。



(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和5年度

千葉県銚子市

人口	55,016	人(06.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	52,452	人(06.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	84.12	km <sup>2</sup>	実質公費比率	13.4	%
歳入総額	27,192,700	千円	将来負担比率	65.1	%
歳出総額	26,746,160	千円	市町村類型	R01Ⅱ-1 R02Ⅱ-1 R03Ⅱ-1	
実質収支	353,432	千円	(年度毎)	R04Ⅱ-1 R05Ⅱ-1	
標準財政規模	14,934,447	千円			
地方債現在高	23,722,773	千円			



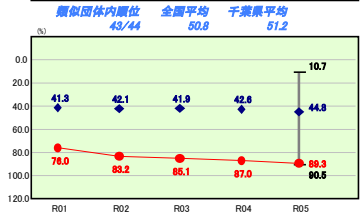
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

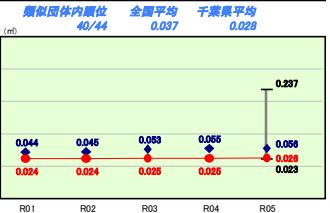
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

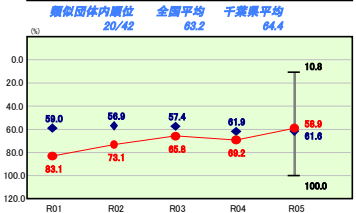
【図書館】  
有形固定資産減価償却率



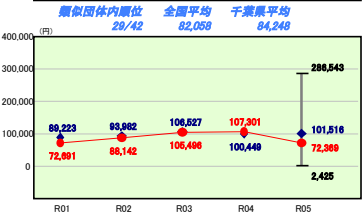
【図書館】  
一人当たり面積



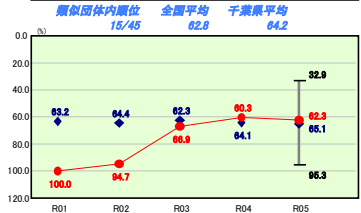
【一般廃棄物処理施設】  
有形固定資産減価償却率



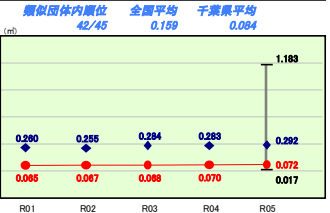
【一般廃棄物処理施設】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



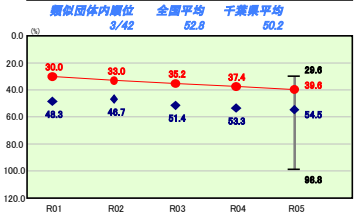
【体育館・プール】  
有形固定資産減価償却率



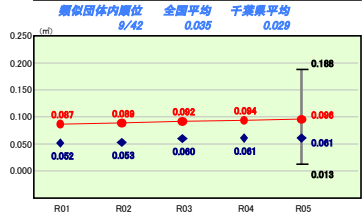
【体育館・プール】  
一人当たり面積



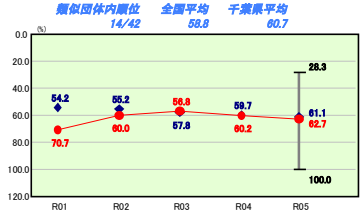
【保健センター・保健所】  
有形固定資産減価償却率



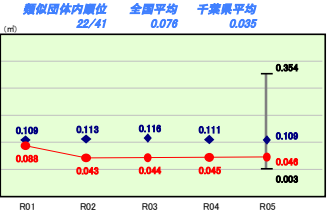
【保健センター・保健所】  
一人当たり面積



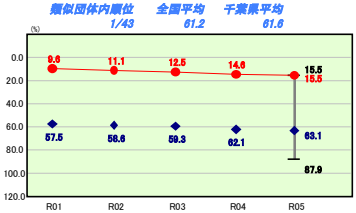
【福祉施設】  
有形固定資産減価償却率



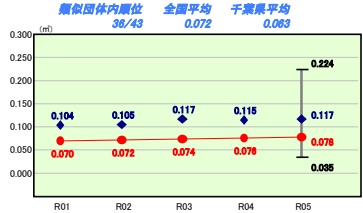
【福祉施設】  
一人当たり面積



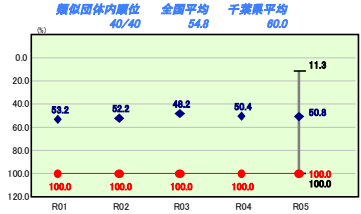
【消防施設】  
有形固定資産減価償却率



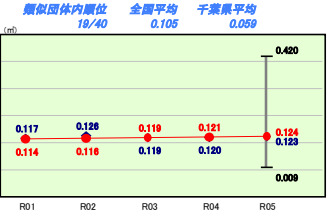
【消防施設】  
一人当たり面積



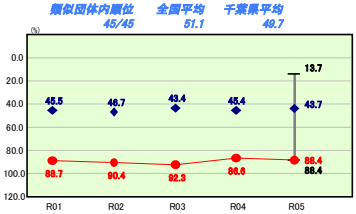
【市民会館】  
有形固定資産減価償却率



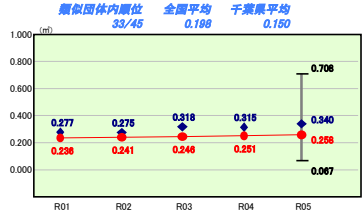
【市民会館】  
一人当たり面積



【庁舎】  
有形固定資産減価償却率



【庁舎】  
一人当たり面積



施設情報の分析欄

本市の施設類型別における有形固定資産減価償却率は、体育館・プール、保健福祉センター・保健所及び消防施設を除き、類似団体平均に比べると高い傾向にある。これは、施設の建築年度が古いことが主な要因であるが、将来の人口規模に合わせ、存続させるべき施設の長寿命化対策や、未利用施設の用途廃止・除却を進めている中にある。なお、令和5年度は建築年度の古かった清掃センターの除却が完了したため、一般廃棄物処理施設においても類似団体平均を下回った。  
今後は、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づいた、長寿命化対策及び集約化を計画的に行うとともに、未利用となった建物を計画的に除却し、施設保有総量を縮減させ一人当たりの面積の減少に努める。

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅳ－3		指定団体等の指定状況		区分		令和5年度(千円)	令和4年度(千円)	区分		令和5年度(千円・%)	令和4年度(千円・%)
							財政健全化等	×	歳入総額	177,336,668	180,022,385	実質収支比率	4.2	4.5		
市町村名		市川市		地方交付税種地	1-7		財源超過	○	歳入歳出差引	4,952,142	5,053,670	(※1)	( 92.5 )	( 91.2 )		
							首都	○	翌年度に繰越すべき財源	833,594	817,692	標準財政規模	96,941,066	94,453,318		
							近畿	×	実質収支	4,118,548	4,235,978	財政力指数	1.07	1.07		
							中部	×	単年度収支	-117,430	-657,742	公債費負担比率	6.7	6.5		
人口		令和2年国調(人)	496,676	産業構造 (※5)			過疎	×	積立金	21,749	15,548	健全化判断比率				
		平成27年国調(人)	481,732				山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-		
		増減率 (％)	3.1				低開発	×	積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口 (※7)		令06.01.01(人)	492,895	区分	令和2年国調	平成27年国調	指数表選定	○	実質単年度収支	-95,681	-642,194	実質公債費比率	2.1	1.7		
		うち日本人(人)	473,367	第1次	1,242	1,259					将来負担比率	-	-			
		令05.01.01(人)	491,577		0.5	0.6										
		うち日本人(人)	473,976	第2次	37,222	36,404			基準財政収入額	75,450,859	73,473,326	資金不足比率 (※4)				
		増減率 (％)	0.3		16.2	17.9			基準財政需要額	68,716,587	67,902,119					
		うち日本人(％)	-0.1	第3次	190,838	165,420			標準税収入額等	96,941,066	94,453,318					
面積 (km <sup>2</sup> )		57.44					経常経費充当一般財源等	91,927,035	88,566,634							
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )		8,647				歳入一般財源等	115,373,156	110,769,285								
世帯数 (世帯)		242,970														
職員の状況 (※8)																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	52,500,026	56,197,827					
	市区町村長	1	10,160		一般職員	2,886	9,313,122	3,227	うち公的資金	18,628,174	20,773,071					
	副市区町村長	2	8,370		うち消防職員	509	1,677,664	3,296	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	45,734,013	47,813,587					
	教育長	1	7,440		うち技能労務職員	151	481,992	3,192	債務負担行為額(支出予定額)	14,782,473	14,907,741					
	議会議長	1	7,240		教育公務員	68	225,102	3,310	収益事業収入	-	-					
	議会副議長	1	6,520		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	2,060,671	2,060,223					
	議会議員	40	6,040		合計	2,954	9,538,224	3,229	積立金現在高	30,866,784	28,645,035					
									減債基金	-	-					
									その他特定目的基金	19,496,316	16,874,946					
一般会計等の一覧																
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)				
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名					
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	下水道事業会計			(6)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(12)	市川市清掃公社					
		(3)	介護保険特別会計					(7)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(13)	市川市花と緑のまちづくり財団					
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(8)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(14)	市川市文化振興財団					
								(9)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(15)	本八幡ビル株式会社					
								(10)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(16)	市川市土地開発公社					
								(11)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)							

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※8：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	90,762,170	51.2	83,493,572	84.0	普通税	81,646,796	90.0	295,702
地方譲与税	784,392	0.4	784,392	0.8	法定普通税	81,646,796	90.0	295,702
利子割交付金	50,322	0.0	50,322	0.1	市町村民税	45,501,257	50.1	295,702
配当割交付金	714,212	0.4	714,212	0.7	個人均等割	991,299	1.1	-
株式等譲渡所得割交付金	856,425	0.5	856,425	0.9	所得割	41,315,311	45.5	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	1,143,481	1.3	-
地方消費税交付金	11,131,439	6.3	11,131,439	11.2	法人税割	2,051,166	2.3	295,702
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	32,692,902	36.0	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	32,619,161	35.9	-
自動車取得税交付金	8,788	0.0	8,788	0.0	軽自動車税	415,402	0.5	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	3,037,235	3.3	-
自動車税環境性能割交付金	125,085	0.1	125,085	0.1	鉱産税	-	-	-
法人事業税交付金	695,998	0.4	695,998	0.7	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金等	506,536	0.3	506,536	0.5	法定外普通税	-	-	-
地方特例交付金	469,156	0.3	469,156	0.5	目的税	9,115,374	10.0	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	37,380	0.0	37,380	0.0	法定目的税	9,115,374	10.0	-
地方交付税	129,886	0.1	-	-	入湯税	-	-	-
普通交付税	-	-	-	-	事業所税	1,846,776	2.0	-
特別交付税	127,300	0.1	-	-	都市計画税	7,268,598	8.0	-
震災復興特別交付税	2,586	0.0	-	-	水利地益税等	-	-	-
（一般財源計）	105,765,253	59.6	98,366,769	99.0	法定外目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	40,606	0.0	40,606	0.0	旧法による税	-	-	-
分担金・負担金	1,422,785	0.8	-	-	合計	90,762,170	100.0	295,702
使用料	2,989,993	1.7	682,580	0.7				
手数料	1,130,578	0.6	-	-	区分	令和5年度	令和4年度	
国庫支出金	40,562,469	22.9	-	-	徴収率	現・計	合計	99.399.099.499.0
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	(%)	年	市町村民税	99.098.499.198.4
都道府県支出金	13,669,933	7.7	-	-			純固定資産税	99.699.699.799.6
財産収入	356,475	0.2	252,327	0.3				
寄附金	361,392	0.2	-	-				
繰入金	193,683	0.1	-	-				
繰越金	2,853,670	1.6	-	-				
諸収入	3,871,931	2.2	21,697	0.0				
地方債	4,117,900	2.3	-	-				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	-	-	-	-				
歳入合計	177,336,668	100.0	99,363,979	100.0				

（注釈）  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	
議会費	779,628	0.5	-	779,627	
総務費	15,862,488	9.2	1,242,646	13,152,675	
民生費	88,771,116	51.5	913,795	43,834,002	
衛生費	20,048,166	11.6	1,036,556	14,483,039	
労働費	109,765	0.1	24,200	81,065	
農林水産業費	484,674	0.3	195,828	268,884	
商工費	2,508,831	1.5	1,314	1,245,820	
土木費	11,198,040	6.5	3,405,961	7,874,974	
消防費	6,081,902	3.5	465,553	5,709,646	
教育費	18,561,735	10.8	1,933,433	15,221,274	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	7,978,181	4.6	-	7,770,008	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	172,384,526	100.0	9,219,286	110,421,014	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	100,679,585	58.4	57,708,833	53,437,575	53.8
人件費	29,850,797	17.3	27,921,788	27,339,938	27.5
うち職員給	20,567,012	11.9	19,058,853	-	-
扶助費	62,850,607	36.5	22,017,037	18,327,629	18.4
公債費	7,978,181	4.6	7,770,008	7,770,008	7.8
元利償還金	7,978,181	4.6	7,770,008	7,770,008	7.8
内  うち元金	7,815,701	4.5	7,610,588	7,610,588	7.7
うち利子	162,480	0.1	159,420	159,420	0.2
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	62,485,655	36.2	48,765,659	38,489,460	38.7
物件費	33,075,779	19.2	24,747,126	23,117,591	23.3
維持補修費	1,329,712	0.8	958,916	947,985	1.0
補助費等	10,209,713	5.9	8,153,124	4,850,271	4.9
うち一部事務組合負担金	48,203	0.0	47,945	25,065	0.0
繰出金	14,242,536	8.3	12,250,052	9,573,613	9.6
積立金	2,717,365	1.6	2,656,441	-	-
投資・出資金・貸付金	910,550	0.5	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	9,219,286	5.3	3,946,522	-	-
うち人件費	1,067,709	0.6	1,067,709	-	-
普通建設事業費	9,219,286	5.3	3,946,522	-	-
うち補助	1,373,375	0.8	133,600	-	-
うち単独	7,823,484	4.5	3,802,395	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	172,384,526	100.0	110,421,014	-	-

令和5年度	千葉県市川市
-------	--------

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名		経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	市川市清掃公社	5	101	30	0	0	-	-	-	
2	市川市花と緑のまちづくり財団	6	1,500	650	17	0	-	-	-	
3	市川市文化振興財団	▲ 4	47	50	7	0	-	-	-	
4	本八幡ビル株式会社	49	253	16	0	0	-	-	-	
5	市川市土地開発公社	0	51	10	0	85	-	-	-	
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	22,493	18,905	3,589	3,589	216	-	-	
2 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	187	162	26	26	-	-	-	
3 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	104	94	10	10	1	-	-	
千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通広域連携特別会計)	100	62	37	37	-	-	-	
5 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	2,922	2,446	476	476	58	-	-	
6 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	758,421	750,353	8,067	8,067	4,245	-	-	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計一部事務組合等				12,205				

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

## 将来負担の状況

健全化判断比率	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	11.25	20.00
連結実質赤字比率	-	16.25	30.00
実質公債費比率	2.1	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

### (3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	492,895	人(R6.1.1現在)	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	473,367	人(R6.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比
面積	57.44	km <sup>2</sup>	率	実	公	債	費	比	率
歳入総額	177,336,668	千円	将	来	負	担	比	率	-
歳出総額	172,384,526	千円	市	町	村	類	型	R01	Ⅳ-3
実質収支	4,118,548	千円	(	年	度	毎	)	R04	Ⅳ-3
標準財政規模	96,941,066	千円						R05	Ⅳ-3
地方債現在高	52,500,026	千円							

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

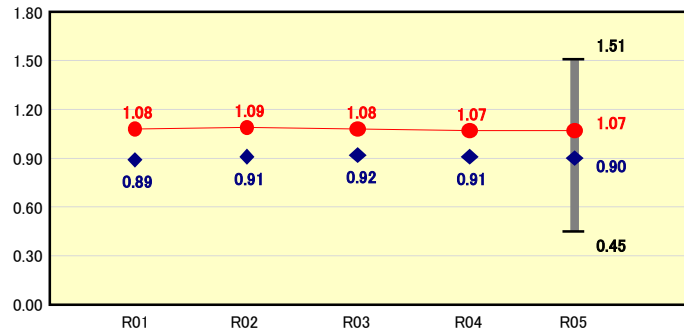
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

#### 財政力

財政力指数 [1.07]



類似団体内順位 8/36

全国平均 0.48

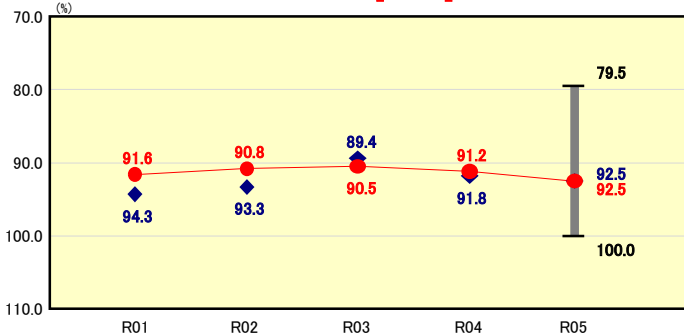
千葉県平均 0.68

#### 財政力指数の分析欄

本市においては、個人市民税をはじめとする市税収入が、歳入全体に占める割合として高く、地方消費税交付金や市民税・固定資産税等が増となったことから、基準財政収入額について、令和4年度と比べると20億円の増となった。一方、基準財政需要額についても社会福祉費等が増となったことから、前年度より8億円の増となった。以上のとおり、基準財政収入額の伸びが必要額の伸びを上回ったことから、単年度比較の財政力指数は前年度より増となっているが、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による市民税が減となったことなどによる影響で、3ヵ年平均の財政力指数は前年度と同数値となった。今後も社会福祉費や生活保護費など社会保障関係経費の増大が想定されることに加え、老朽化する公共施設整備などの重要課題への対応が要されることから、引き続き財政基盤の強化に努める。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [92.5%]



類似団体内順位 13/36

全国平均 93.1

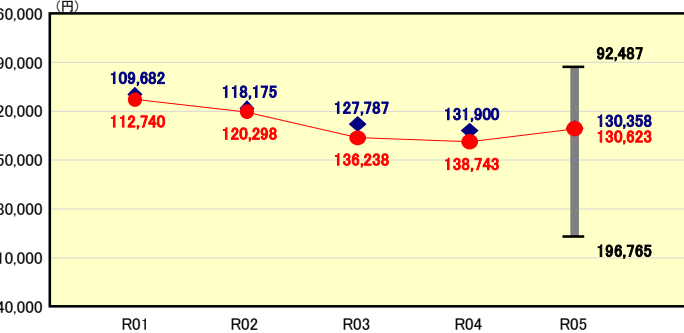
千葉県平均 93.5

#### 経常収支比率の分析欄

本市の経常収支比率は、前年度と比較すると1.3ポイント上昇した。この主な要因としては、歳入面では平均給与収入の増に伴う個人市民税の増や、新增築家屋の増加などによる固定資産税の増により、経常一般財源収入額全体では、約22億7,900万円増加となったことから、経常収支比率を2.1ポイント低下させた要因となった。一方、歳出面では、物件費において、市立小中学校等の学校給食費の無償化による特定財源の減、また、扶助費において、私立保育園数及び入園児童数の増に伴う保育施設運営費の増や、第2子保育料無償化による特定財源の減などにより、経常経費充当一般財源では約33億6,000万円の増加となり、経常収支比率を3.4ポイント上昇させる要因となった。今後は、高齢化の進展や障がい者支援サービスの利用件数の伸びにより、引き続き扶助費の増加傾向が続くと予想されることに加え、物価上昇に伴う原材料費や人件費の増等が、経常収支比率を上昇させる要因となることを見込まれる。そのため、事務事業の見直しといった行財政改革を推進するとともに、市税収入をはじめとする自主財源の確保に努めていく。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [130,623円]



類似団体内順位 23/36

全国平均 158,103

千葉県平均 140,987

#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費については、定年の段階的引き上げに伴う退職手当の減により、約11億7,000万円の減、物件費については、新型コロナウイルスワクチン接種委託料の大幅減により、約39億5,000万円の減となったことにより、人口一人当たり人件費・物件費等決算額は前年度より8,120円の減となった。

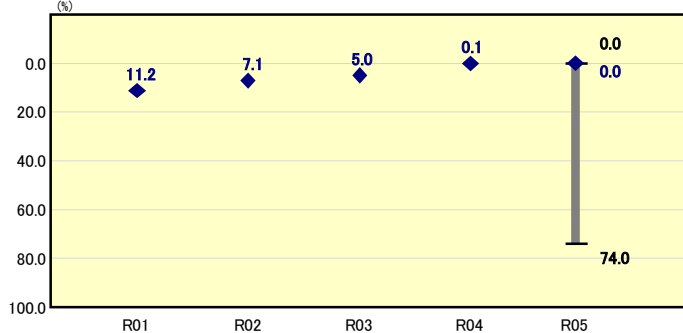
今後は、引き続き、職員人件費の適正管理に努めるとともに、物件費等の経費については、労務単価等の物価上昇の影響を受けることから、内容の精査を更に進め、経費の削減に努めていく。

令和5年度

千葉縣市川市

#### 将来負担の状況

将来負担比率 [-%]



類似団体内順位 1/36

全国平均 6.3

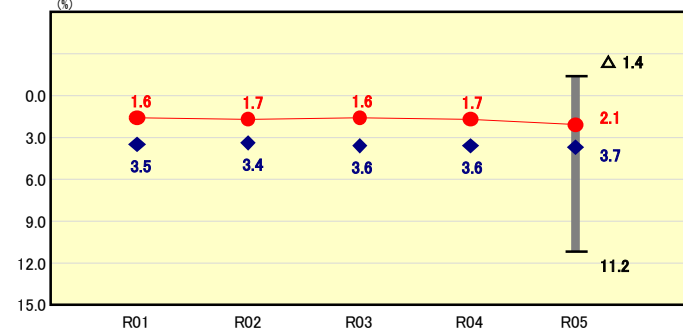
千葉県平均 22.1

#### 将来負担比率の分析欄

将来負担額については、退職手当負担見込額が増となったものの、債務負担行為に基づく支出予定額、地方債現償高、公営企業等繰入見込額が減少となっており、将来負担額としては約37億円の減となった。  
また、充当可能基金が増となり、前年同様、将来負担を充当可能財源で充当しきれる結果となり、将来負担比率は引き続き良好な水準を維持している。  
今後も財政運営が圧迫されることのないよう、各種債務の的確な把握に努めるとともに、充当可能財源等の確保に努め将来負担額の抑制を図っていく。

#### 公債費負担の状況

実質公債費比率 [2.1%]



類似団体内順位 12/36

全国平均 5.6

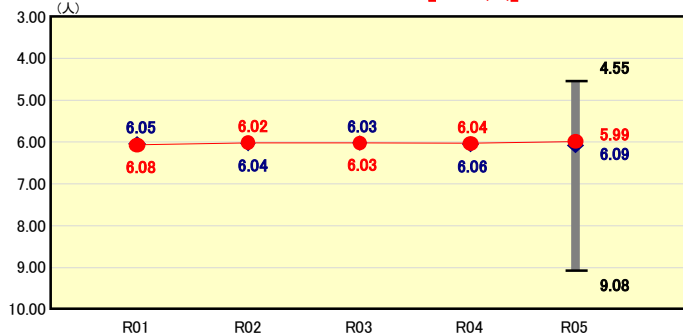
千葉県平均 5.8

#### 実質公債費比率の分析欄

元利償還金等について、債務負担行為に基づく支出額が約3億5千万円増となったこと、また庁舎整備事業債などの大型建設事業に係る市債の償還が開始されたこと等により、市債の元利償還金が約5億7千万円増となったことなどから、単年度の実質公債費比率は1.2ポイント増加した。  
しかしながら、3ヵ年平均でも類似団体を下回る2.1%と良好な水準を維持している。  
今後は公共施設の更新を控えているが、過度な市債の借入で財政を圧迫することのない範囲で数値の保持を図っていく。

#### 定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [5.99人]



類似団体内順位 20/36

全国平均 8.32

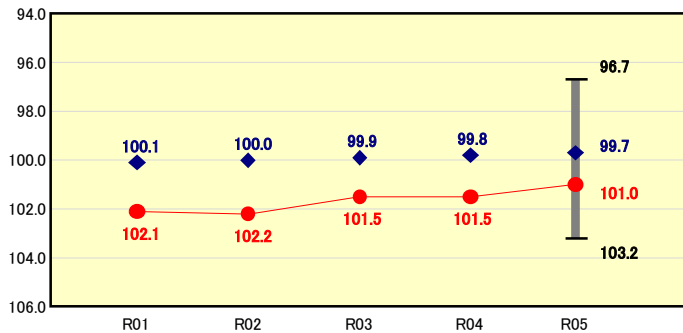
千葉県平均 7.48

#### 人口1,000人当たり職員数の分析欄

令和5年度は人口1,000人当たりの職員数が前年度に比べ、0.05人減となったものの、引き続き類似団体平均と同水準を維持している。なお、全体数については、令和4年度の退職者数を考慮した上で増員を図ったが、想定より多くの普通退職者や早期退職者が発生したため減少した。  
本市では令和3年度に市川市定員管理方針を見直し、これまでの「職員数を増やさない」という目標を「適正な職員数を維持する」という目標に改めた。今後は定年引上げによる影響や普通退職者数の状況を見極め、業務量に応じた適正な職員数を維持できるよう努める。

#### 給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [101.0]



類似団体内順位 30/36

全国市平均 98.6

全国町村平均 96.3

#### ラスパイレス指数の分析欄

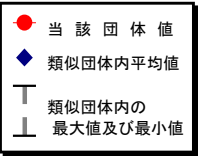
本市のラスパイレス指数が恒常的に高い要因が、独自の給料表や昇格制度など、本市特有の要因であったことから、平成26年度に国家公務員の俸給表を基本とした新給料表に移行し、併せて、昇給や昇格基準においても国の制度を基本とした制度に変更することを柱とした「人事給与制度改革」を実施した。この「人事給与制度改革」を実施したことにより、新給料表がこれまでの独自給料表と比較して「昇給間差が小さい」こと、「昇格に伴うメリット分が低額である」こと、「ほとんどの級で最高号級の設定が低い」ことなど、給料表の圧縮の効果等により、平成27年度からその効果が表れはじめており、ラスパイレス指数は適正化が図られている。



(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

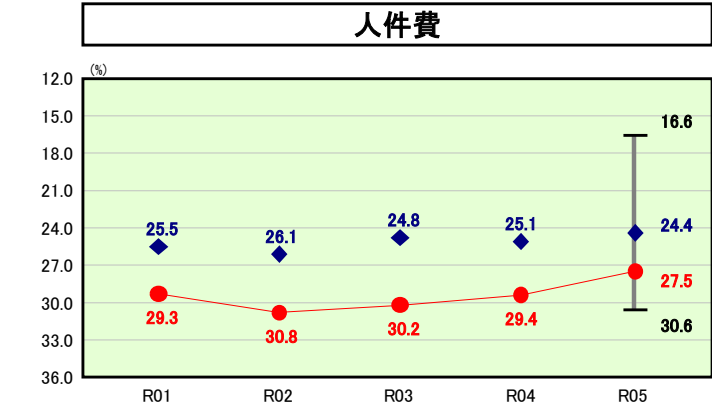
人	492,895	人(R6.1.1現在)	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	473,367	人(R6.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比
積	57.44	k㎡	実	質	公	債	費	比	率
歳入総額	177,336,668	千円	将	来	負	担	比	率	-
歳出総額	172,384,526	千円	市	町	村	類	型	R01	Ⅳ-3
実質収支	4,118,548	千円	(	年	度	毎	)	R04	Ⅳ-3
標準財政規模	96,941,066	千円						R05	Ⅳ-3
地方債現在高	52,500,026	千円							



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 28/36

全国平均 25.5

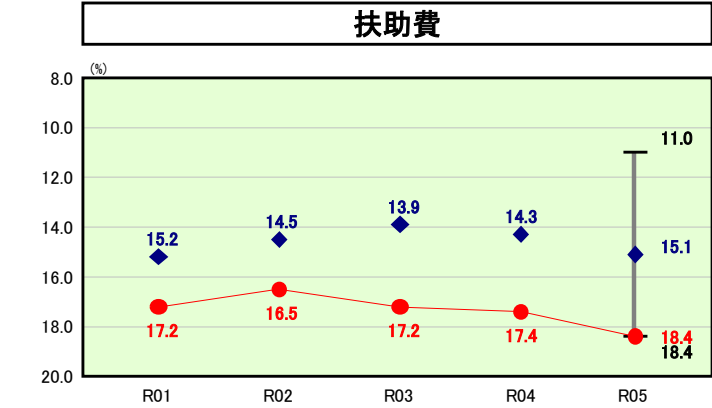
千葉県平均 27.3

人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は、類似団体平均に比べて高い水準となっているが、この主な要因は、本市の給料表や昇格基準において国と差異が生じていたことにある。

そこで、平成26年度に「人事給与制度改革」を実施し、国の制度を基本とした給料表や昇格基準に改めたことにより、本市の給料の水準は年々減少してきており、今後もこの傾向は続くものと見込んでいる。

一方で、令和5年度決算では、定年年齢の段階的引き上げにより、退職手当が減となったことにより、その分の比率の上昇が抑えられている。



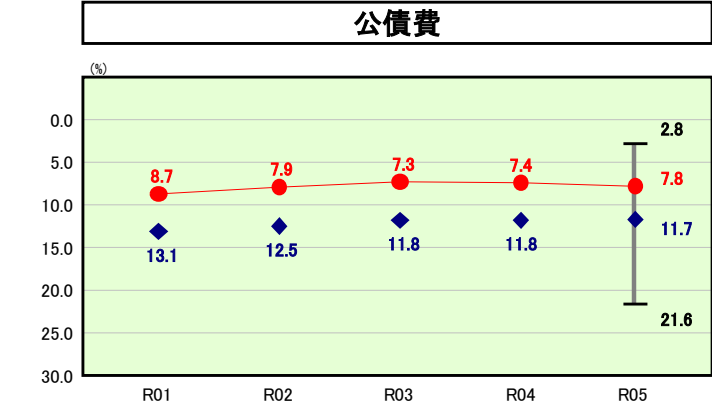
類似団体内順位 35/36

全国平均 13.2

千葉県平均 13.3

扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は、18.4%と類似団体平均値を上回る状況が続いている。これは主に、私立保育園の新規開設等による私立保育園保育委託料の増に加え、子ども医療費の助成対象が拡大したことに伴う増等が要因となっている。私立保育園等の新規整備は、待機児童の解消により今後数年で落ち着くものと見込まれるものの、高齢化に伴う生活保護世帯の増加などにより、扶助費の増加傾向は継続していくものと分析している。私立保育園等の整備については、需要を見極め供給過剰とならないよう努め、生活保護については、生活保護に至る前段階での相談支援を進めるほか、生活保護世帯への就労支援など自立を支援する。これにより、福祉サービスの低下に繋がらないよう見極めつつも生活保護の適正実施を進め、過度に財政を圧迫することがないよう努めていく。



類似団体内順位 6/36

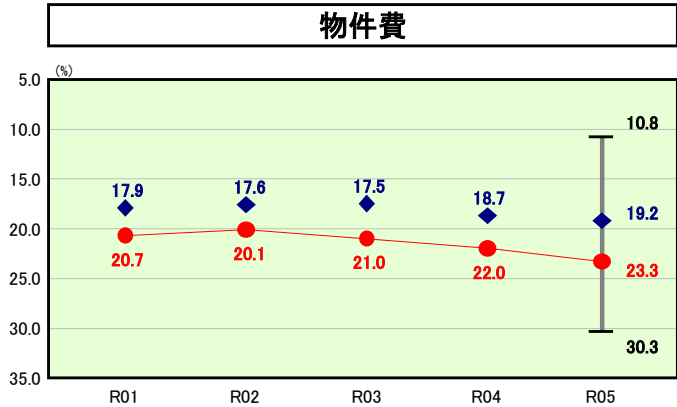
全国平均 15.9

千葉県平均 13.7

公債費の分析欄

前年度比較では、庁舎整備事業債などの大型建設事業に係る市債の元金償還が開始されたことなどにより、公債費における経常的経費充当一般財源は約6億円増加となったことから、0.4ポイント増加しているものの、類似団体平均値との比較では3.9ポイント下回っている。

今後も緊急度、住民ニーズを判断した事業選択に留意し、過度な市債の借入で財政を圧迫することのない範囲で数値の保持を図っていく。



類似団体内順位 32/36

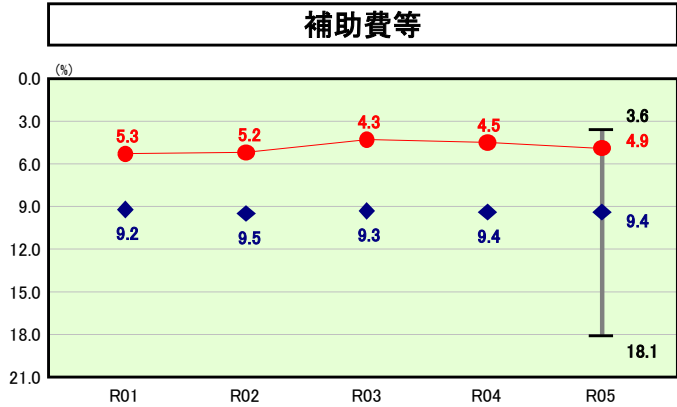
全国平均 15.2

千葉県平均 18.4

物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は、23.3%と類似団体平均値に比べ高い水準となっている。これは令和4年度に市立中学校から開始した給食費の無償化について、令和5年度から小学校にまで拡大したことで財源の給食費収入が皆減したことや、公園における草刈等の維持管理経費の増などによるものである。

今後、物価高騰や賃金引き上げに伴い委託料の増が見込まれることからより一層の委託内容の精査等を進め、費用の削減に努める。



類似団体内順位 3/36

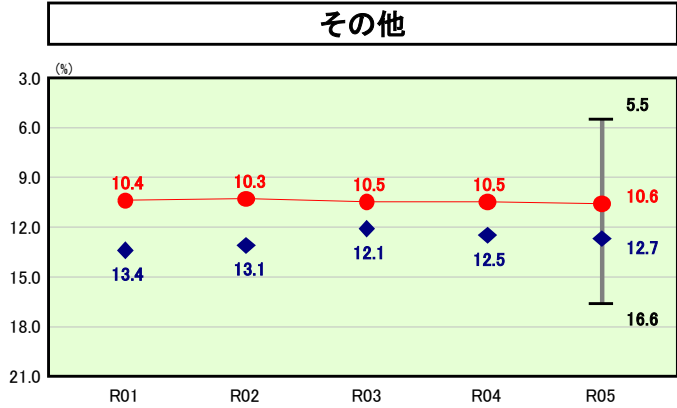
全国平均 10.7

千葉県平均 8.6

補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は、防犯灯のLED化が進んだことによる電気料金の減や介護老人保健施設市川ゆうゆうにおける光熱水費が減となった一方、保育所や小規模保育所の新規開設や児童数の増により補助費等が増となったことにより、0.4ポイント悪化した。

類似団体と比べ、低い水準で推移していることから、引き続き適正化に努める。



類似団体内順位 5/36

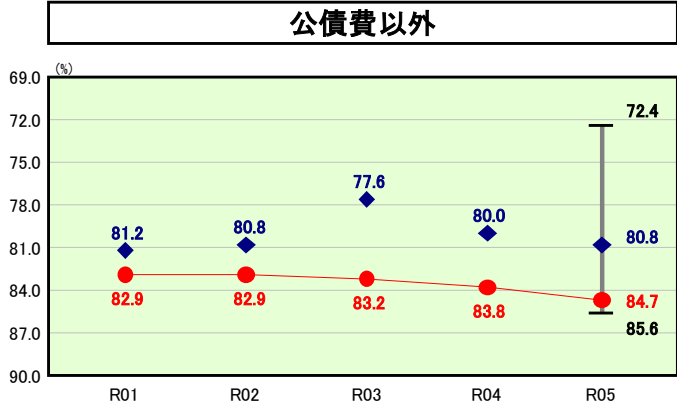
全国平均 12.6

千葉県平均 12.2

その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、10.6%と類似団体に比べ低い水準となっている。これは、国保会計や介護保険会計等に対する繰出額が、資格の適正化や地域的な特性等により類似団体に比べ低額となっていることが主な要因である。

特別会計については、独立採算が原則であることから、今後も引き続き普通会計による負担額の適正化に努める。



類似団体内順位 33/36

全国平均 77.2

千葉県平均 79.8

公債費以外の分析欄

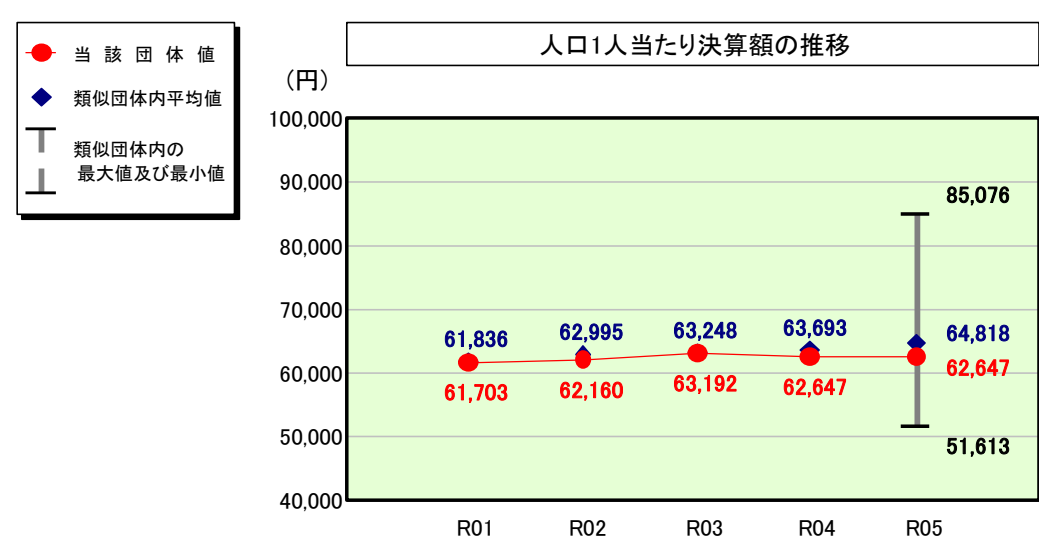
公債費以外の経常収支比率は類似団体平均値に比べ、高い水準になっている。要因として、人件費・物件費・扶助費が高水準であることが挙げられる。人件費について、総額は減となったが依然高い割合を維持しているもの。物件費では学校給食費無償化による増、扶助費では保育園の運営費や子ども医療費の増などが主な要因となったもの。特に扶助費については高齢化の進展などで今後も増加傾向が続くと見込まれるため、引続き経常収支比率を改善し、健全な財政運営となるよう、事業・施設の統廃合といった行財政改革をさらに推進し、市税収入をはじめとする

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

千葉県市川市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

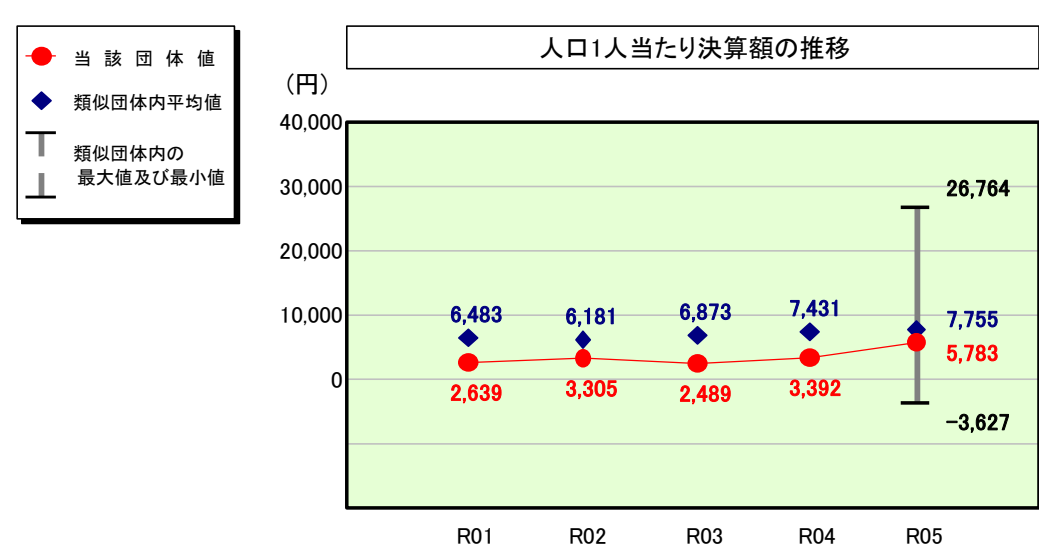
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	29,850,797	60,562	61,513	▲ 1.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	3,208	7	1,262	▲ 99.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	101,584	206	1,079	▲ 80.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	46	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	795,968	1,615	2,016	▲ 19.9
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	1,067,709	2,166	1,290	67.9
▲退職金	▲ 940,750	▲ 1,909	▲ 2,388	▲ 20.1
合計	30,878,516	62,647	64,818	▲ 3.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5.99	6.09	▲ 0.10
ラスパイレス指数	101.0	99.7	1.3

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

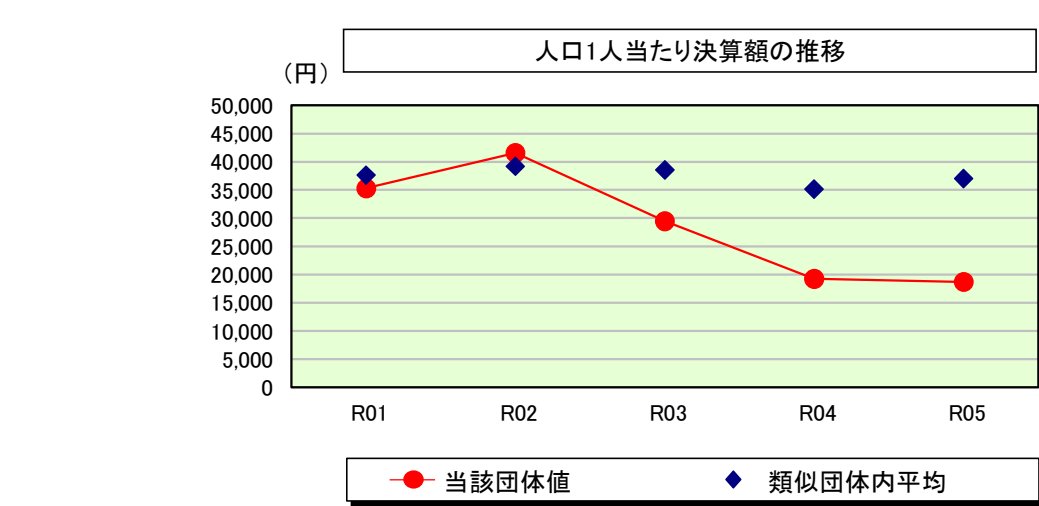
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	8,385,589	17,013	26,619	▲ 36.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	3	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	28	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,025,989	2,082	5,266	▲ 60.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	468	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,148,575	2,330	985	136.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 3,326,702	▲ 6,749	▲ 7,209	▲ 6.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 4,383,123	▲ 8,893	▲ 18,404	▲ 51.7
合計	2,850,328	5,783	7,755	▲ 25.4

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A) - (B)
R01	17,300,216	35,293	60.9	37,644	13.5	47.4
うち単独分	15,105,006	30,814	58.7	24,939	22.5	36.2
R02	20,444,265	41,573	17.8	39,221	4.2	13.6
うち単独分	17,914,263	36,429	18.2	24,821	▲ 0.5	18.7
R03	14,476,121	29,492	▲ 29.1	38,566	▲ 1.7	▲ 27.4
うち単独分	12,595,565	25,661	▲ 29.6	24,059	▲ 3.1	▲ 26.5
R04	9,464,471	19,253	▲ 34.7	35,156	▲ 8.8	▲ 25.9
うち単独分	8,047,687	16,371	▲ 36.2	22,430	▲ 6.8	▲ 29.4
R05	9,219,286	18,704	▲ 2.9	37,029	5.3	▲ 8.2
うち単独分	7,823,484	15,873	▲ 3.0	23,232	3.6	▲ 6.6
過去5年間平均	14,180,872	28,863	2.4	37,523	2.5	▲ 0.1
うち単独分	12,297,201	25,030	1.6	23,896	3.1	▲ 1.5

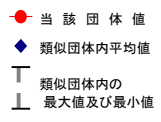


(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

千葉県市川市

人	492,895	人(R6.1.1現在)			
うち日本人	473,367	人(R6.1.1現在)			
面積	57.44	km <sup>2</sup>	実質赤字比率	-	%
歳入総額	177,336,668	千円	実質公債費比率	2.1	%
歳出総額	172,384,526	千円	将来負担比率	-	%
実質収支	4,118,548	千円	市町村類型	R01Ⅳ-3	R02Ⅳ-3
標準財政規模	96,941,066	千円	(年度毎)	R04Ⅳ-3	R05Ⅳ-3
地方債現在高	52,500,026	千円			

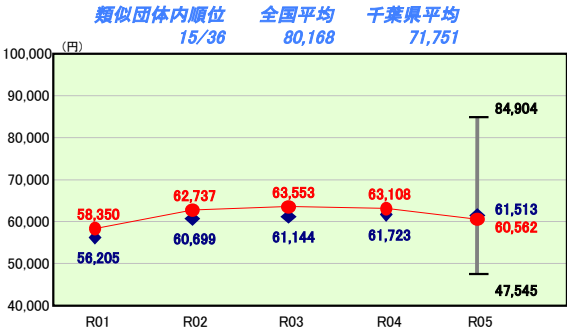


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

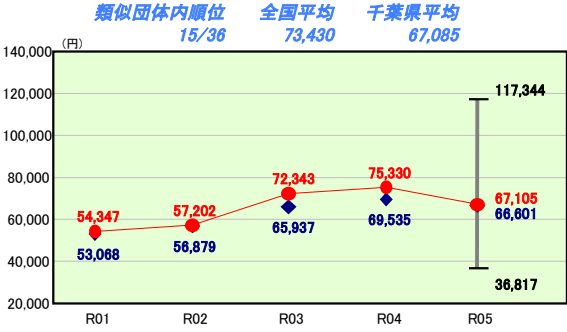
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

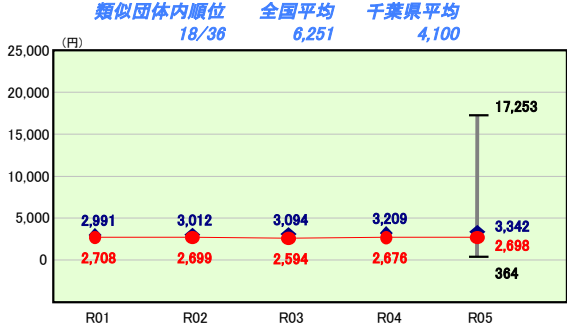
人件費



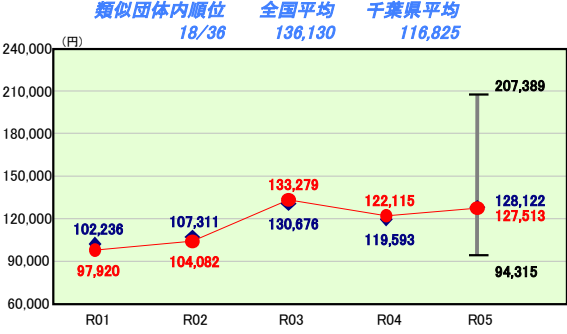
物件費



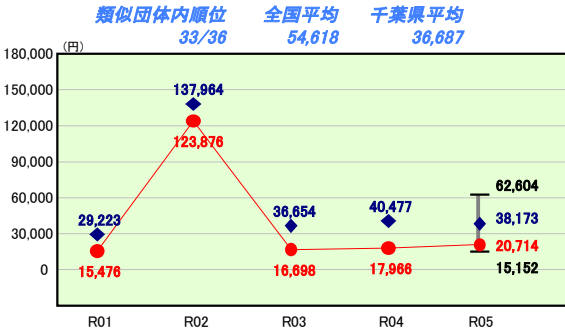
維持補修費



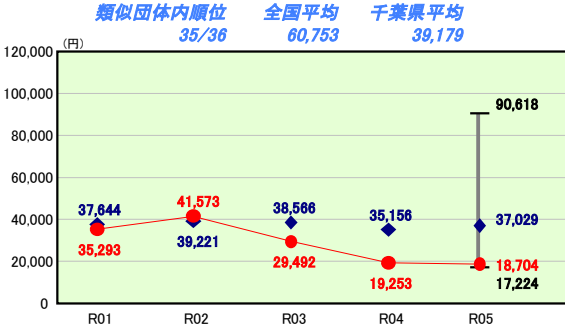
扶助費



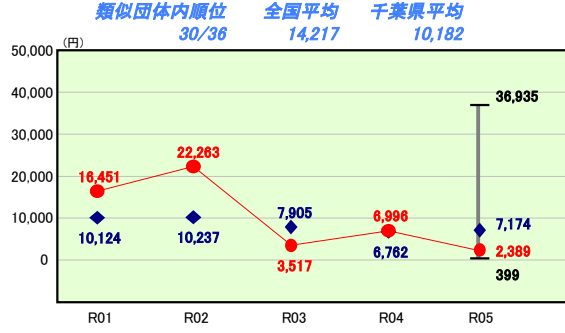
補助費等



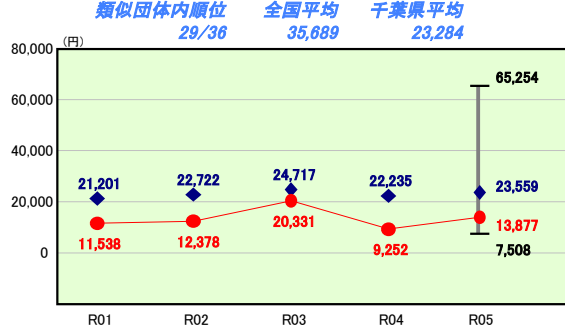
普通建設事業費



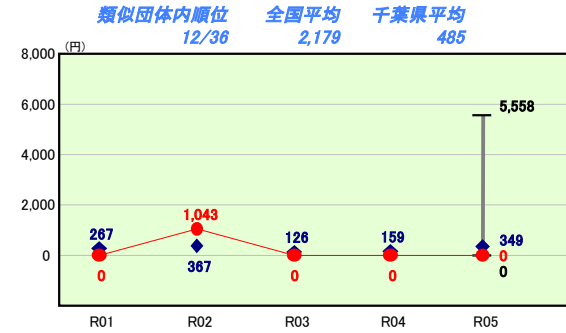
普通建設事業費(うち新規整備)



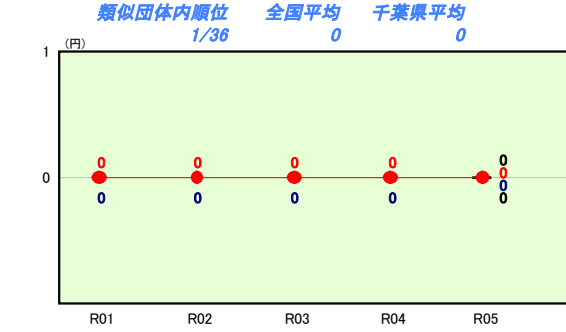
普通建設事業費(うち更新整備)



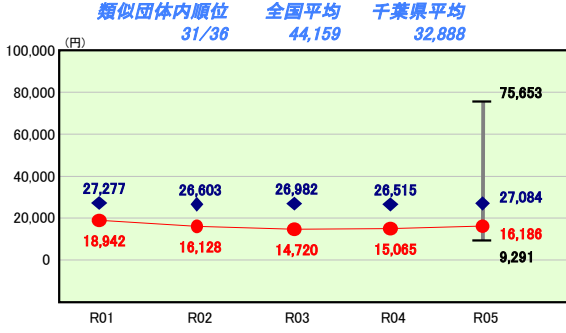
災害復旧事業費



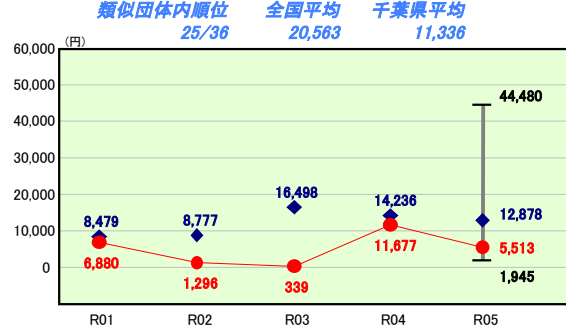
失業対策事業費



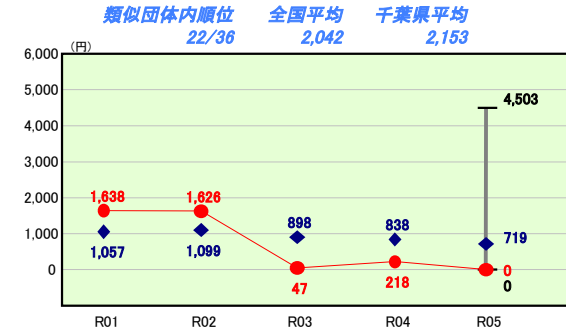
公債費



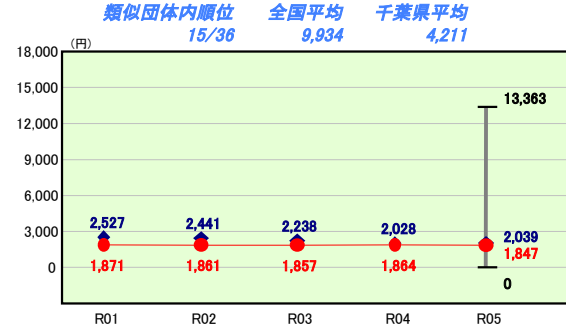
積立金



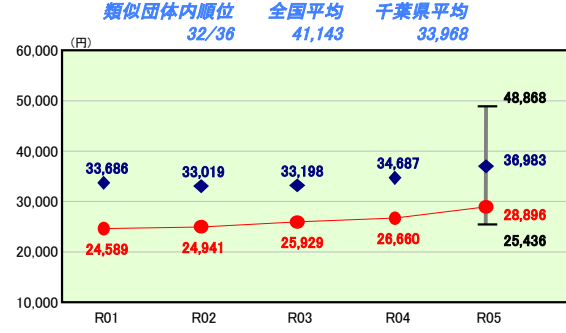
投資及び出資金



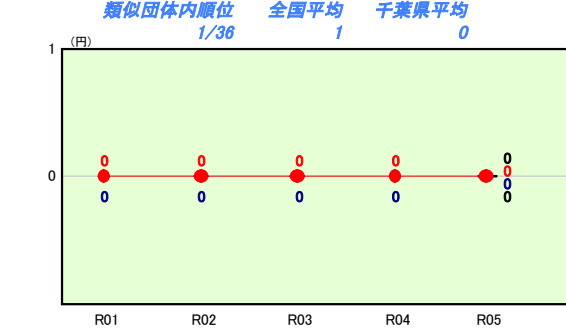
貸付金



繰出金



前年度繰上充用金



性質別歳出の分析欄

・歳出決算総額は、住民一人当たり349,739円となっている。そのうち、人件費は住民一人当たり60,562円となっており、前年度と比べて減少しながらも類似団体内平均値とほぼ同水準である。これは、定年の段階的引き上げにより定年退職者が生じなかったことによる。

・物件費において、新型コロナウイルスワクチン接種の規模縮小に伴う接種委託料等や体制整備委託料等が減少したこと、約55億1,600万円の減になったことにより、一人当たり67,105円と前年度と比べて減少した。

・普通建設事業費において、4年度決算では、文化会館大規模改修工事の完了などにより約46億7,400万円減となっていたが、5年度決算においては保育園整備について、単年度計画から2か年計画になったことなどにより約3億5,000万円減となったことから、住民一人当たり18,704円と前年度と比べて減少した。

本市の建物などの減価償却資産については、老朽化の程度を示す指標である有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）が53.0%となっている。これは、高度経済成長期からの急激な人口増加に対応するため、特に昭和40年代から50年代にかけて集中的に施設が整備されてきた結果であり、このままでは、今後大規模修繕や建て替え等の時期を一齐に迎えることが予想される。人口減少や少子高齢化等の社会情勢に合わせて、公共施設に求められるニーズも今後更なる変化が予想されることから、計画的な施設の更新のほか施設の民営化・統合・廃止等も含めた公共施設の適切なマネジメントにより財政負担の軽減・平準化を図っていく。

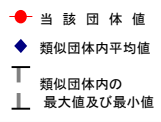
・積立金において、公共施設整備基金への積み立てを15億円としたことなどにより、一人当たり5,513円と前年度と比べて減少した。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

千葉県市川市

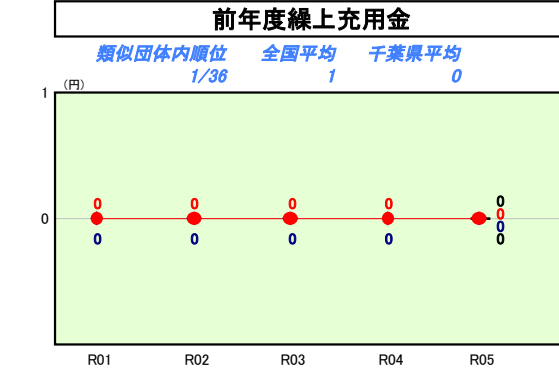
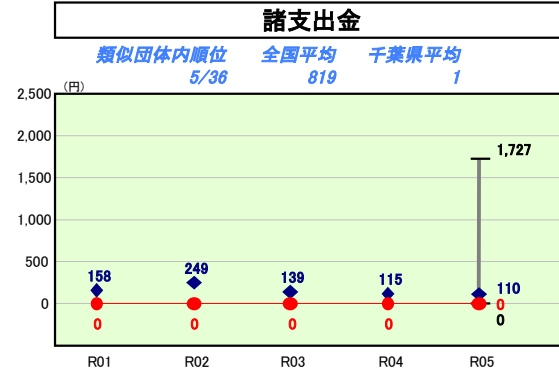
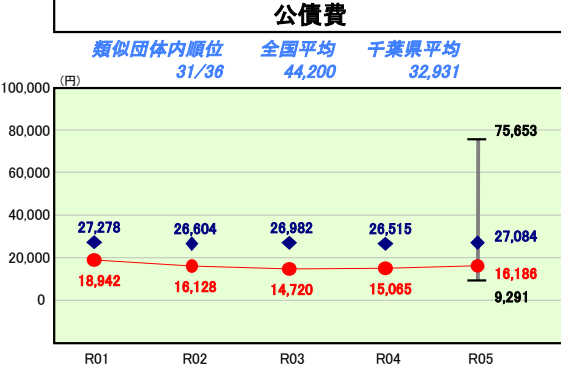
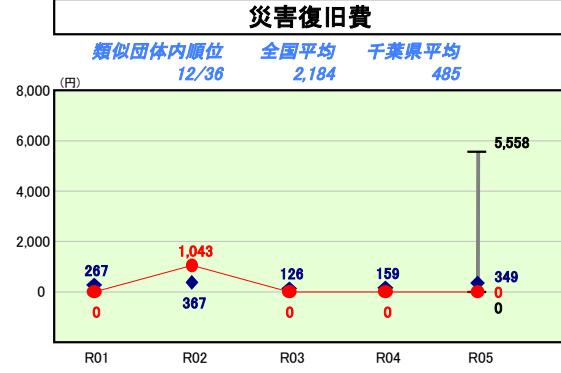
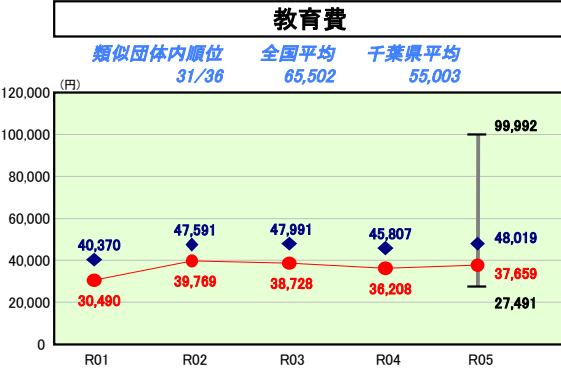
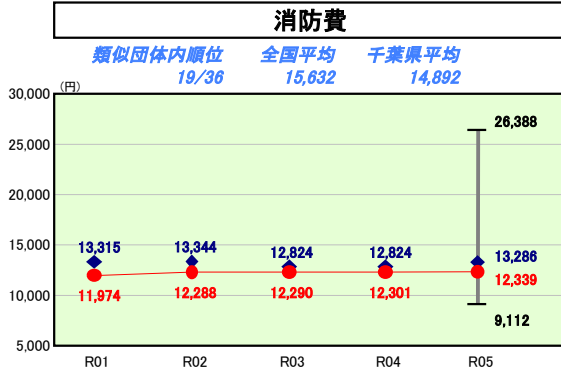
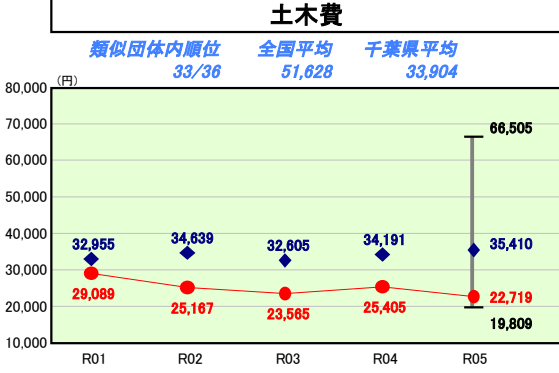
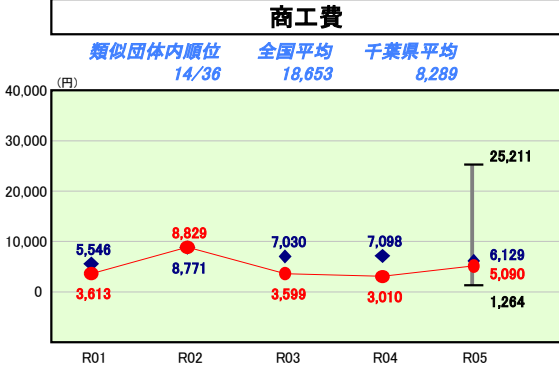
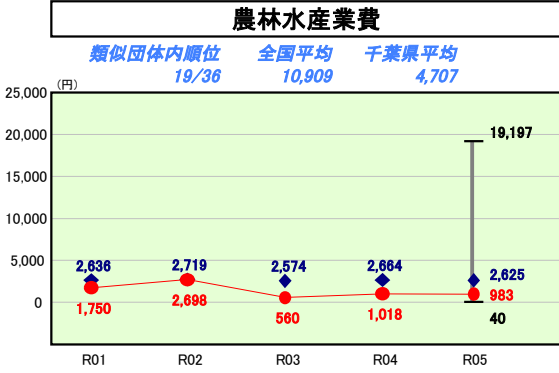
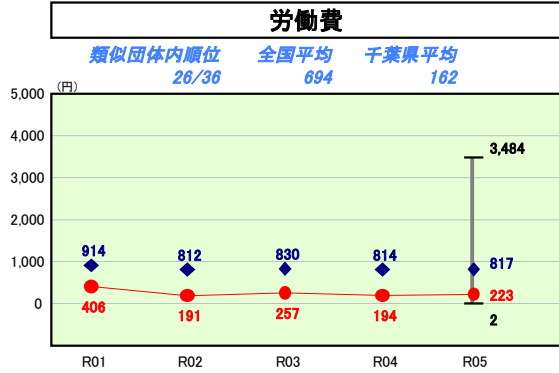
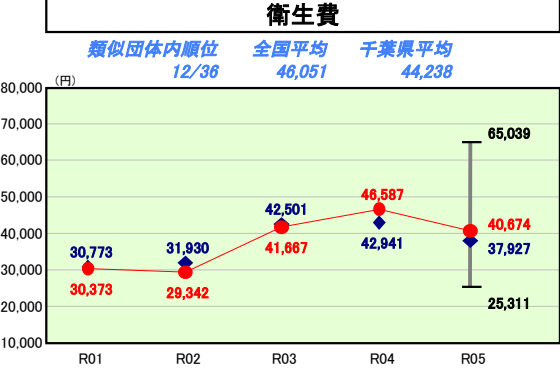
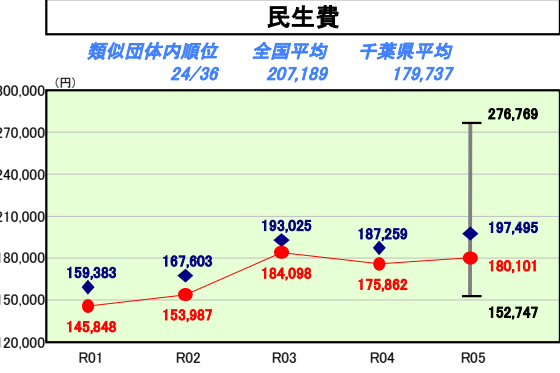
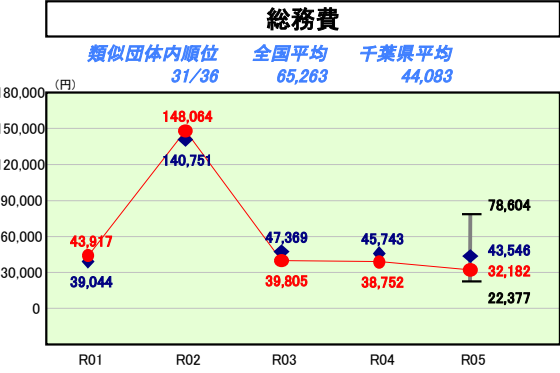
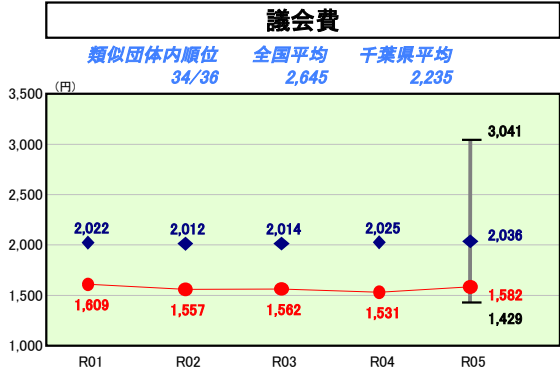
人口	492,895人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	473,367人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	57.44km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.1%
歳入総額	177,336,668千円	将来負担比率	-%
歳出総額	172,384,526千円	市町村類型	R01Ⅳ-3R02Ⅳ-3R03Ⅳ-3
実質収支	4,118,548千円	(年度毎)	R04Ⅳ-3R05Ⅳ-3
標準財政規模	96,941,066千円		
地方債現在高	52,500,026千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

・総務費は、住民一人当たり32,182円で、4年度より減となった。これは、公共施設整備基金への積み立てを15億円としたこと等によるものである。

・民生費は、住民一人当たり180,101円で、4年度より増となった。これは、地域コミュニティゾーン子ども施設整備工事の進捗などにより約9億200万円の減によるものの、私立保育園の新規開園数の増及び開園に伴う児童数の増により私立保育園保育委託料が約13億1,900万円増加したことや、赤字補てんの増に伴う繰入金金が7億8,000万円増加したこと等によるものである。

・衛生費は、住民一人当たり40,674円で、4年度より減となった。これは、クリーンセンターの機能維持のため修繕により約8億3,100万円の増や出産・子育て応援給付金の通年化により約5億1,300万円の増となったものの、新型コロナワクチン接種の規模縮小により約50億2,600万円の減などによるものである。

・土木費は、住民一人当たり22,719円で、4年度より減となった。これは、地域コミュニティゾーン公園整備事業の完了により約9億6,700万円の減となったこと等によるものである。

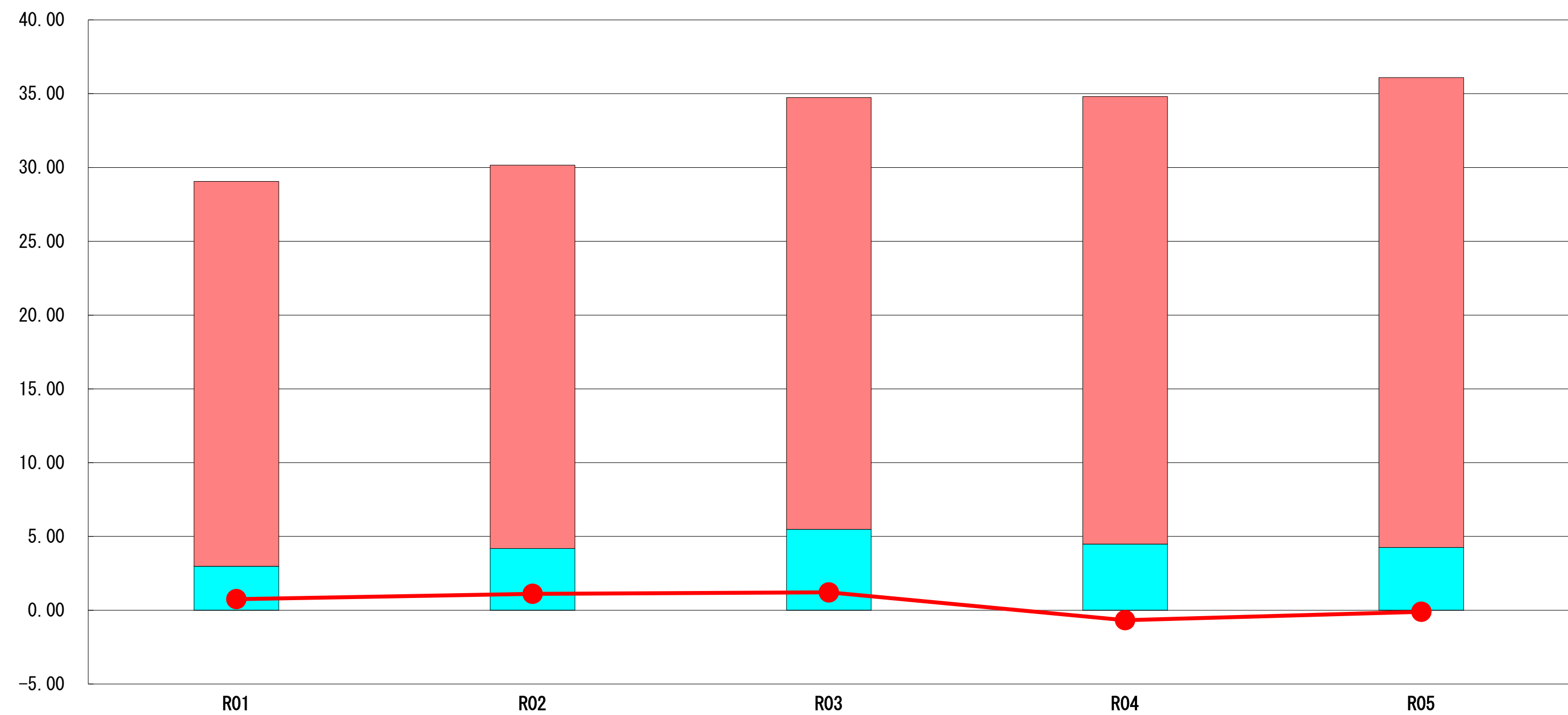
・教育費は、住民一人当たり37,659円で、4年度より増となった。これは、国府台公園再整備工事の進捗により約4億9,400万円の増となったことや中学校校舎等改修工事の工事内容の差異等による約2億1,400万円の増などによるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

千葉県市川市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	R01	R02	R03	R04	R05
<div></div> 財政調整基金残高		26.07	25.98	29.25	30.33	31.84
<div></div> 実質収支額		2.98	4.18	5.48	4.48	4.25
<div></div> 実質単年度収支		0.75	1.11	1.21	▲ 0.68	▲ 0.10

分析欄

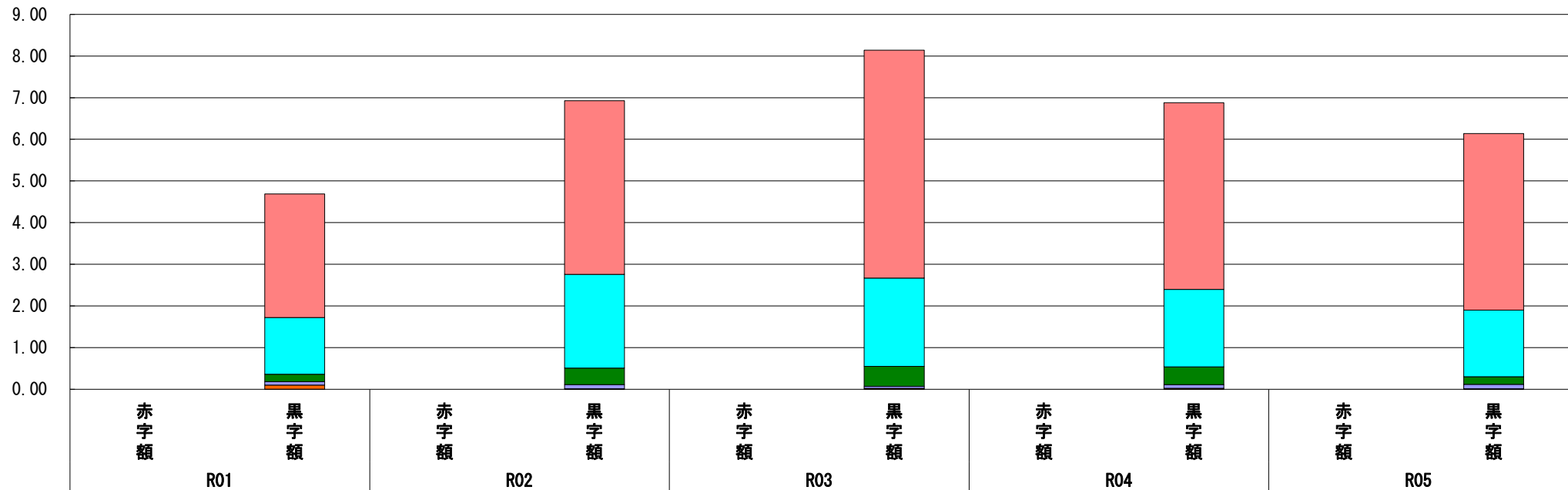
令和5年度は4年度と比較し、コロナが5類感染症に移行し、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金などが減となったことから、歳入、歳出ともに総額において減となった。  
実質収支額は減となった一方で、標準財政規模については増となり、実質収支比率は0.3ポイント減となった。  
財政調整基金残高については、5年度決算剰余金の2分の1相当額が純増となったことなど、1.51ポイント増となったもの。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和5年度

千葉県市川市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		R01	R02	R03	R04	R05
会計	一般会計	2.97	4.17	5.47	4.48	4.24
	下水道事業会計	1.36	2.25	2.12	1.86	1.60
	介護保険特別会計	0.18	0.40	0.48	0.43	0.18
	国民健康保険特別会計	0.08	0.10	0.05	0.09	0.11
	後期高齢者医療特別会計	0.10	0.01	0.02	0.02	0.01
	その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
	その他会計（黒字）	-	-	-	-	-

**分析欄**

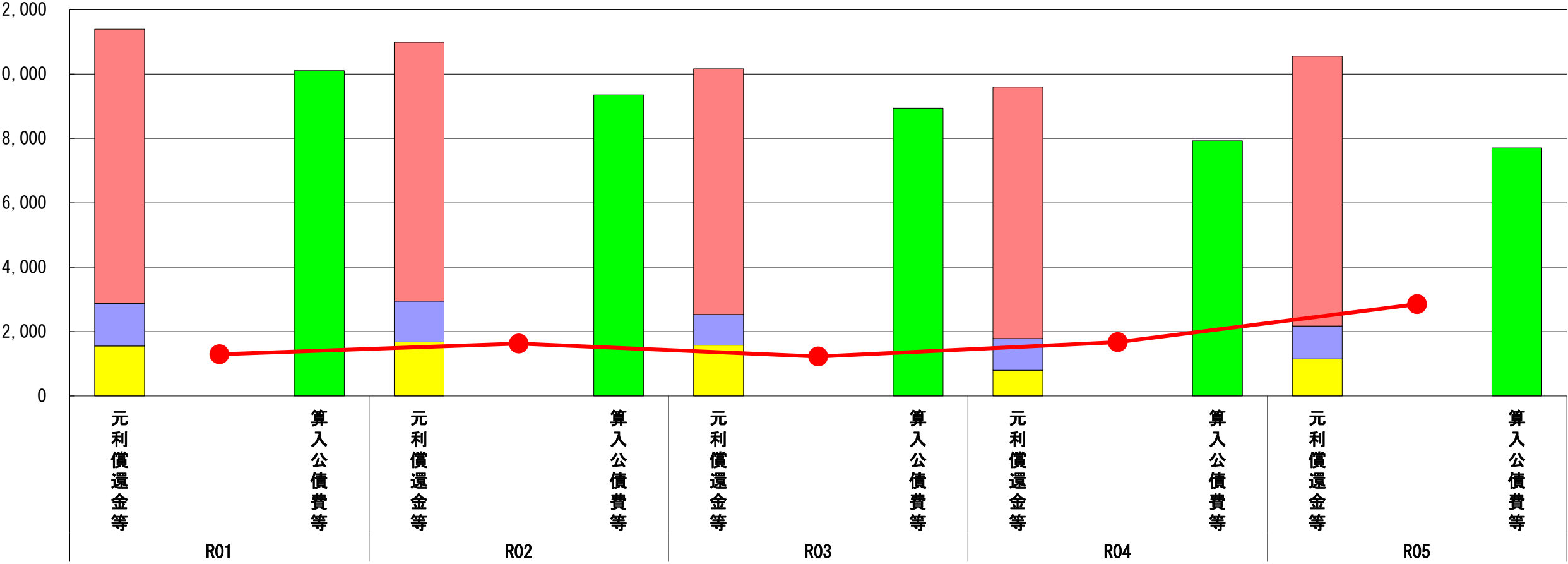
令和5年度については各会計とも黒字となったため、連結赤字比率の構成もすべて黒字となっている。  
今後とも各会計が健全な財政運営を図ることにより、赤字を生じさせないよう努めていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県市川市

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		8,528	8,041	7,635	7,815	8,386
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,318	1,267	950	982	1,026
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1,551	1,675	1,579	802	1,149
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		10,104	9,358	8,941	7,931	7,711
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,293	1,625	1,223	1,668	2,850

分析欄

元利償還金等について、債務負担行為に基づく支出額が約3億5千万円増となったこと、また庁舎整備事業債などの大型建設事業に係る市債の償還が開始されたこと等により、市債の元利償還金が約5億7千万円増となったことなどから、単年度の実質公債費比率は1.2ポイント増加した。

しかしながら、3ヵ年平均でも類似団体を下回る2.1%と良好な水準を維持している。

今後は公共施設の更新を控えているが、過度な市債の借入で財政を圧迫することのない範囲で数値の保持を図っていく。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

（百万円）

		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等（注）	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		-	-	-	-	-

（注）減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄

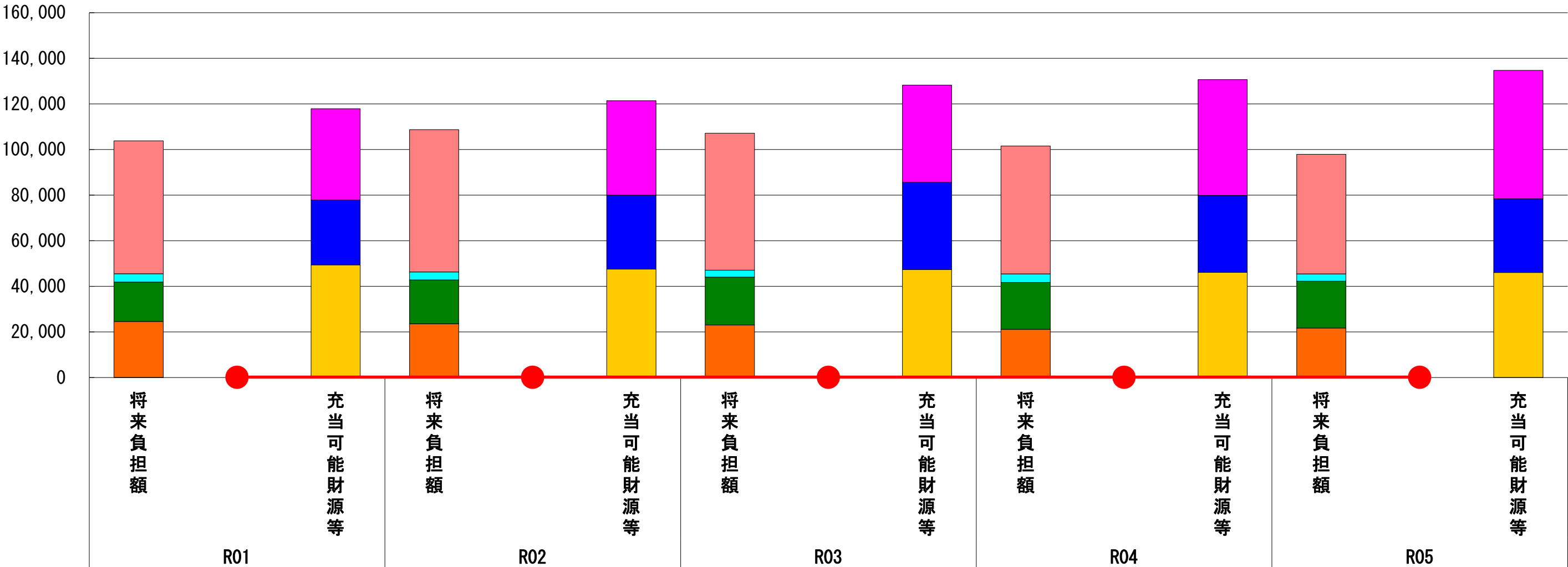
減債基金については、市債の残高が減少したこと等により、市債管理基金の役割を終えたと判断したことから、平成28年度末をもって同基金を廃止している。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県市川市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		58,320	62,415	60,061	56,198	52,500
	債務負担行為に基づく支出予定額		3,654	3,512	3,040	3,684	3,156
	公営企業債等繰入見込額		17,283	19,252	21,040	20,574	20,510
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		24,535	23,519	22,970	21,123	21,711
	設立法人等の負債額等負担見込額		20	12	10	11	12
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		40,070	41,320	42,635	50,791	56,363
	充当可能特定歳入		28,467	32,485	38,279	33,738	32,363
(A) - (B)	基準財政需要額算入見込額		49,350	47,530	47,324	46,069	46,013
	将来負担比率の分子		▲ 14,075	▲ 12,626	▲ 21,117	▲ 29,008	▲ 36,849

分析欄

将来負担額については、退職手当負担見込額が増となったものの、債務負担行為に基づく支出予定額、地方債現債高、公営企業等繰入見込額が減少となっており、将来負担額としては約37億円の減となった。

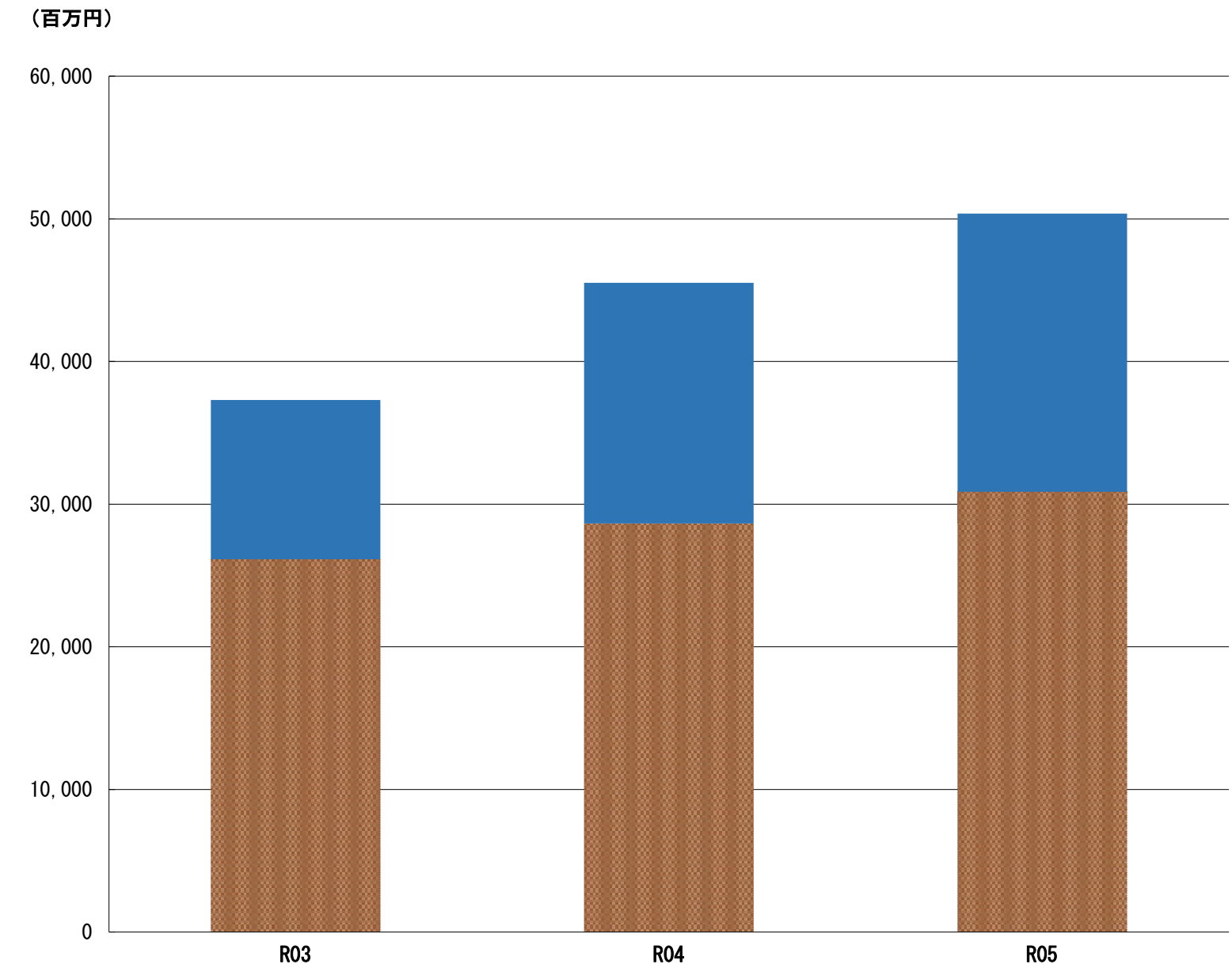
また、充当可能財源等については、臨時財政対策債の償還進行などにより、基準財政需要額算入見込額が減となったものの、充当可能基金が増となったため、約41億4千万円の増となった。




以上により、将来負担比率は将来負担を充当可能財源で充当しきれの結果となり、引き続き良好な水準を維持している。

今後も財政運営が圧迫されることのないよう、各種債務の的確な把握に努めるとともに、充当可能財源等の確保に努め将来負担額の抑制を図っていく。



(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分		年度		
		R03	R04	R05
	財政調整基金	26,129	28,645	30,867
	減債基金	-	-	-
	その他特定目的基金	11,183	16,875	19,496
	一般廃棄物処理施設建設等基金	6,436	7,484	8,591
	公共施設整備基金	-	4,500	6,000
	職員退職手当基金	3,783	3,785	3,785
	福祉基金	277	281	301
	森林環境譲与税基金	96	149	176
基金残高合計		37,312	45,520	50,363

令和5年度	千葉県市川市
<div>基金全体</div> <p>(増減理由)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>令和5年度末の基金残高は、普通会計で504億円となっており、前年度から約49億円の増加となっている。</li><li>これは、財政調整基金において5年度の決算剰余金を22億円、公共施設整備基金に15億円、一般廃棄物処理施設建設等基金に11億円を積立てたことが主な要因である。</li></ul> <p>(今後の方針)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>財政調整基金については、年度間の財源調整や災害対応経費の財源となるものであることから、決算剰余金の1/2以上の積立を引き続き行うことにより、相応の残高維持を図っていくもの。</li><li>特定目的基金については、各基金の目的に沿って積立・取崩しを行っていくことから、各施設の計画・整備進捗に応じて増減していくことが見込まれる。</li></ul>	
<div>財政調整基金</div> <p>(増減理由)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>令和5年度の基金残高は、約309億円となっており、前年度から約22億2,200万円の増加となっている。</li><li>災害対応などにより取崩しを行うことがなかったことや、決算剰余金の1/2以上及び基金運用益の積立てを行うことができたことが要因である。</li></ul> <p>(今後の方針)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>世界的な原材料価格の上昇、人件費や物価高騰、首都直下型地震のような大規模災害が発生した際などの備えとして、平常時に可能な範囲で積立を行うことで、相応の基金残高の維持に努める。</li></ul>	
<div>減債基金</div> <p>(増減理由)</p> <p>(今後の方針)</p>	
<div>その他特定目的基金</div> <p>(基金の用途)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>公共施設整備基金：公共施設の保全、更新その他の計画的な整備に必要な経費の財源に充てるための基金。</li><li>ワクチン健康被害見舞金基金：新型コロナウイルス感染症その他の感染症のワクチン接種により健康被害を受けた市民に対し見舞金を支給する事業の財源に充てるための基金。</li><li>犬猫いのちの基金：犬及び猫の愛護及び管理に関する事業を推進することにより、犬及び猫のいのちを尊重し、人と犬及び猫が共生する社会の実現に資する事業の財源に充てるための基金。</li></ul> <p>(増減理由)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>公共施設整備基金：市が管理する公共施設の保全、更新その他の計画的な整備に必要な経費の財源に充てるため、15億円の積立てを実施し、増となったもの。</li><li>一般廃棄物処理施設建設等基金：一般廃棄物処理施設の建替え計画のため、11億円の積立てを実施し、増となったもの。</li></ul> <p>(今後の方針)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>施設整備に係る基金は、事業計画と財政状況の見合いで積立・取崩しを行っていくほか、その他の基金については、継続的な活用（積立のほか、運用益の事業費充当等）を行っていくもの。</li></ul>	

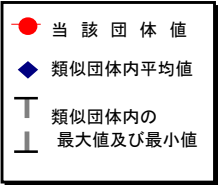


(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

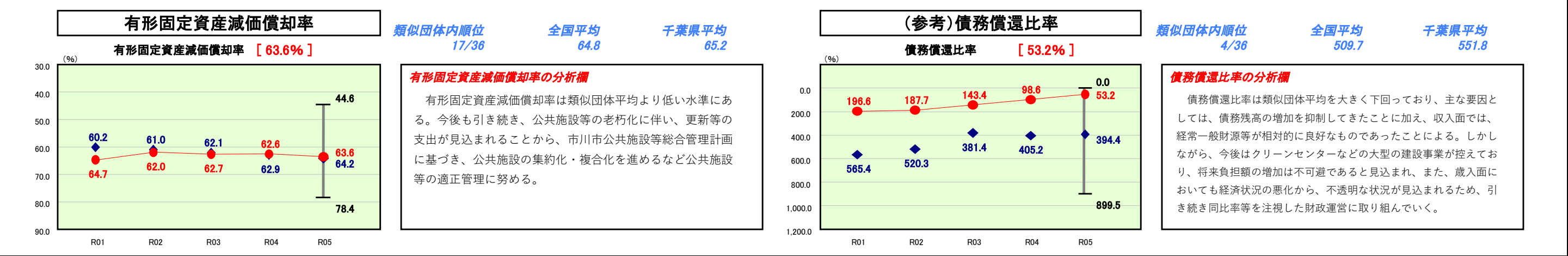
令和5年度

千葉県市川市

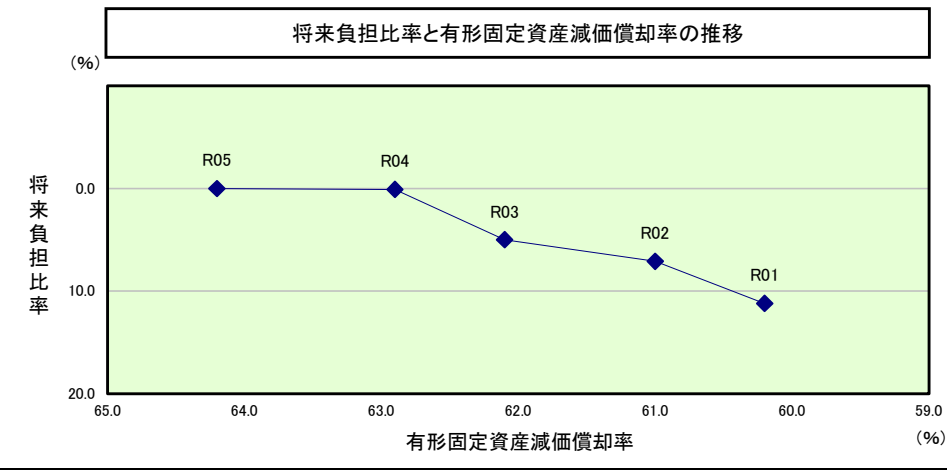
人	492,895	人(R6.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	473,367	人(R6.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面	57.44	km <sup>2</sup>	実	質	公	債	費	比	率	2.1
歳入総額	177,336,668	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	172,384,526	千円	市	町	村	類	型	R01	Ⅳ-3	R02
実質収支	4,118,548	千円	(	年	度	毎	)	R04	Ⅳ-3	R05
標準財政規模	96,941,066	千円								
地方債現在高	52,500,026	千円								



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



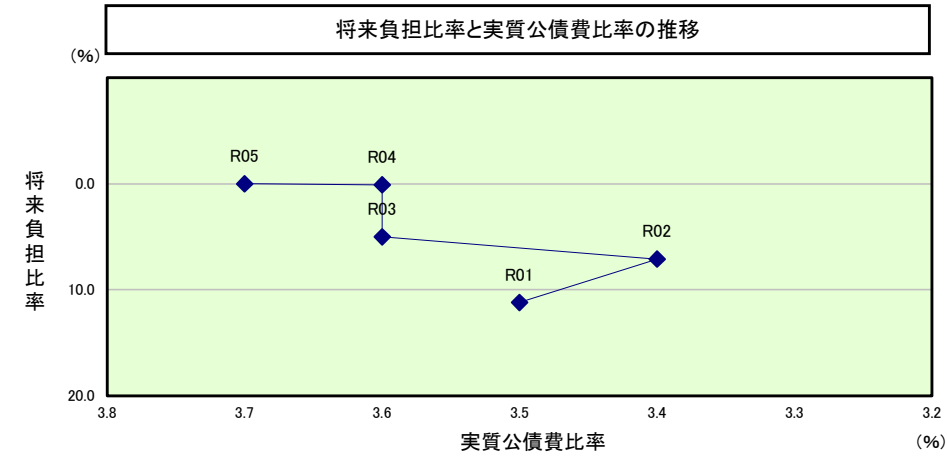
分析欄

地方債の新規発行抑制を実施し、地方債現在高を累増させない運用に努めてきたことや、将来の施設整備の財源確保を目的とした基金等へ計画的に積立てした結果、充当可能財源等が将来負担額を上回る状況を維持しており、将来負担比率は算定されていない。また、庁舎や塩浜学園の建替、文化会館の改修など、新たな固定資産形成を進めてきたことで、有形固定資産減価償却率は類似団体を下回っている状況にある。一方で昭和40年代～60年代に建設された市営住宅の有形固定資産減価償却率が90%以上であること、昭和50年代～60年代に建設された市立保育園の有形固定資産減価償却率が95%以上であることから、市川市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の老朽化対策と再編によるスリム化を図っていく。

( 参考 )

		R01	R02	R03	R04	R05
当該団体値	将来負担比率	-	-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率	64.7	62.0	62.7	62.6	63.6
類似団体内平均値	将来負担比率	11.2	7.1	5.0	0.1	0.0
	有形固定資産減価償却率	60.2	61.0	62.1	62.9	64.2

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

本市は将来負担額に対し、充当可能財源等が上回っており、将来負担比率が算定されていない。実質公債費比率は、借入額の抑制などにより良好な水準で推移しているが、今後は、クリーンセンターの建替をはじめとした老朽化した公共施設の改修や更新が見込まれるため、債務償還費用が過度に財政を圧迫することのないよう、計画的に財政運営を行っていく。

( 参考 )

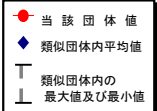
		R01	R02	R03	R04	R05
当該団体値	将来負担比率	-	-	-	-	-
	実質公債費比率	1.6	1.7	1.6	1.7	2.1
類似団体内平均値	将来負担比率	11.2	7.1	5.0	0.1	0.0
	実質公債費比率	3.5	3.4	3.6	3.6	3.7

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和5年度

千葉県市川市

人口	492,895人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	473,367人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	57.44km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.1%
歳入総額	177,336,668千円	将来負担比率	-%
歳出総額	172,384,526千円	市町村類型	R01Ⅳ-3R02Ⅳ-3R03Ⅳ-3
実質収支	4,118,548千円	(年度毎)	R04Ⅳ-3R05Ⅳ-3
標準財政規模	96,941,066千円		
地方債現在高	52,500,026千円		



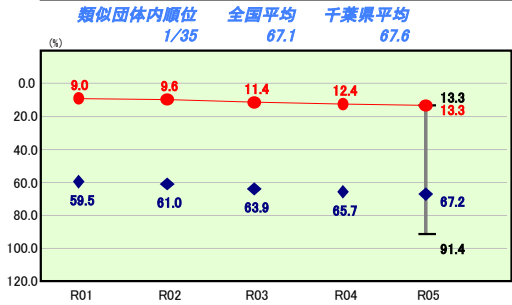
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

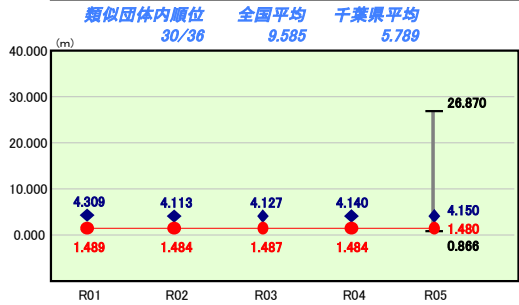
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

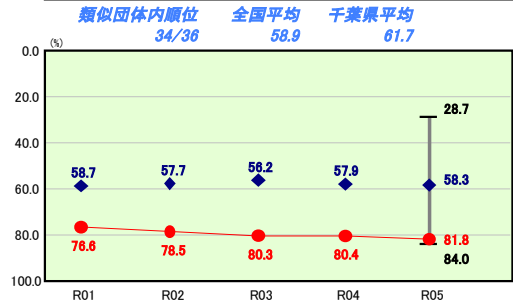
【道路】  
有形固定資産減価償却率



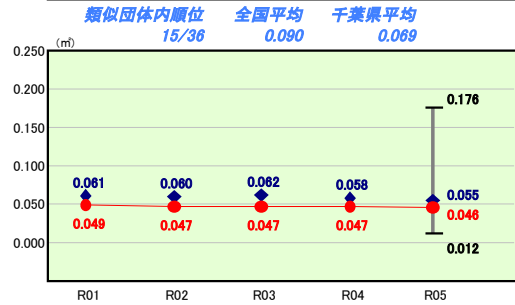
【道路】  
一人当たり延長



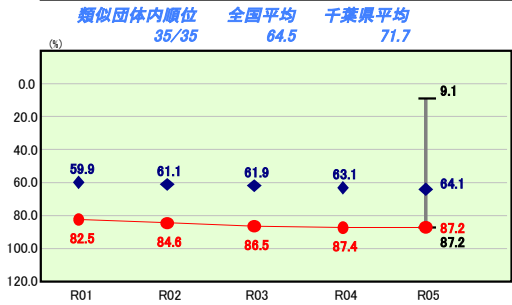
【認定こども園・幼稚園・保育所】  
有形固定資産減価償却率



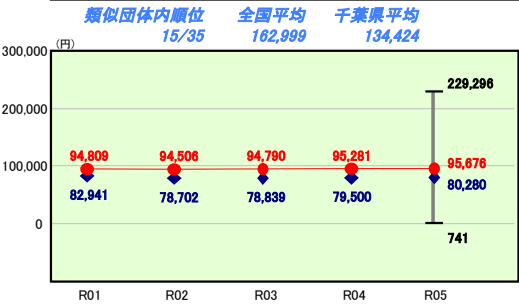
【認定こども園・幼稚園・保育所】  
一人当たり面積



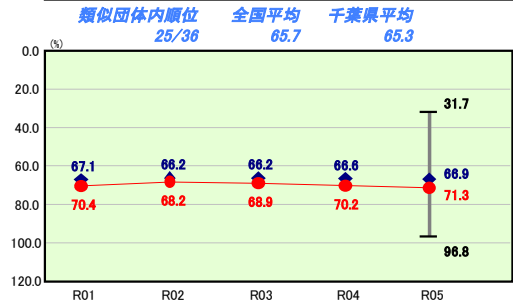
【橋りょう・トンネル】  
有形固定資産減価償却率



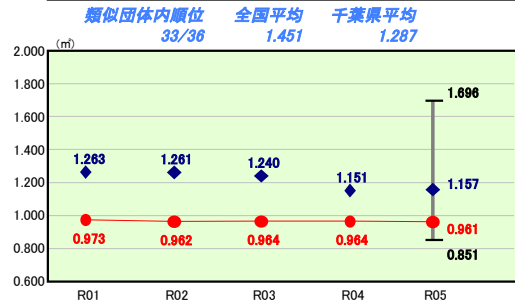
【橋りょう・トンネル】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



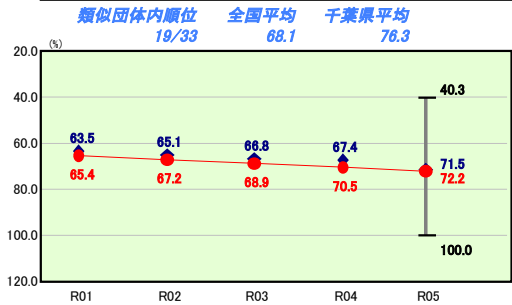
【学校施設】  
有形固定資産減価償却率



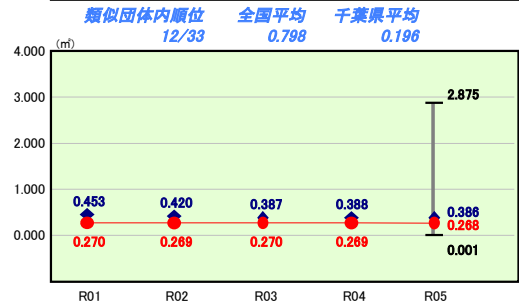
【学校施設】  
一人当たり面積



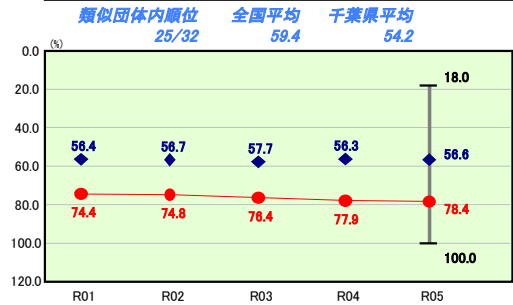
【公営住宅】  
有形固定資産減価償却率



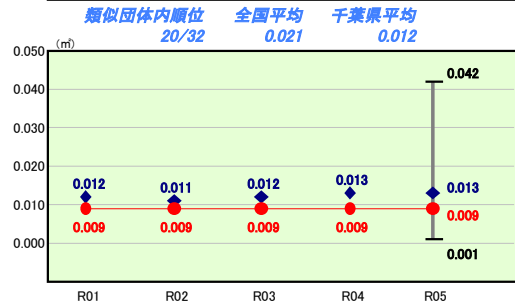
【公営住宅】  
一人当たり面積



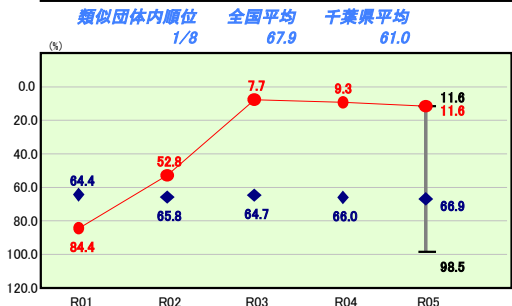
【児童館】  
有形固定資産減価償却率



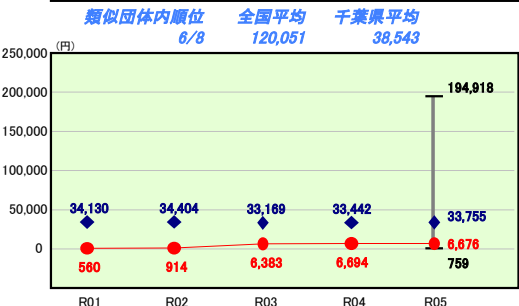
【児童館】  
一人当たり面積



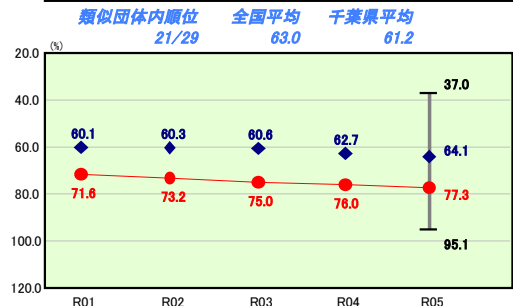
【港湾・漁港】  
有形固定資産減価償却率



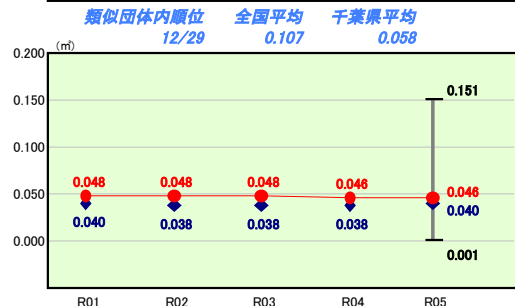
【港湾・漁港】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【公民館】  
有形固定資産減価償却率



【公民館】  
一人当たり面積



施設情報の分析欄

類似団体と比較して、道路及び港湾・漁港以外の有形固定資産減価償却率が高くなっている。道路については、統一的な基準の開始時において備忘価額1円で評価されたものが一定程度あるため有形固定資産減価償却率が低くなっている。港湾・漁港については、水産庁及び千葉県の承認を得た市川漁港整備事業基本計画に基づく漁港施設整備が3年度よりさらに進捗したことから、有形固定資産減価償却率が低くなっている。

その他の類型については、公共施設個別計画に基づいて令和12年度までの再編・整備を進めている。保育所については、建替え時期にあわせて民営化または統廃合することとしている。学校施設については、築年数や資産価値を踏まえて、順番に建替えを行うとともに、将来の生徒数に応じた適正な施設規模となるように、減築・増床・統合などを行っている。公営住宅は、民間住宅など、民間資産を活用したほうが、需要に対して柔軟に供給を調整することが可能となることから、建替え時期にあわせて民間資産の活用を検討する。児童館および公民館については、人々が集うコミュニティの核となる施設であることから、築年数等に応じて計画的に建替え・改修を行い、施設の安全性向上を図るとともに、利用方法などを見直して、より使い易い施設としていく。

(13)ー2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和5年度

千葉県市川市

人口	492,895	人(R6.1.1現在)	実	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	473,367	人(R6.1.1現在)	連	結	実	実	赤	字	比	率
面積	57.44	km <sup>2</sup>	実	実	公	債	費	比	率	2.1
歳入総額	177,336,668	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	172,384,526	千円	市	町	村	類	型	R01	Ⅳー3	R02
実収支	4,118,548	千円	(	年	度	毎	)	R04	Ⅳー3	R05
標準財政規模	96,941,066	千円								
地方債現在高	52,500,026	千円								

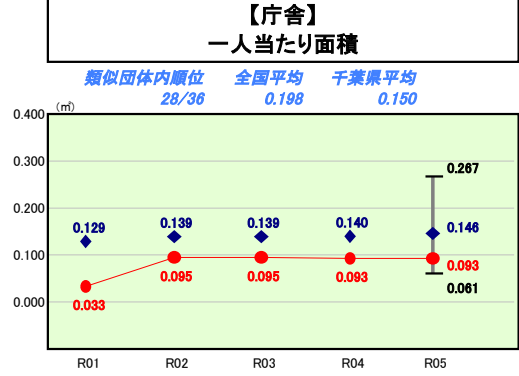
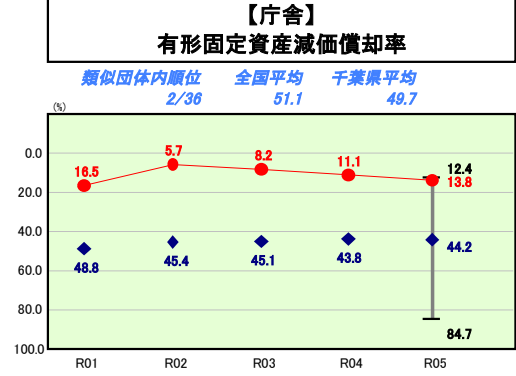
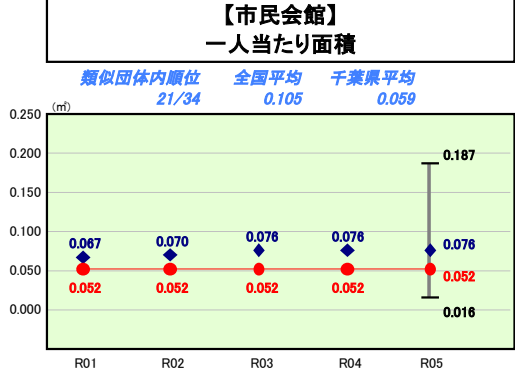
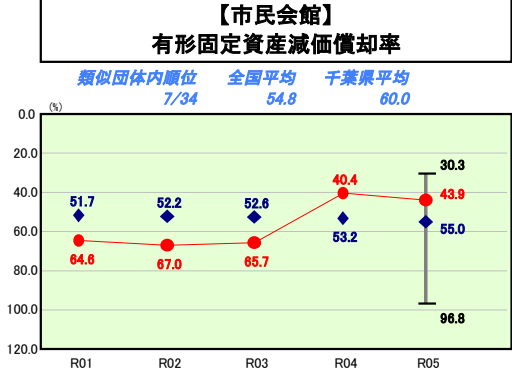
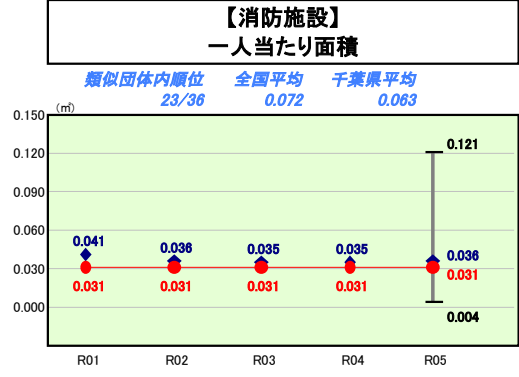
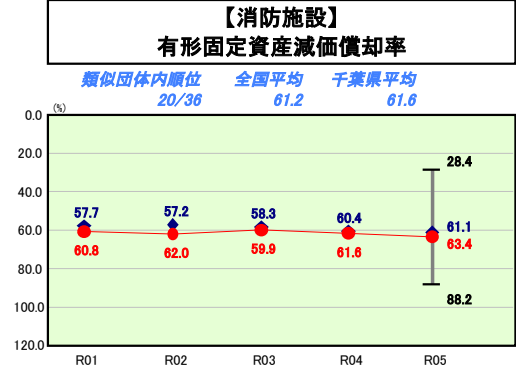
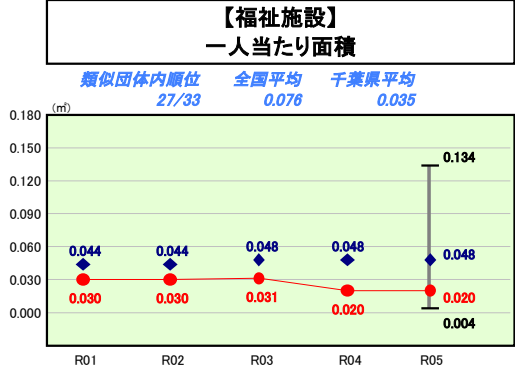
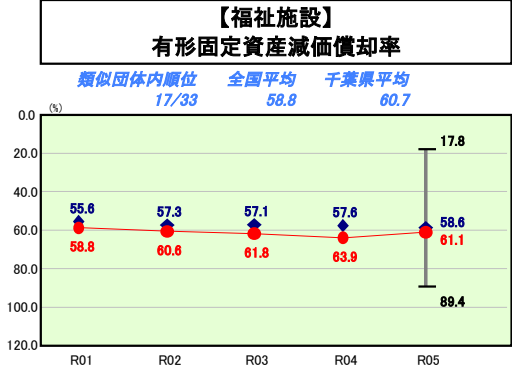
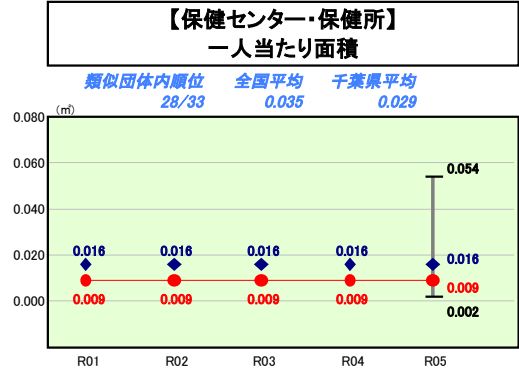
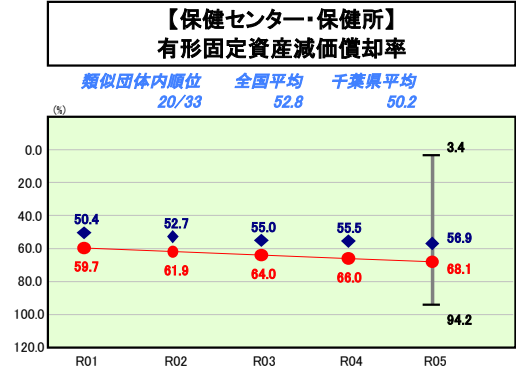
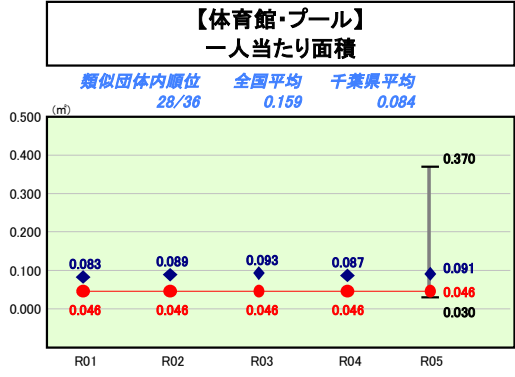
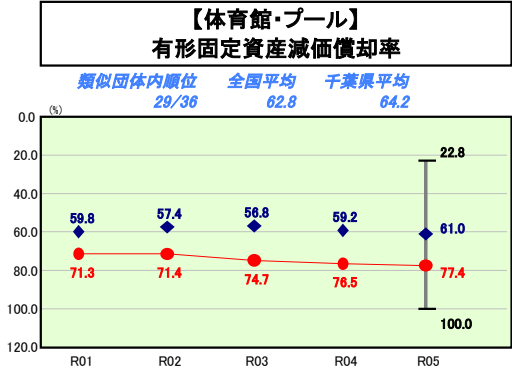
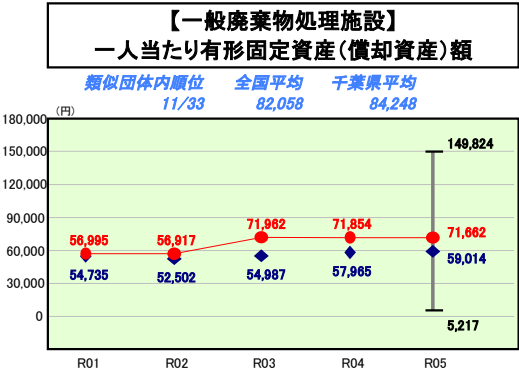
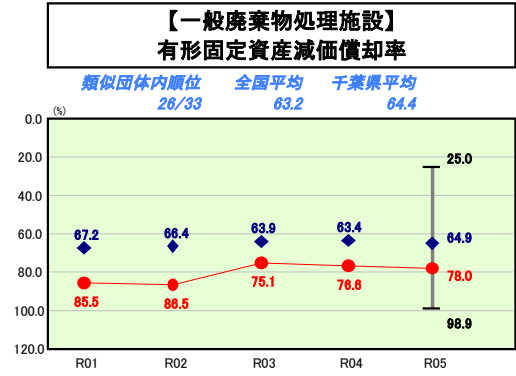
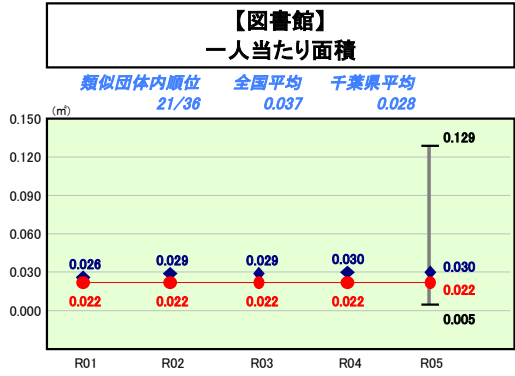
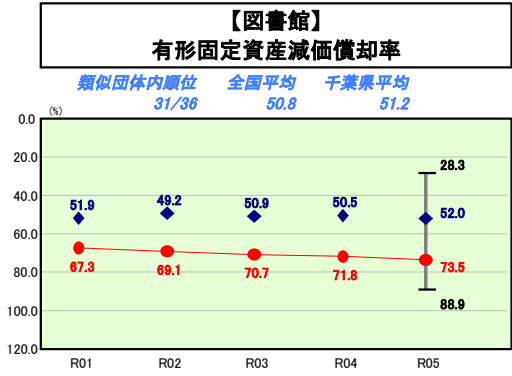


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



**施設情報の分析欄**

類似団体と比較して市民会館・庁舎以外の有形固定資産減価償却率が高くなっている。庁舎については、平成29年度に第2庁舎が供用開始となったほか、令和2年度に第1庁舎においても供用開始となったことにより施設の更新が図られたことによる。図書館、体育館・プール、保健センター、福祉施設、消防施設については、公共施設個別計画に基づき、築年度等に応じて計画的に建替え・改修を行うことで施設の安全性を図る。

市民会館については令和4年度より文化会館の大規模改修を実施したことから有形固定資産減価償却率が減少しており、今後も公共施設個別計画に基づき築年数等に応じて計画的に建替え・改修を行うこととする。

施設全体における更新・改修の費用の確保については、公共施設整備基金を活用するなど、現役世代と将来世代の負担の平準化を図りながら進めることとする。

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	中核市	指定団体等の指定状況		区分	令和5年度(千円)	令和4年度(千円)	区分	令和5年度(千円・%)	令和4年度(千円・%)				
						財政健全化等	×	歳入総額	237,823,569	245,437,120	実質収支比率	1.1	5.3				
市町村名	船橋市			地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	233,861,063	238,073,168	経常収支比率	94.8	93.1				
						財源超過	×	歳入歳出差引	3,962,506	7,363,952	(※1)	( 95.9 )	( 95.6 )				
						首都	○	翌年度に繰越すべき財源	2,600,320	768,819	標準財政規模	127,883,129	124,872,673				
						近畿	×	実質収支	1,362,186	6,595,133	財政力指数	0.92	0.93				
人口	令和2年国調(人)	642,907 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <th>×</th> <th>単年度収支</th> <td>-5,232,947</td> <td>-3,489,814</td> <th>公債費負担比率</th> <td>11.4</td> <td>11.7</td>	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	-5,232,947	-3,489,814	公債費負担比率	11.4	11.7				
	平成27年国調(人)	622,890 <th>過疎</th> <th>×</th> <th>積立金</th> <td>57</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>				過疎	×	積立金	57	健全化判断比率							
	増減率 (％)	3.2 <th>山振</th> <th>×</th> <th>繰上償還金</th> <td>174,400</td> <td>0</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	×	繰上償還金	174,400	0	実質赤字比率	-	-				
住民基本台帳人口 (※7)	令06.01.01(人)	648,331 <th rowspan="2">区分</th> <th>令和2年国調</th> <td>平成27年国調</td> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>6,500,000</td> <td>0</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	6,500,000	0	連結実質赤字比率	-	-				
	うち日本人(人)	627,063		2,258	2,388	指数表選定	○	実質単年度収支	-11,558,490	-3,489,756	実質公債費比率	3.7	3.4				
	令05.01.01(人)	647,037 <th rowspan="2">第1次</th> <td>0.8</td> <td>0.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <th>得実負担比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	第1次	0.8	0.9					得実負担比率	-	-					
	うち日本人(人)	627,773		46,573	48,753					資金不足比率 (※4)							
	増減率 (％)	0.2 <th rowspan="2">第2次</th> <td>16.5</td> <td>18.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	第2次	16.5	18.2												
	うち日本人(％)	-0.1 <td>233,859</td> <td>216,249</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>		233,859	216,249												
	面積 (km <sup>2</sup> )	85.62 <th rowspan="3">第3次</th> <td>82.7</td> <td>80.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>		第3次	82.7	80.9											
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	7,509																
世帯数 (世帯)	289,916																
職員の状況 (※8)																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等 (※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	170,880,037	178,586,781						
	市区町村長	1	10,760		一般職員	3,740	11,156,420	2,983	うち公的資金	93,080,938	99,944,015						
	副市区町村長	2	8,180		うち消防職員	656	1,908,960	2,910	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	110,628,700	114,144,435						
	教育長	1	7,300		うち技能労務職員	222	745,698	3,359	債務負担行為額(支出予定額)	37,859,288	38,897,073						
	議会議長	1	7,590		教育公務員	148	542,698	3,667	収益事業収入	240,000	240,000						
	議会副議長	1	6,860		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-						
	議会議員	48	6,130		合計	3,888	11,699,118	3,009	積立金現在高	24,113,314	24,441,753						
									減債基金	5,284,386	4,817,736						
									その他特定目的基金	16,050,764	10,047,329						
ラスバイレス指数														99.6			
一般会計等の一覧																	
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業特別会計	(7)	地方卸売市場事業会計	(10)	船橋駅南口市街地再開発事業特別会計	(11)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(19)	船橋市清美公社						
(2)	公共用地先行取得事業特別会計	(5)	介護保険事業特別会計	(8)	病院事業会計			(12)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(20)	船橋市福祉サービス公社						
(3)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	(6)	後期高齢者医療事業特別会計	(9)	下水道事業会計			(13)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(21)	船橋市文化・スポーツ公社						
								(14)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(22)	船橋市医療公社						
								(15)	四市複合事務組合	(23)	船橋市生きがい福祉事業団						
								(16)	千葉県競馬組合	(24)	船橋市公園協会						
								(17)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(25)	船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター						
								(18)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(26)	船橋市都市サービス						
										(27)	東葉高速鉄道(株)						

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※8：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	107,475,819	45.2	99,206,814	76.3	普通税	96,986,720	90.2	560,309	
地方譲与税	1,096,019	0.5	1,096,019	0.8	法定普通税	96,986,720	90.2	560,309	
利子割交付金	56,848	0.0	56,848	0.0	市町村民税	52,777,960	49.1	560,309	
配当割交付金	806,683	0.3	806,683	0.6	個人均等割	1,215,963	1.1		
株式等譲渡所得割交付金	967,064	0.4	967,064	0.7	所得割	46,670,345	43.4		
分離課税所得割交付金		—		—	法人均等割	1,607,461	1.5		
地方消費税交付金	14,992,590	6.3	14,992,590	11.5	法人税割	3,284,191	3.1	560,309	
ゴルフ場利用税交付金	3,340	0.0	3,340	0.0	固定資産税	39,520,630	36.8		
特別地方消費税交付金		—		—	うち純固定資産税	39,464,248	36.7		
自動車取得税交付金	12,104	0.0	12,104	0.0	軽自動車税	726,692	0.7		
軽油引取税交付金		—		—	市町村たばこ税	3,961,438	3.7		
自動車税環境性能割交付金	172,279	0.1	172,279	0.1	釐産税	—	—		
法人事業税交付金	1,106,026	0.5	1,106,026	0.9	特別土地保有税	—	—		
地方特例交付金等	751,422	0.3	751,422	0.6	法定外普通税	—	—		
地方特例交付金	747,268	0.3	747,268	0.6	目的税	10,489,099	9.8		
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	4,154	0.0	4,154	0.0	法定目的税	10,489,099	9.8		
地方交付税	8,731,592	3.7	8,205,415	6.3	入湯税	3,288	0.0		
普通交付税	8,205,415	3.5	8,205,415	6.3	事業所税	2,216,806	2.1		
特別交付税	520,396	0.2		—	都市計画税	8,269,005	7.7		
震災復興特別交付税	5,781	0.0		—	水利地益税等	—	—		
（一般財源計）	136,171,786	57.3	127,376,604	97.9	法定外目的税	—	—		
交通安全対策特別交付金	52,313	0.0	52,313	0.0	旧法による税	—	—		
分担金・負担金	1,529,833	0.6		—	合計	107,475,819	100.0	560,309	
使用料	3,036,699	1.3	492,944	0.4					
手数料	1,439,229	0.6		—					
国庫支出金	51,619,601	21.7		—					
国有提供交付金（特別区財調交付金）	203,853	0.1	203,853	0.2					
都道府県支出金	15,394,613	6.5		—					
財産収入	477,091	0.2	325,158	0.2					
寄附金	1,351,097	0.6		—					
繰入金	7,026,043	3.0		—					
繰越金	1,192,448	0.5		—					
諸収入	8,393,463	3.5	1,614,327	1.2					
地方債	9,935,500	4.2		—					
うち減収補填債（特例分）	—	—		—					
うち臨時財政対策債	1,500,000	0.6		—					
歳入合計	237,823,569	100.0	130,065,199	100.0					

（注釈）  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	941,599	0.4	—	941,560	
総務費	21,343,672	9.1	317,775	18,526,728	
民生費	112,867,434	48.3	1,311,426	60,360,874	
衛生費	19,509,651	8.3	219,168	15,433,750	
労働費	167,149	0.1	—	163,129	
農林水産業費	616,956	0.3	41,261	550,318	
商工費	5,549,375	2.4	14,912	2,830,324	
土木費	21,325,446	9.1	8,269,370	13,777,179	
消防費	7,469,774	3.2	1,125,982	6,435,860	
教育費	25,829,471	11.0	3,521,060	18,861,507	
災害復旧費	—	—	—	—	
公債費	18,240,536	7.8	—	18,237,718	
諸支出金	—	—	—	—	
前年度繰上充用金	—	—	—	—	
歳出合計	233,861,063	100.0	14,820,954	156,118,947	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	128,952,405	55.1	77,768,605	70,166,163	53.3
人件費	37,958,768	16.2	33,723,888	33,526,161	25.5
うち職員給	23,654,554	10.1	21,206,990	—	—
扶助費	72,753,101	31.1	25,806,999	18,576,684	14.1
公債費	18,240,536	7.8	18,237,718	18,063,318	13.7
元利償還金	18,240,479	7.8	18,237,661	18,063,261	13.7
うち元金	17,642,244	7.5	17,639,426	17,465,026	13.3
うち利子	598,235	0.3	598,235	598,235	0.5
一時借入金利子	57	0.0	57	57	0.0
その他の経費	90,087,704	38.5	74,697,331	54,531,436	41.4
物件費	36,086,358	15.4	27,925,293	24,952,810	19.0
維持補修費	1,370,259	0.6	1,358,683	1,358,683	1.0
補助費等	20,078,666	8.6	18,733,624	12,806,212	9.7
うち一部事務組合負担金	497,302	0.2	497,302	193,621	0.1
繰出金	20,541,968	8.8	17,585,235	14,302,283	10.9
積立金	6,838,634	2.9	6,703,883	—	—
投資・出資金・貸付金	5,171,819	2.2	2,390,613	1,111,448	0.8
前年度繰上充用金	—	—	—	—	—
投資的経費計	14,820,954	6.3	3,653,011	—	—
うち人件費	1,273,729	0.5	1,273,720	—	—
普通建設事業費	14,820,954	6.3	3,653,011	—	—
うち補助	3,771,770	1.6	161,229	—	—
うち単独	10,935,166	4.7	3,474,283	—	—
災害復旧事業費	—	—	—	—	—
失業対策事業費	—	—	—	—	—
歳出合計	233,861,063	100.0	156,118,947	—	—





(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和5年度

千葉県船橋市

人口	648,331	人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	627,063	人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	85.62	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.7	%
歳入総額	237,823,569	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	233,861,063	千円	市町村類型	R01 中核市 R02 中核市 R03 中核市	
実質収支	1,362,186	千円	(年度毎)	R04 中核市 R05 中核市	
標準財政規模	127,883,129	千円			
地方債現在高	170,880,037	千円			

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

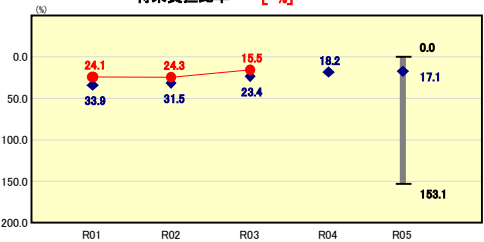
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



将来負担の状況

将来負担比率 [-%]



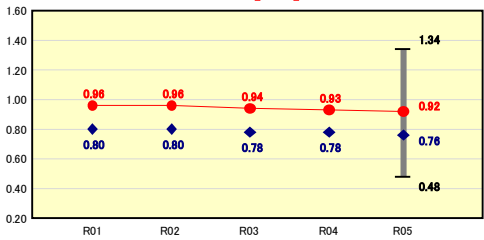
類似団体内順位 1/62  
全国平均 6.3  
千葉県平均 22.1

将来負担比率の分析欄

地方債現在高及び公営企業債等繰入見込額が減少したことにより将来負担額が減少し、新たに設置した医療センター整備基金に積み立てたことにより充当可能基金は増加した。  
令和5年度の数値はマイナスとなったが、今後についても、普通建設事業の精査・優先順位付けを行うなど公債費負担の適正化に努め、堅実な財政運営を行う。

財政力

財政力指数 [0.92]



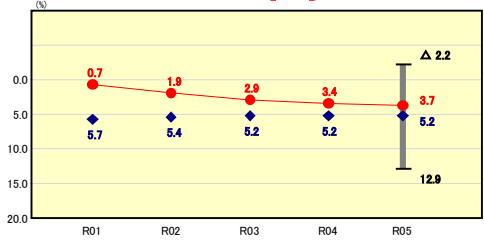
類似団体内順位 9/62  
全国平均 0.48  
千葉県平均 0.68

財政力指数の分析欄

人口や所得の増加等による税収の増や、物価上昇の影響などを受けた地方消費税交付金の増などにより、収入は増えてきているが、高齢者数の増や全体的な物価・労務単価の上昇により、需要も同様に伸びており、財政力指数の改善には至っていない。  
依然として、類似団体平均よりは高い状態にあるが、徐々に数値は低下しており、物価や労務単価の上昇を受けた需要の増と、税収などの収入の推移状況を把握しながら、収入に見合った行財政運営を行っていくよう努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [3.7%]



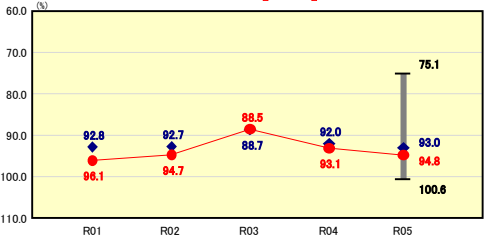
類似団体内順位 22/62  
全国平均 5.6  
千葉県平均 5.8

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は3.7%となっており、類似団体の5.2%を下回っている。今後、これまでに取り組んできた老朽化施設の建替えや改修、小学校の新設、清掃工場の建替え、臨時財政対策債等による市債の発行に加え、今後予定されている児童相談所の新設や学校の建替えなどにより公債費の増加が見込まれるが、令和13年度前後をピークに減少していく予定である。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [94.8%]



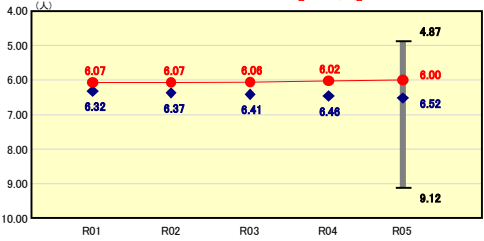
類似団体内順位 41/62  
全国平均 93.1  
千葉県平均 93.5

経常収支比率の分析欄

令和5年度は地方税収等は増加したが、臨時財政対策債発行額が減少したため経常一般財源が減少したこと、また、子ども医療費の制度拡大による対象児童の増により扶助費が増加したことなどから、令和4年度と比較して1.7ポイント高い94.8%となった。

定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [6.00人]



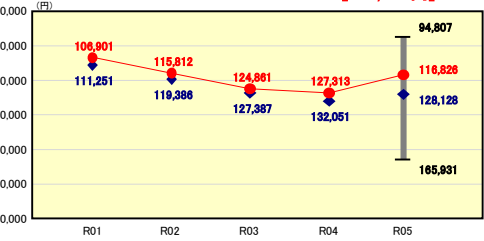
類似団体内順位 18/62  
全国平均 8.32  
千葉県平均 7.48

人口1,000人当たり職員数の分析欄

増加する行政需要に対して安易に職員数を増やすのではなく、既存の業務執行体制の見直しや民間委託の推進など、効率化を図ることで新たな行政需要に対応するための人員を生み出し、令和5年度の人口1,000人あたりの職員数は、6.0人と令和4年度より低下し、類似団体の平均6.52人を下回る状況となっている。  
なお、令和8年度には児童相談所を開設する予定であり、開設に向けて必要な人員については、今後、計画的に確保していく必要があることから、引き続き、本市の実情に応じた適正な定員管理に努めていく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [116,826円]



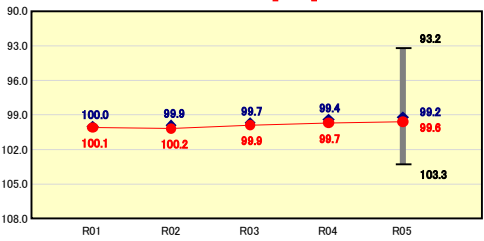
類似団体内順位 14/62  
全国平均 158,103  
千葉県平均 140,987

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

令和4年度と比較して、物件費は新型コロナウイルス感染症対策費や新型コロナウイルス感染症予防接種費等の減により約71億円減少したため、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は10,487円減少した。人件費及び物件費は類似団体と比較しても高く、本市の経常収支比率を悪化させる要因の一つになっているが、住民基本台帳人口が類似団体内1番目となっているため、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は類似団体の平均より低くなっている。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [99.6]



類似団体内順位 34/62  
全国市平均 98.6  
全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄

船橋市の一般行政職に適用する給料表は、平成26年度に市独自の給料表の継足し部分(国家公務員の俸給表の最高号給を超える部分)を廃止したことにより、国家公務員の俸給表と全く同じ構造となっている。

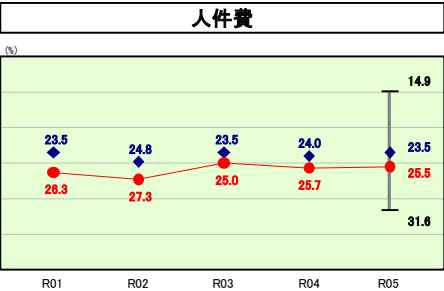


(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

人口	648,331人	(R6.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	627,063人	(R6.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	85.62km <sup>2</sup>		実収公債費比率	3.7	%
歳入総額	237,823,569千円		将来負担比率	-	%
歳出総額	233,861,063千円		市町村類型	R01 中核市 R02 中核市 R03 中核市	
実収収支	1,362,186千円		(年度毎)	R04 中核市 R05 中核市	
標準財政規模	127,883,129千円				
地方債現在高	170,880,037千円				

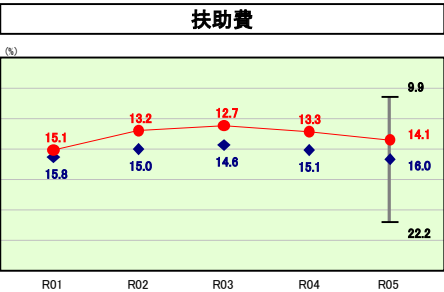
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



人件費の分析欄

人口1人当たり人件費決算額及び人口千人当たり職員数は類似団体に比べ低いものの、人件費の構成比が類似団体に比べ高い理由は、国の定める地域手当の支給率が12%と類似団体と比べて高い地域であること等が挙げられる。

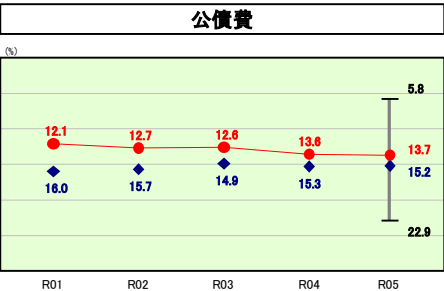
給料表の継足し部分の廃止等、市独自の制度について給与の適正化を図った後、人件費の経常収支比率は横ばい傾向にあるが、今後も引き続き人事院勧告に準拠し給与の適正化に努めていく。



扶助費の分析欄

子ども医療費の制度拡大による対象児童の増などに伴い令和4年度と比較して0.8ポイント上昇した。

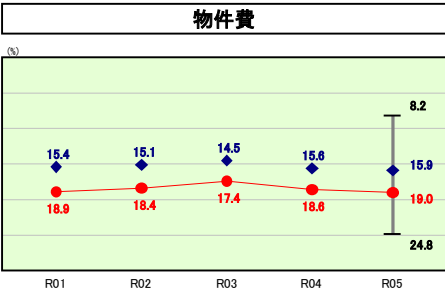
扶助費の性質上、今後も増加傾向であると思われるため、各種手当の見直しなどにより、適正化に努めていきたい。



公債費の分析欄

防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債を活用した南部清掃工場の建替工事及び学校に係る外壁改修、トイレ改修工事等の元金の償還開始により、令和4年度と比較して0.1ポイント上昇した。

普通建設事業の精査・優先順位付けを行うなど、公債費負担の適正化に努めていきたい。

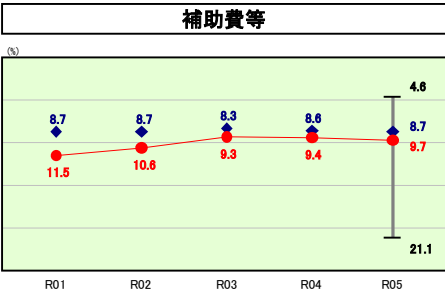


物件費の分析欄

類似団体と比較して3.1ポイント上回っており、本市の経常収支比率を悪化させる要因となっている。

扶助費や公債費とは異なり、事務事業の見直し等により一定程度の経費削減は可能であると考えられる。

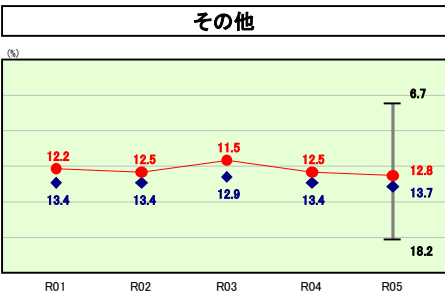
なお、全国平均と千葉県平均も3.2ポイント差があることから、地域的な要因も考えられる。



補助費等の分析欄

保育所運営費補助金などが増加したことなどによって、令和4年度と比較して0.3ポイント上昇した。

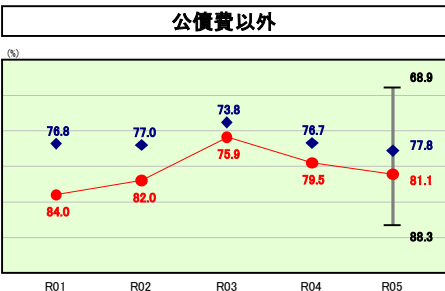
依然として類似団体平均を上回っている状況であり適正化に努めていく必要がある。



その他の分析欄

主に繰出金、維持補修費であり、介護保険事業特別会計繰出金、後期高齢者医療療養給付費負担金が増加したため、令和4年度と比較して0.3ポイント上昇した。

税収を主な財源とする普通会計の負担を減らしていくため、より一層適正化に努めていく。



公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率は人件費、物件費及び補助費等の影響により、類似団体平均より3.3ポイントも上回っている。

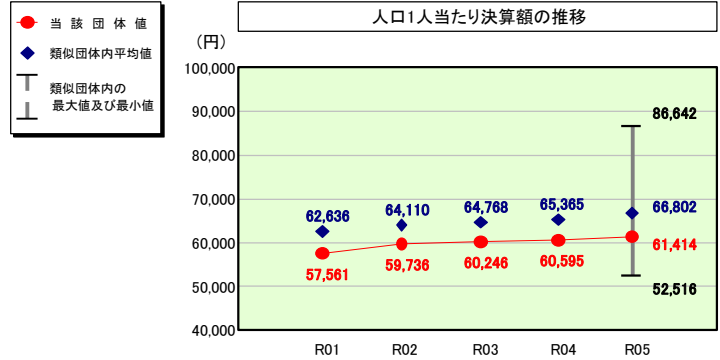
公債費では類似団体の平均を下回っているため、本市の経常収支比率に悪影響を与えている人件費、物件費及び補助費等の経常一般財源の抑制に努め、経常収支比率の改善を図る。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

千葉県船橋市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

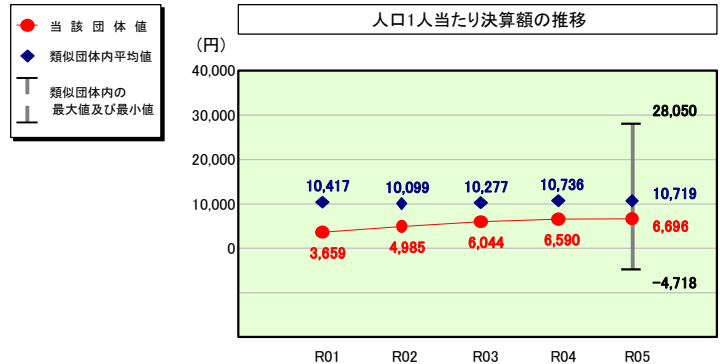
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	37,958,768	58,548	62,936	▲7.0
一部事務組合負担金(補助費等)	65,065	100	1,734	▲94.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	128,222	198	694	▲71.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	24	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	1,338,353	2,064	1,996	3.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,273,729	1,965	1,351	45.4
▲退職金	▲947,515	▲1,461	▲1,933	▲24.4
合計	39,816,622	61,414	66,802	▲8.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.00	6.52	▲0.52
ラスパイレズ指数	99.6	99.2	0.4

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

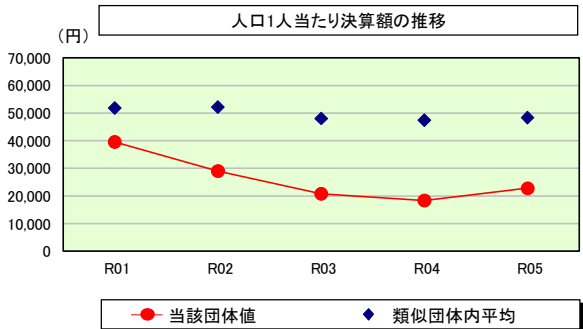
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	17,943,391	27,676	37,417	▲26.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	46	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	4,765,217	7,350	8,245	▲10.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	265,347	409	440	▲7.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	18,877	29	558	▲94.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲4,882,465	▲7,531	▲7,933	▲5.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲13,769,259	▲21,238	▲28,055	▲24.3
合計	4,341,108	6,696	10,719	▲37.5

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R01	25,468,091	39,612	▲ 7.7	51,849	11.6	▲ 19.3
うち単独分	11,405,013	17,739	▲ 10.9	26,326	9.6	▲ 20.5
R02	18,708,736	29,007	▲ 26.8	52,191	0.7	▲ 27.5
うち単独分	10,465,800	16,227	▲ 8.5	26,807	1.8	▲ 10.3
R03	13,438,755	20,812	▲ 28.3	48,105	▲ 7.8	▲ 20.5
うち単独分	7,080,683	10,966	▲ 32.4	24,072	▲ 10.2	▲ 22.2
R04	11,876,507	18,355	▲ 11.8	47,446	▲ 1.4	▲ 10.4
うち単独分	7,883,840	12,185	11.1	24,371	1.2	9.9
R05	14,820,954	22,860	24.5	48,387	2.0	22.5
うち単独分	10,935,166	16,867	38.4	25,592	5.0	33.4
過去5年間平均	16,862,609	26,129	▲ 10.0	49,596	1.0	▲ 11.0
うち単独分	9,554,100	14,797	▲ 0.5	25,434	1.5	▲ 2.0

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

千葉県船橋市

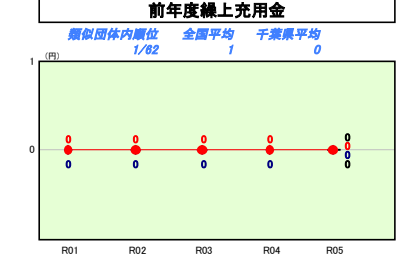
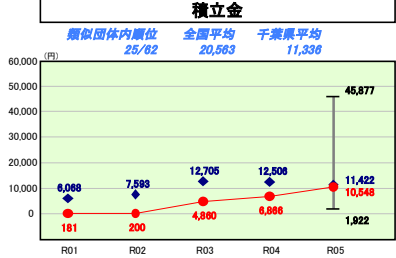
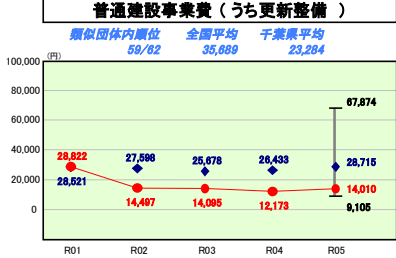
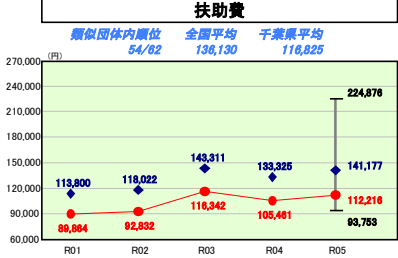
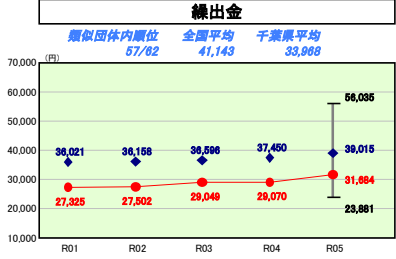
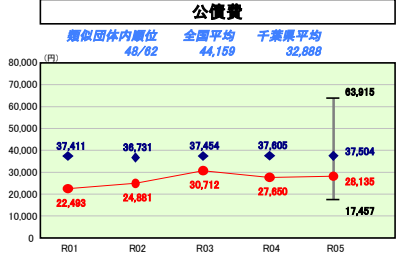
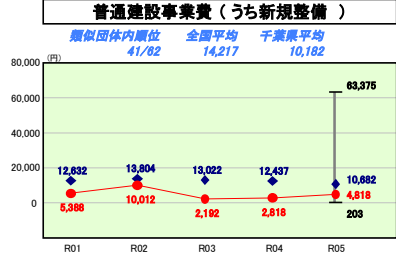
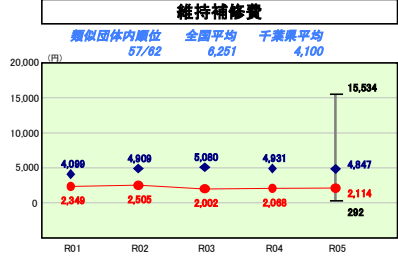
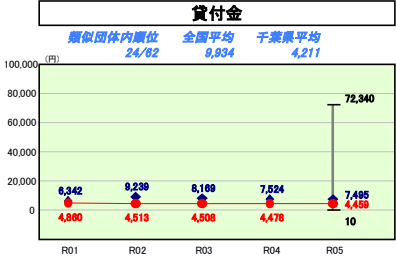
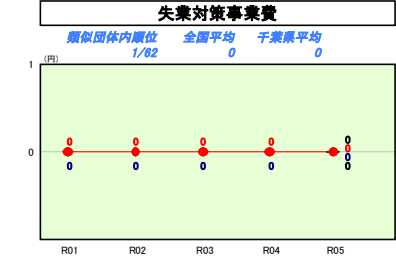
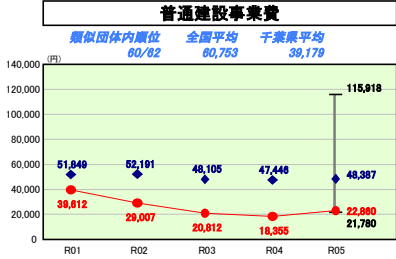
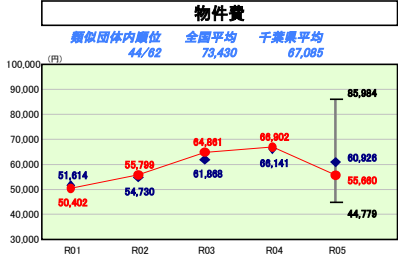
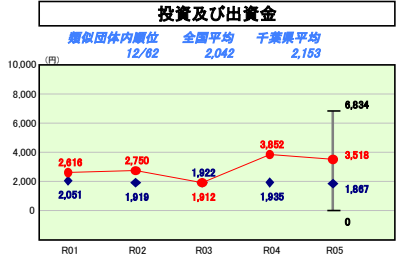
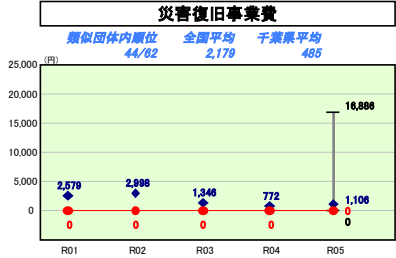
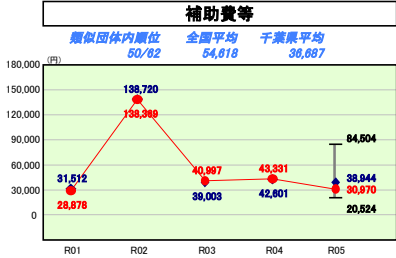
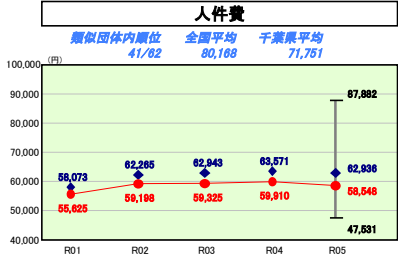
人	648,331	人(6.1.1現在)	実	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	627,083	人(6.1.1現在)	通	通	船	実	実	赤	字	比
面	86.62	km <sup>2</sup>	費	費	公	費	費	比	率	3.7
数	237,823,569	千円	得	得	未	負	担	比	率	-
出	233,861,063	千円	市	市	町	村	類	型	R01	中核市
実	1,382,186	千円	(	(	年	度	毎	)	R04	中核市
算	127,883,129	千円							R02	中核市
庫									R05	中核市
準										
財										
政										
規										
模										
地	170,880,037	千円								
方										
償										
現										
在										
高										



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

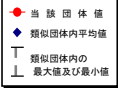
多くの項目で住民1人当たりの決算額が類似団体を下回っているのは、類似団体中人口が最多であることが要因であると考えられる。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

千葉県船橋市

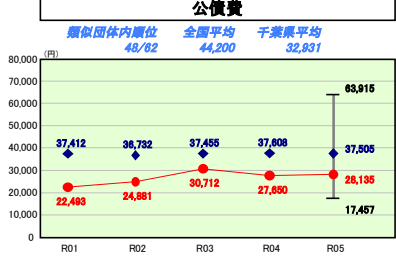
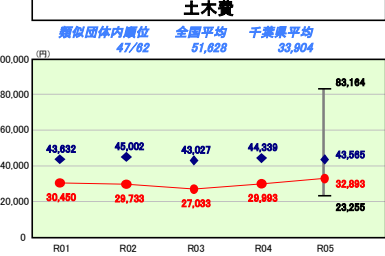
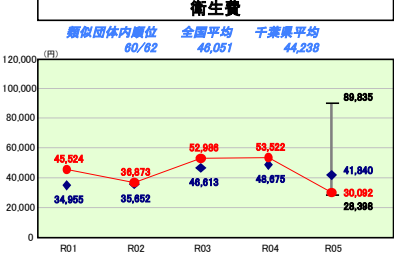
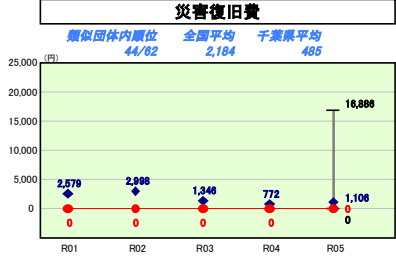
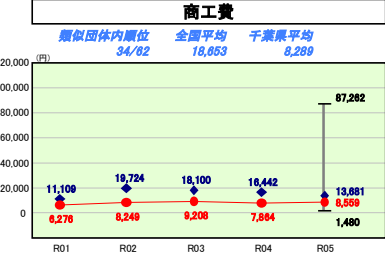
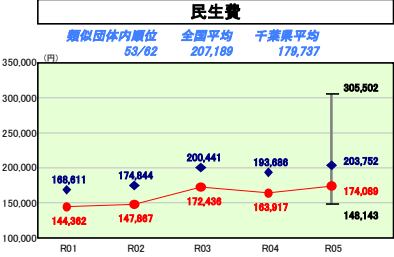
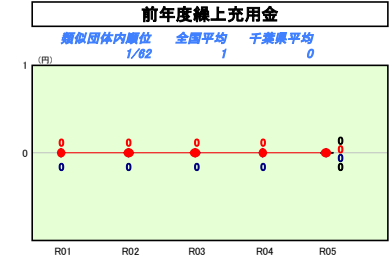
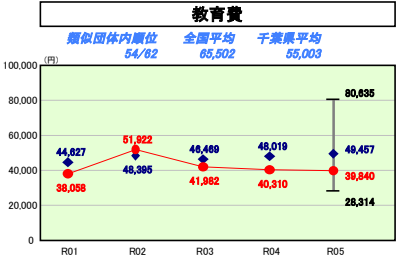
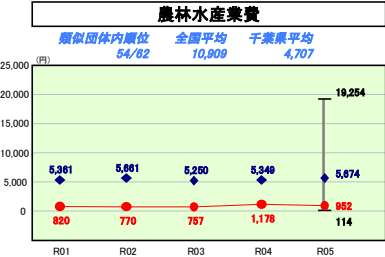
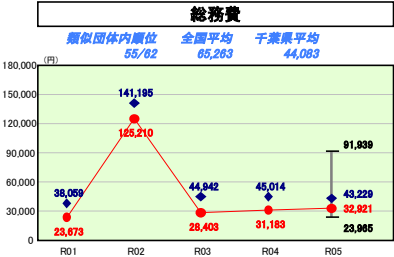
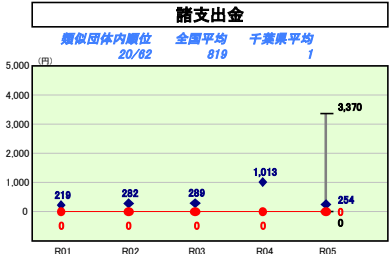
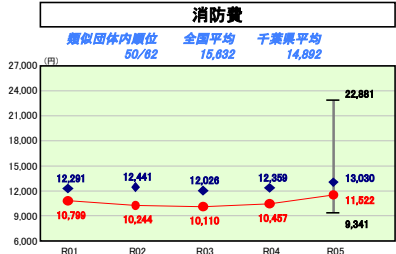
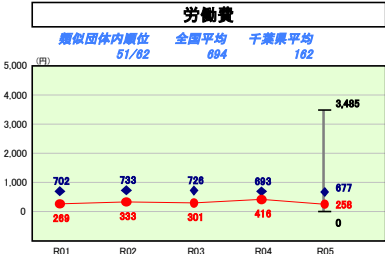
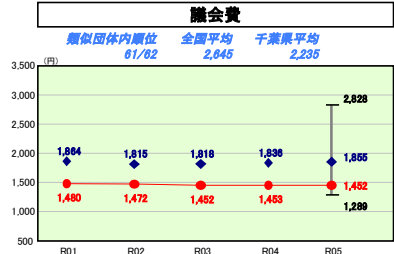
人	648,331人(国6.1.1現在)	実	実	比	率	-	%
うち日本人	627,083人(国6.1.1現在)	通	通	赤	字	比	率
面	86.62km <sup>2</sup>	費	費	公	費	比	率
入	237,823,560千円	得	得	未	負	担	率
出	233,861,063千円	市	市	町	村	類	型
支	1,382,186千円	(	(	年	度	毎	)
繰	127,883,129千円	R01	R02	R03	R04	R05	
地方債現在高	170,880,037千円	中	中	中	中	中	
		核	核	核	核	核	



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

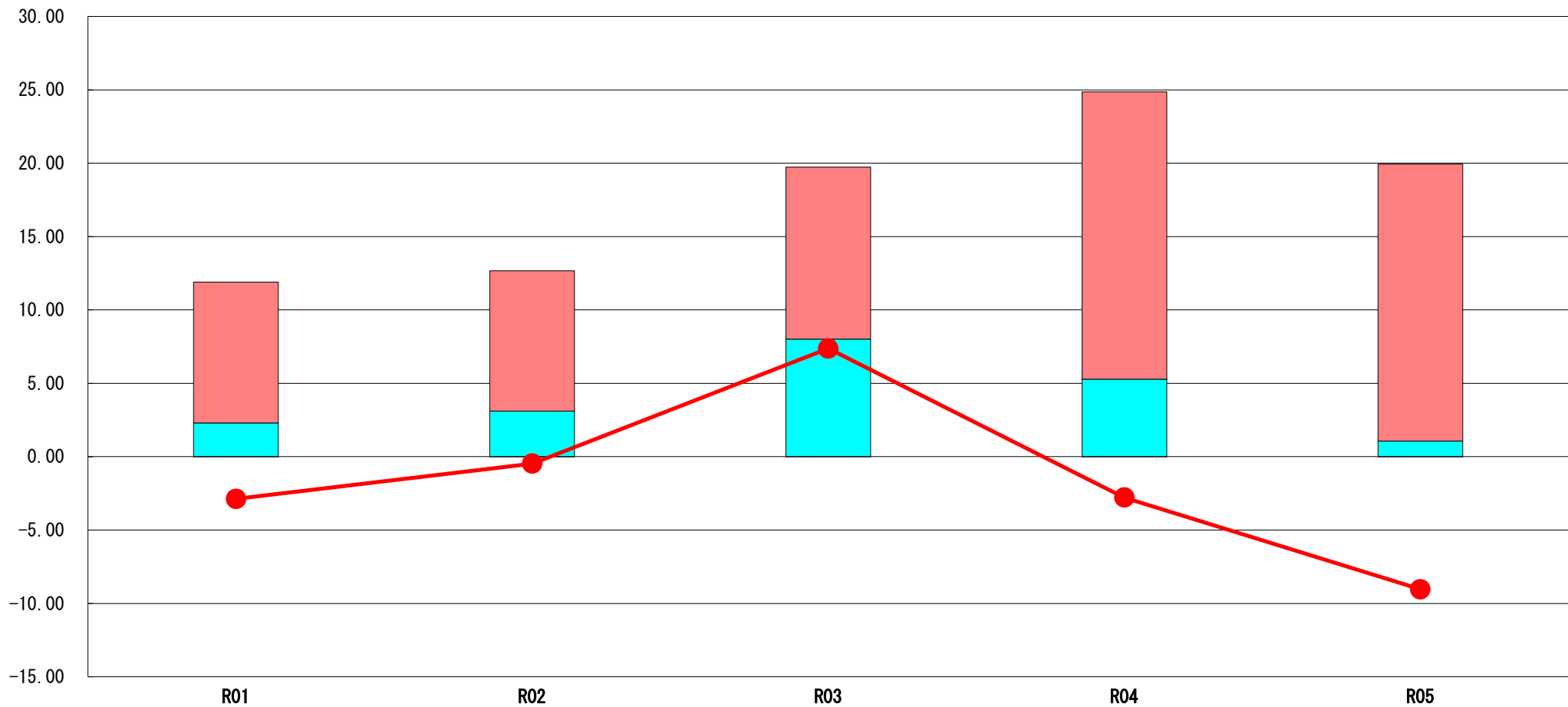
多くの項目で住民1人当たりの決算額が類似団体を下回っているのは、類似団体中人口が最多であることが要因であると考えられる。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

千葉県船橋市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）		年度				
区分		R01	R02	R03	R04	R05
<div></div> 財政調整基金残高		9.59	9.57	11.72	19.57	18.86
<div></div> 実質収支額		2.30	3.10	8.01	5.28	1.07
<div></div> 実質単年度収支		▲ 2.88	▲ 0.48	7.37	▲ 2.79	▲ 9.04

**分析欄**

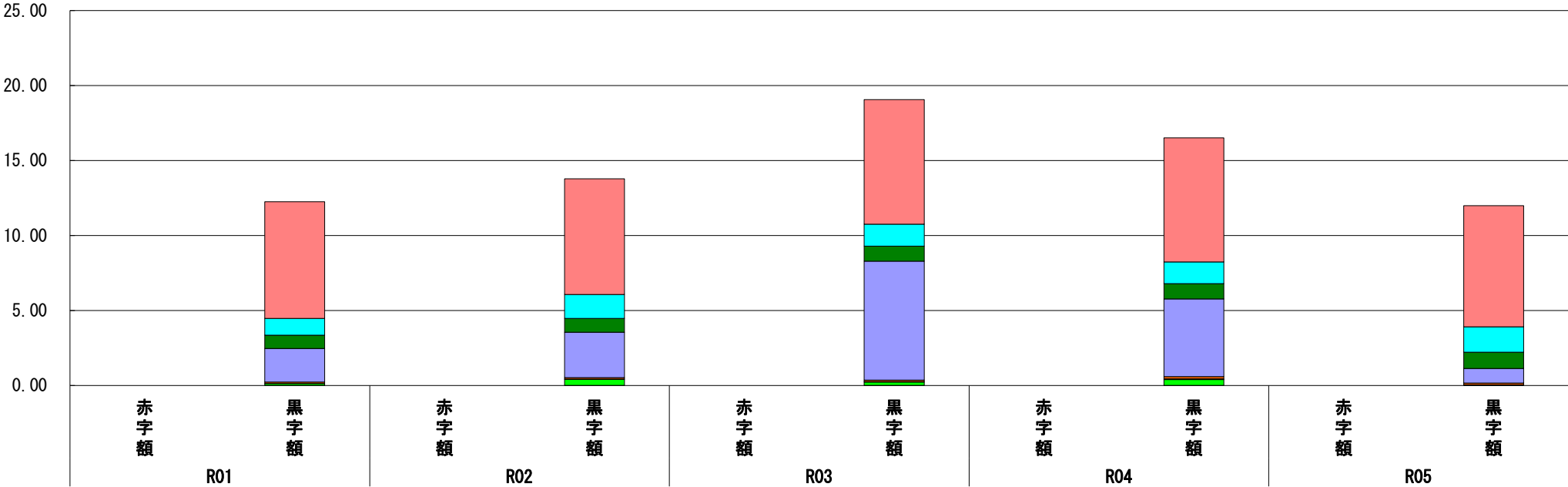
令和4年度の実質収支額が大きかったことから、今年度の単年度収支が赤字となっている。また、財源調整基金から65億円を取り崩したことから、実質単年度収支が大きなマイナスとなっているが、全基金残高は前年度より増加しており、安定した財政運営ができています。公共施設等の大規模修繕等、今後予想される財政需要に備え、堅実な財政運営に努めたい。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和5年度

千葉県船橋市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		R01	R02	R03	R04	R05
会計						
病院事業会計		7.76	7.73	8.31	8.28	8.09
下水道事業会計		1.13	1.58	1.48	1.45	1.69
地方卸売市場事業会計		0.88	0.93	0.99	1.01	1.09
一般会計		2.25	3.03	7.93	5.18	0.96
国民健康保険事業特別会計		0.09	0.10	0.11	0.15	0.12
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		0.01	0.02	0.02	0.04	0.04
後期高齢者医療事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
介護保険事業特別会計		0.12	0.40	0.23	0.39	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

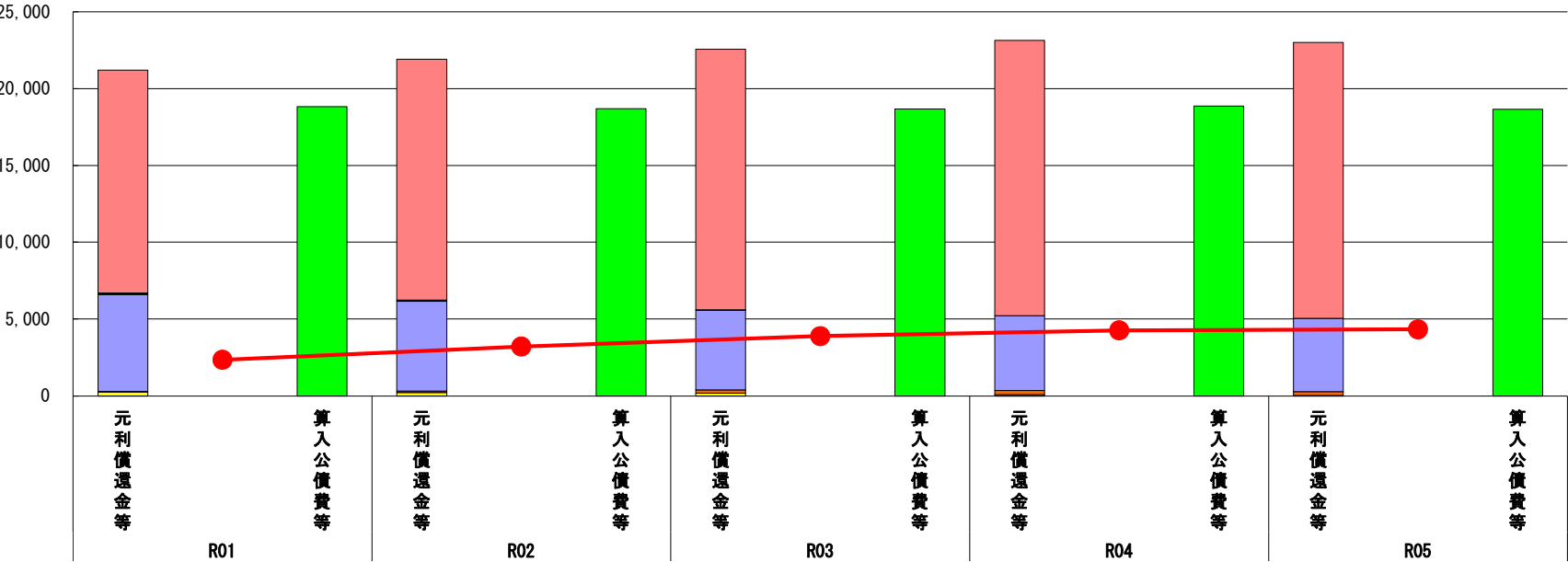
一般会計について、実質収支が減少したことにより、前年度より4.22ポイント減少したが、全基金残高は前年度より増加しており、安定した財政運営ができています。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県船橋市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		14,499	15,661	16,956	17,919	17,943
	減債基金積立不足算定額※2		45	39	28	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		50	33	17	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		6,294	5,846	5,169	4,846	4,765
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		49	115	194	268	265
	債務負担行為に基づく支出額		250	208	196	97	19
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		18,833	18,688	18,657	18,867	18,651
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,354	3,214	3,903	4,263	4,341

**分析欄**

実質公債費比率は3.7%となっており、類似団体の5.2%を下回っている。令和2年度をピークに市債残高は減少する見込みだが、近年発行した市債の償還が発生しているため、実質公債費比率は横ばいから微増で推移する見込みである。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

(参考)		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		64	83	83	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		46	61	44	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		150	117	67	-	-

**分析欄**

満期一括型市場公募債の発行は、平成28年度を最後に行っておらず、令和3年度ですべて償還完了となり、残高はなくなっている。

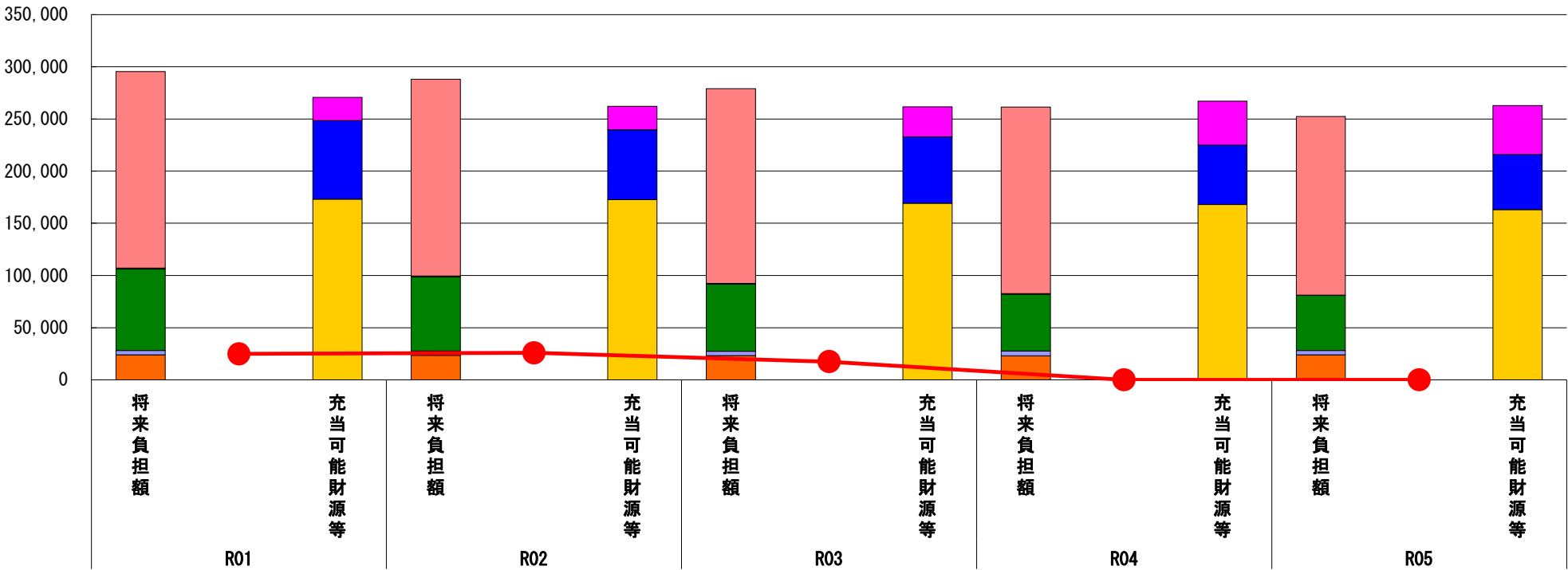
(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。  
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県船橋市

(百万円)



(百万円)

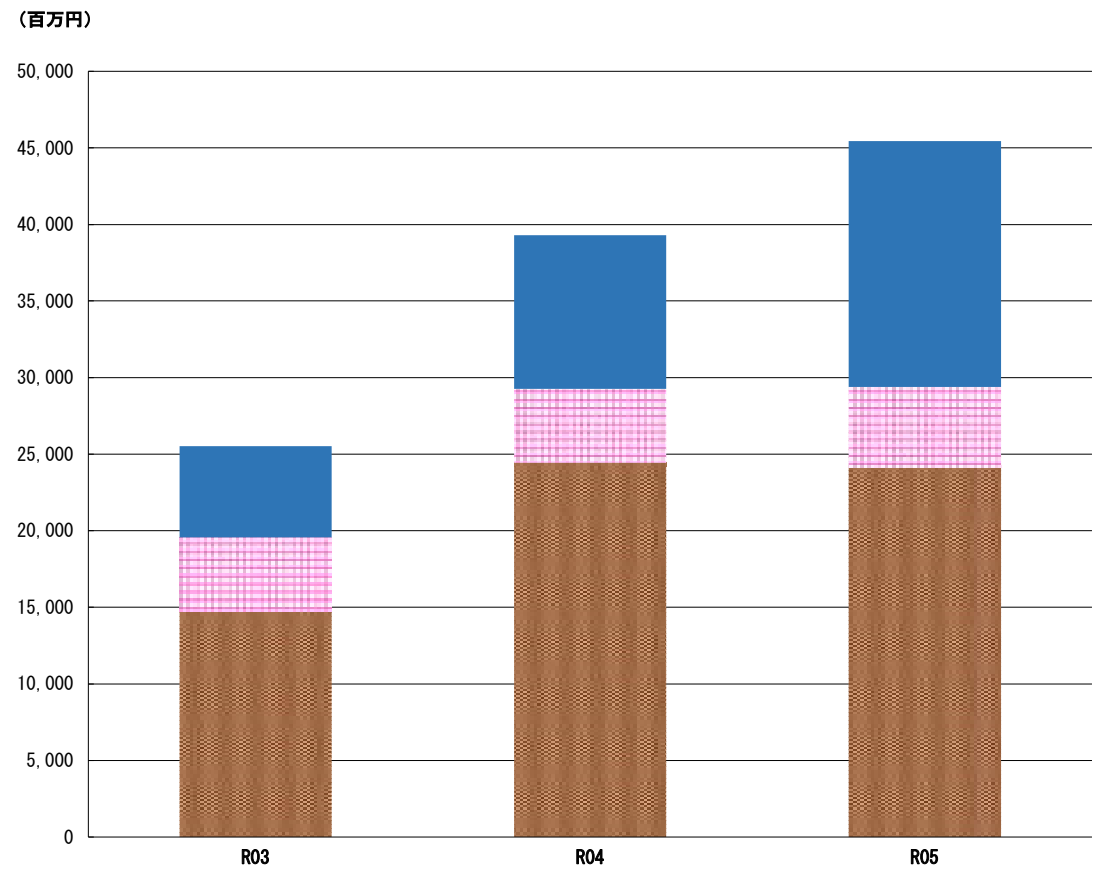
分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		188,424	188,584	186,621	179,000	171,380
	債務負担行為に基づく支出予定額		909	1,044	762	531	260
	公営企業債等繰入見込額		78,151	70,930	64,361	54,519	52,647
	組合等負担等見込額		4,164	4,061	4,104	4,558	4,305
	退職手当負担見込額		23,832	23,471	23,273	22,946	23,833
	設立法人等の負債額等負担見込額		35	39	30	31	52
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		22,285	22,609	28,828	41,995	46,813
	充当可能特定歳入		75,126	66,937	63,661	57,160	52,835
	基準財政需要額算入見込額		173,243	172,709	169,201	167,984	163,242
(A) - (B)	将来負担比率の分子		24,863	25,876	17,460	▲ 5,555	▲ 10,414




分析欄

市債の元金償還が進み、地方債現在高及び公営企業債等繰入見込額が減少したことにより将来負担額が減少し、新たに設置した医療センター整備基金に積み立てたことにより充当可能基金は増加した。令和5年度の数値はマイナスとなったが、今後についても、普通建設事業の精査・優先順位付けを行うなど公債費負担の適正化に努め、堅実な財政運営を行う。



(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	R03	R04	R05
 財政調整基金		14,754	24,442	24,113
 減債基金		4,818	4,818	5,284
 その他特定目的基金	公共施設保全等基金	3,000	7,029	7,137
	医療センター整備基金	-	-	5,400
	職員退職手当基金	1,590	1,306	2,023
	公園緑地整備基金	733	795	638
	文化振興基金	163	423	416
	基金残高合計	25,528	39,307	45,448

令和5年度	千葉県船橋市
<div>基金全体</div> <div>(増減理由) 財源調整基金については令和4年度の歳計剰余金積立額を取崩額が上回ったため微減したものの、医療センターの建て替えに必要な経費に掛かる負担金に充てるため新たな特定目的基金として医療センター整備基金を設け、当該基金に54億円を積立てたこと、また定年延長にかかる退職手当の負担平準化のため、退職手当基金に約7.1億円を積立てたこと等により基金全体では約61億円の増となった。</div> <div>(今後の方針) 今後も必要に応じて積立てや取崩しを行っていく予定。</div>	
<div>財政調整基金</div> <div>(増減理由) 令和4年度決算剰余金により約61億円を積立てた一方、当初予算では31億円としていた繰入金について、補正予算を編成した結果、65億円を取り崩したため微減となった。</div> <div>(今後の方針) 将来の財源不足に備え、適切に積立てと取崩しを行っていく。</div>	
<div>減債基金</div> <div>(増減理由) 普通交付税の追加交付分のうち、臨時財政対策債償還基金費算定額を積立てたことにより約4.6億円の増となった。</div> <div>(今後の方針) 新規起債の抑制などにより、将来の公債費増に備える。</div>	
<div>其他特定目的基金</div> <div>(基金の使途)<ul style="list-style-type: none"><li>公共施設保全等基金 公共施設の計画的な保全及び更新</li><li>医療センター整備基金 医療センターの建て替えに必要な経費に掛かる負担金</li><li>職員退職手当基金 職員の退職手当</li><li>公園緑地整備基金 公園の整備、緑の保全、緑化の推進</li><li>文化振興基金 市内の小学校、中学校、特別支援学校、市立高校にアーティスト等を派遣し、次代の文化の担い手となる子供たちに音楽や演劇等の鑑賞・体験機会を提供</li></ul><div><div><div>福祉基金</div><div>森林環境譲与税基金</div><div>一般廃棄物処理施設等整備基金</div></div><div><div>運用収入を用いて地域福祉の増進に資するための活動の推進</div><div>森林の整備、森林の整備を担うべき人材の育成、木材の利用促進等</div><div>一般廃棄物の処理施設等の整備</div></div></div><div>(増減理由) 医療センター整備基金</div><div>(今後の方針) 公共施設保全等基金 医療センター整備基金 職員退職手当基金</div><div>公共施設の計画的な保全及び更新に必要な経費に充てる。 医療センターの建て替えに伴う建設改良費及び企業債の元利償還金に係る負担金に充てる。 定年延長に係る年度間の退職手当の増減を調整するためのものとし、定年に係る退職手当のみを対象として取崩し・積立を行うこととする。</div><div>公園緑地整備基金 福祉基金 森林環境譲与税基金</div><div>おおむね現在の基金規模を維持していく。 寄付者の意向に沿う形で、次代の文化の担い手となる子供たちに音楽や演劇等の鑑賞・体験機会を提供していく。 積立取崩しの予定はなく、今後も運用収入を用いて地域福祉の増進を目的とした活動を行う。 充当事業に優先順位を設け、森林の整備、森林の整備を担うべき人材の育成、木材の利用促進等のため取り崩す。</div></div>	

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

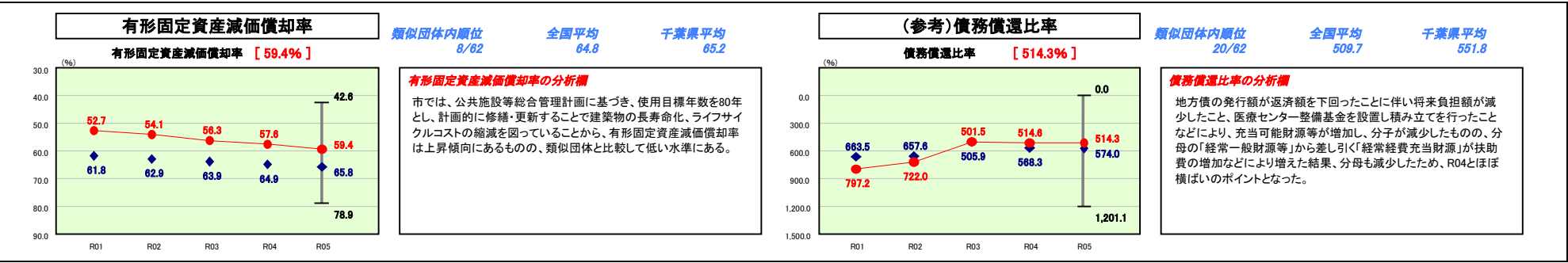
令和5年度

千葉県船橋市

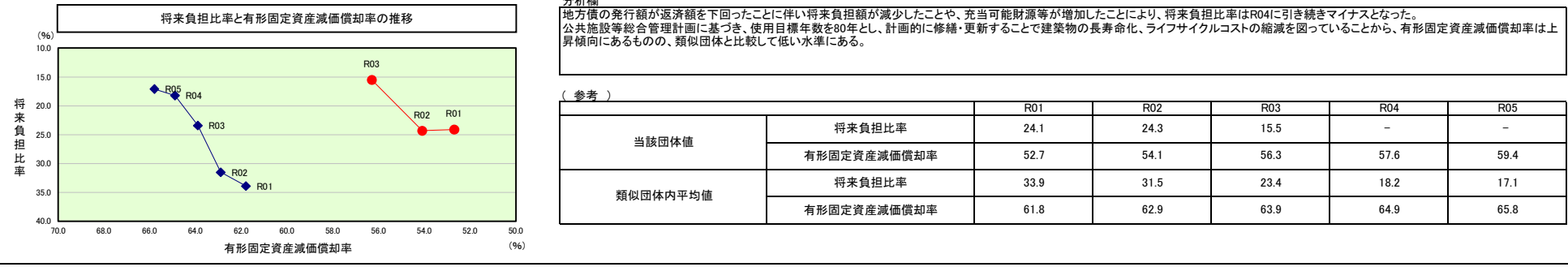
人口	648,331	人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	627,063	人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	85.62	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.7	%
歳入総額	237,823,569	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	233,861,063	千円	市町村類型	R01 中核市 R02 中核市 R03 中核市	
実質収支	1,362,186	千円	(年度毎)	R04 中核市 R05 中核市	
標準財政規模	127,883,129	千円			
地方債現在高	170,880,037	千円			



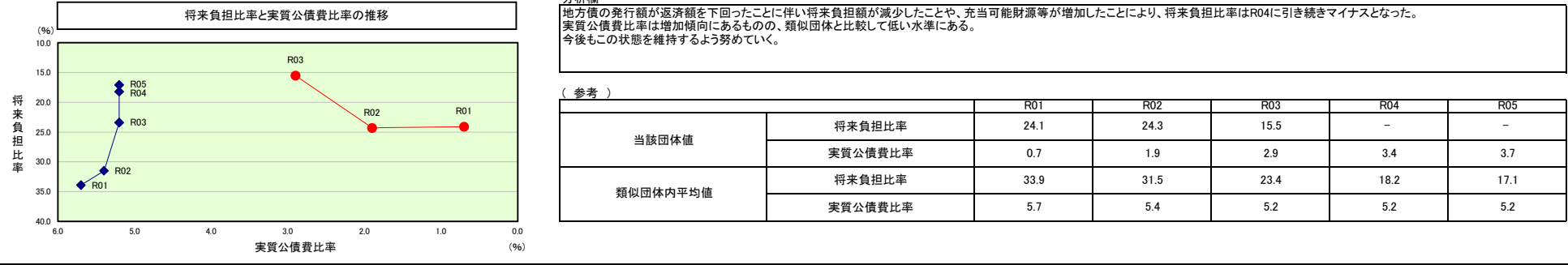
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

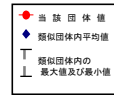


(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

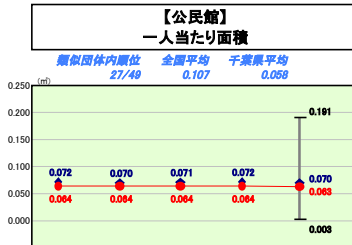
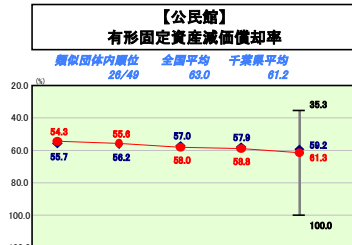
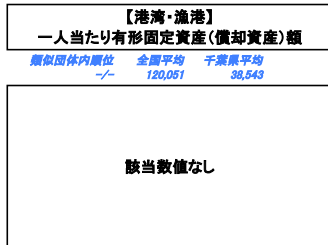
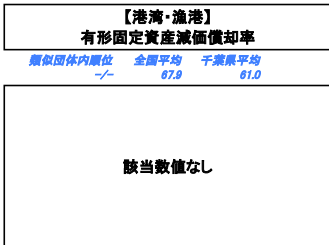
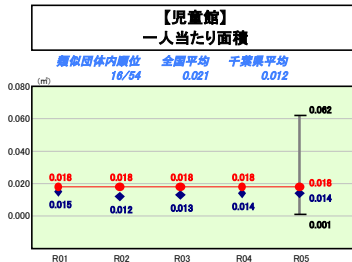
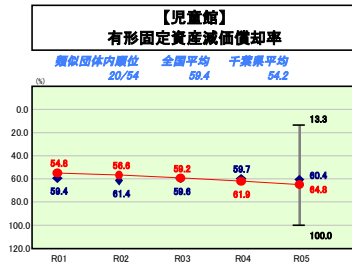
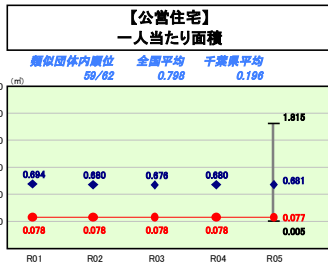
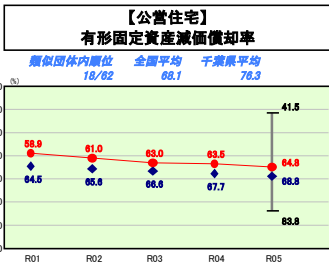
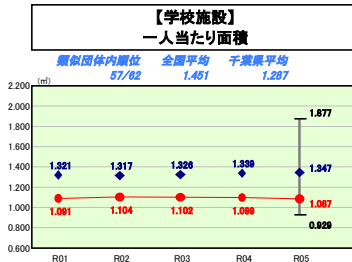
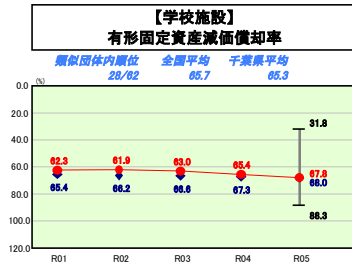
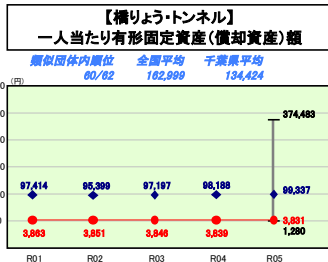
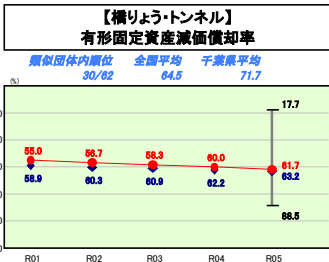
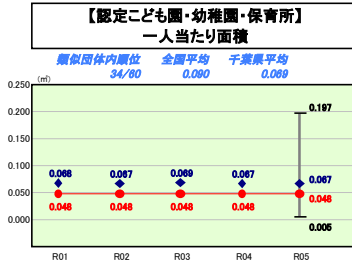
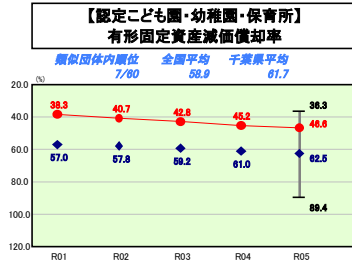
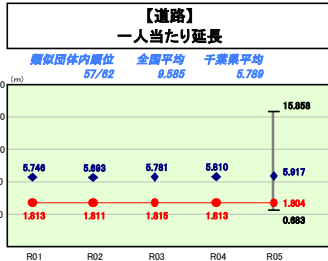
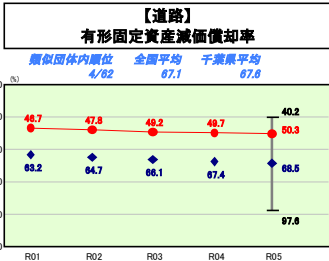
令和5年度

千葉県船橋市

人口	649,331人(国.1.1調査)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	627,043人(国.1.1調査)	通算実質赤字比率	-	%
面積	85.62km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.7	%
歳入総額	237,823,569千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	233,861,063千円	市町村施設類型	R01 中核市 R02 中核市 R03 中核市	
実収支	1,362,186千円	(年度毎)	R04 中核市 R05 中核市	
標準財政規模	127,883,129千円			
地方債現在高	170,880,037千円			



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析欄

多くの項目で住民1人当たりの指標が類似団体を下回っているのは、類似団体中人口が最多であること、土木施設にあっては首都圏に位置しているため市域が狭いこと要因であると考えられる。  
有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準にあり、特に認定こども園・幼稚園・保育所が低くなっている。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和5年度

千葉県船橋市

人口	649,331	人(06.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	627,063	人(06.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	85.62	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.7	%
歳入総額	237,823,569	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	233,861,063	千円	市町村施設	R01 中核市 R02 中核市 R03 中核市	
実質収支	1,362,186	千円	(年度毎)	R04 中核市 R05 中核市	
標準財政規模	127,883,129	千円			
地方債現在高	170,880,037	千円			



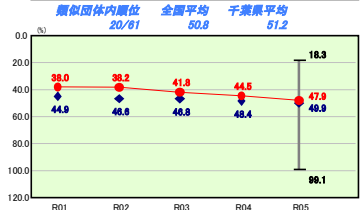
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

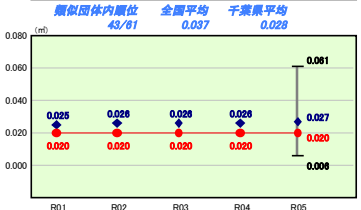
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

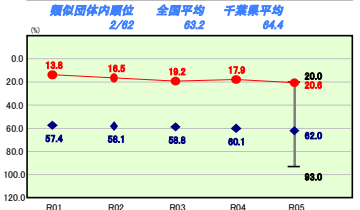
【図書館】  
有形固定資産減価償却率



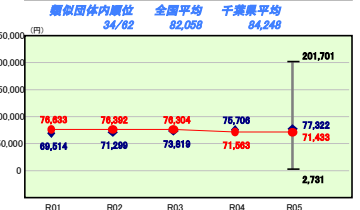
【図書館】  
一人当たり面積



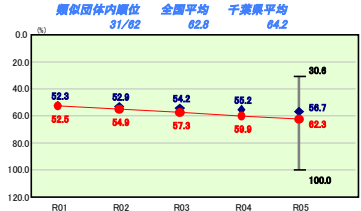
【一般廃棄物処理施設】  
有形固定資産減価償却率



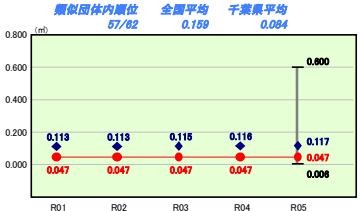
【一般廃棄物処理施設】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



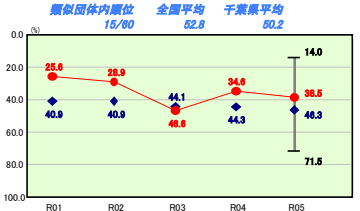
【体育館・プール】  
有形固定資産減価償却率



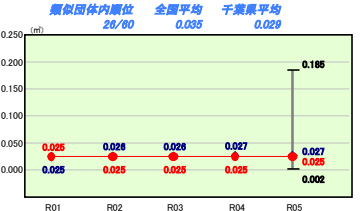
【体育館・プール】  
一人当たり面積



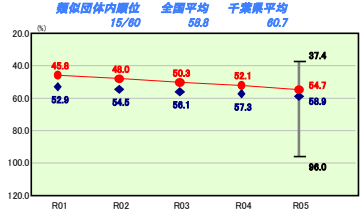
【保健センター・保健所】  
有形固定資産減価償却率



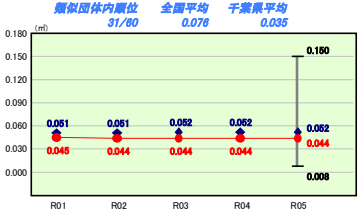
【保健センター・保健所】  
一人当たり面積



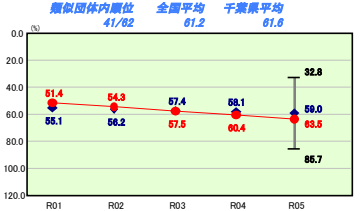
【福祉施設】  
有形固定資産減価償却率



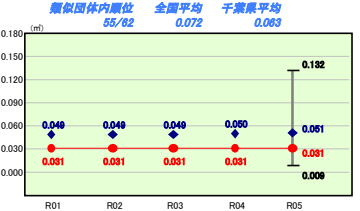
【福祉施設】  
一人当たり面積



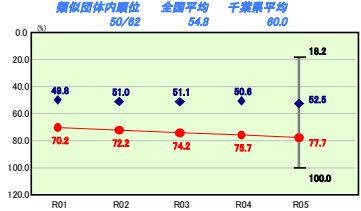
【消防施設】  
有形固定資産減価償却率



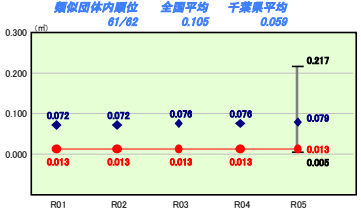
【消防施設】  
一人当たり面積



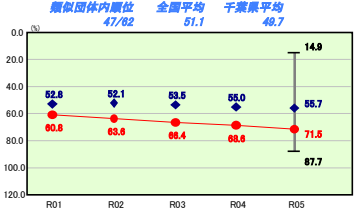
【市民会館】  
有形固定資産減価償却率



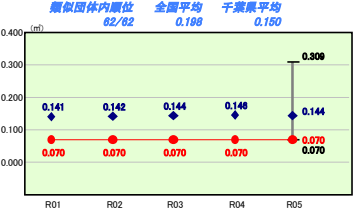
【市民会館】  
一人当たり面積



【庁舎】  
有形固定資産減価償却率



【庁舎】  
一人当たり面積



施設情報の分析欄

多くの項目で住民1人当たりの指標が類似団体を下回っているのは、首都圏に位置しているため市域が狭いこと、類似団体中人口が最多であることが要因であると考えられる。  
類似団体と比較して消防施設、市民会館及び庁舎、体育館・プールは有形固定資産減価償却率が高くなっているが、その他の施設は同水準から低い水準にある。  
特に低くなっている施設は、一般廃棄物処理施設である。令和元年度に南部清掃工場の建替えを行ったため、有形固定資産減価償却率が低くなっている。

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅰ－3		指定団体等の指定状況		区分	令和5年度(千円)	令和4年度(千円)	区分	令和5年度(千円・%)	令和4年度(千円・%)
市町村名		館山市		地方交付税種地	1-2		財政健全化等	×	歳入総額	26,942,384	23,584,305	実質収支比率	6.5	6.4
							財源超過	×	歳出総額	26,097,697	22,721,033	経常収支比率	94.7	94.9
							首都	×	歳入歳出差引	844,687	863,272	(※1)	( 95.4 )	( 96.5 )
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	95,625	127,259	標準財政規模	11,588,381	11,509,725
								×	実質収支	749,062	736,013	財政力指数	0.55	0.55
人口		令和2年国調(人)	45,153	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	13,049	-252,989	公債費負担比率	10.7	12.1	
		平成27年国調(人)	47,464			過疎	×	積立金	142	29	健全化判断比率			
		増減率(%)	-4.9			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-	
住民基本台帳人口(※7)		令和06.01.01(人)	44,160	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	1,000,000	0	連結実質赤字比率	-	-
		うち日本人(人)	43,572			1,400	1,682	指数表選定	○	実質単年度収支	-986,809	-252,960	実質公債費比率	6.8
		令和05.01.01(人)	44,677	第1次		7.2	7.8					将来負担比率	51.1	21.2
		うち日本人(人)	44,156			2,579	2,998							
		増減率(%)	-1.2	第2次		13.3	13.9							
		うち日本人(%)	-1.3			15,365	16,843							
面積(km <sup>2</sup> )		110.05		第3次	79.4		78.3							
人口密度(人/km <sup>2</sup> )		410												
世帯数(世帯)		20,272												
職員の状況(※8)														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	21,451,373	18,925,921	資金不足比率(※4)		
	市区町村長	1	7,362		一般職員	365	1,134,420	3,108	うちの公的資金	16,444,219	14,705,801			
	副市区町村長	1	6,255		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	14,111,948	10,908,840			
	教育長	1	5,787		うち技能労務職員	22	72,754	3,307	債務負担行為額(支出予定額)	7,816,383	11,148,364			
	議会議長	1	4,050		教育公務員	31	98,441	3,176	収益事業収入	-	-			
	議会副議長	1	3,660		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	100,759	100,755			
	議会議員	16	3,420		合計	396	1,232,861	3,113	積立金現在高	2,190,030	2,820,888			
									減債基金	252,088	197,004			
									その他特定目的基金	3,085,369	3,438,455			
一般会計等の一覧														
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧	項番	地方公社・第三セクター等一覧	項番
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計			(5) 下水道事業会計					(6) 千葉県市町村総合事務組合/一般会計				
		(3) 介護保険特別会計								(7) 千葉県市町村総合事務組合/千葉県自治会館管理運営特別会計				
		(4) 後期高齢者医療特別会計								(8) 千葉県市町村総合事務組合/千葉県自治研修センター特別会計				
										(9) 千葉県市町村総合事務組合/千葉県市町村交通安全共済特別会計				
										(10) 千葉県後期高齢者医療広域連合/一般会計				
										(11) 千葉県後期高齢者医療広域連合/特別会計				
										(12) 南房総広域水道企業団/水道用水供給事業会計				
										(13) 安房郡市広域市町村圏事務組合/一般会計				
										(14) 三芳水道企業団/水道事業会計				

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※8：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	6,107,227	22.7	5,594,408	47.8	普通税	5,561,246	91.1	33,467	
地方譲与税	128,452	0.5	128,452	1.1	法定普通税	5,561,246	91.1	33,467	
利子割交付金	2,513	0.0	2,513	0.0	市町村民税	2,420,410	39.6	33,467	
配当割交付金	35,719	0.1	35,719	0.3	個人均等割	85,287	1.4		
株式等譲渡所得割交付金	42,894	0.2	42,894	0.4	所得割	2,034,715	33.3		
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	142,041	2.3		
地方消費税交付金	1,151,243	4.3	1,151,243	9.8	法人税割	158,367	2.6	33,467	
ゴルフ場利用税交付金	30,755	0.1	30,755	0.3	固定資産税	2,544,863	41.7		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	2,538,757	41.6		
自動車取得税交付金	1,462	0.0	1,462	0.0	軽自動車税	183,221	3.0		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	412,752	6.8		
自動車税環境性能割交付金	20,805	0.1	20,805	0.2	鉱産税	-	-		
法人事業税交付金	109,447	0.4	109,447	0.9	特別土地保有税	-	-		
地方特例交付金等	33,386	0.1	33,386	0.3	法定外普通税	-	-		
地方特例交付金	28,424	0.1	28,424	0.2	目的税	545,981	8.9		
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	4,962	0.0	4,962	0.0	法定目的税	545,981	8.9		
地方交付税	4,748,594	17.6	4,390,109	37.5	入湯税	33,162	0.5		
普通交付税	4,390,109	16.3	4,390,109	37.5	事業所税	-	-		
特別交付税	358,451	1.3	-	-	都市計画税	512,819	8.4		
震災復興特別交付税	34	0.0	-	-	水利地益税等	-	-		
（一般財源計）	12,412,497	46.1	11,541,193	98.5	法定外目的税	-	-		
交通安全対策特別交付金	5,405	0.0	5,405	0.0	旧法による税	-	-		
分担金・負担金	61,302	0.2	-	-	合計	6,107,227	100.0	33,467	
使用料	164,685	0.6	35,497	0.3					
手数料	372,624	1.4	-	-					
国庫支出金	4,896,606	18.2	-	-					
国有提供交付金（特別区財調交付金）	82,235	0.3	82,235	0.7					
都道府県支出金	1,583,129	5.9	-	-					
財産収入	46,683	0.2	21,266	0.2					
寄附金	404,848	1.5	-	-					
繰入金	1,698,593	6.3	-	-					
繰越金	494,272	1.8	-	-					
諸収入	543,305	2.0	27,016	0.2					
地方債	4,176,200	15.5	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	87,400	0.3	-	-					
歳入合計	26,942,384	100.0	11,712,612	100.0					

（注釈）  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	169,713	0.7	-	169,713	
総務費	2,448,591	9.4	76,517	1,937,788	
民生費	8,269,315	31.7	17,782	4,846,137	
衛生費	4,202,145	16.1	2,238,229	1,530,848	
労働費	5	0.0	-	5	
農林水産業費	1,269,567	4.9	818,998	437,423	
商工費	666,574	2.6	3,231	383,565	
土木費	1,870,956	7.2	1,000,627	981,796	
消防費	1,109,260	4.3	27,797	1,079,419	
教育費	4,309,978	16.5	2,653,178	1,527,903	
災害復旧費	62,581	0.2	-	17,593	
公債費	1,719,012	6.6	-	1,652,615	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	26,097,697	100.0	6,836,359	14,564,805	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	10,069,164	38.6	6,963,783	6,256,518	53.0
人件費	3,781,440	14.5	3,496,141	3,441,514	29.2
うち職員給	2,093,844	8.0	1,921,504	-	-
扶助費	4,568,712	17.5	1,815,027	1,162,389	9.9
元利償還金	1,719,012	6.6	1,652,615	1,652,615	14.0
うち元金	1,719,012	6.6	1,652,615	1,652,615	14.0
うち利子	1,650,748	6.3	1,584,833	1,584,833	13.4
一時借入金利子	68,264	0.3	67,782	67,782	0.6
その他の経費	9,129,593	35.0	7,026,920	4,913,213	41.6
物件費	3,309,679	12.7	2,317,360	1,605,892	13.6
維持補修費	65,489	0.3	60,429	60,429	0.5
補助費等	2,866,481	11.0	2,487,954	1,324,355	11.2
うち一部事務組合負担金	1,134,318	4.3	1,134,318	757,170	6.4
繰出金	2,403,290	9.2	1,998,325	1,922,537	16.3
積立金	322,276	1.2	135,474	-	-
投資・出資金・貸付金	162,378	0.6	27,378	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	6,898,940	26.4	574,102	-	-
うち人件費	185,764	0.7	185,764	-	-
普通建設事業費	6,836,359	26.2	556,509	-	-
うち補助	3,889,744	14.9	51,410	-	-
うち単独	2,829,237	10.8	487,069	-	-
災害復旧事業費	62,581	0.2	17,593	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	26,097,697	100.0	14,564,805	-	-



(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	26,942	26,098	844	749	1,699	21,451	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	26,942	26,098	844	749		21,451	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	5,939	5,787	152	152	426	-	-	-	
2 介護保険特別会計	6,532	6,275	257	257	1,051	-	-	-	
3 後期高齢者医療特別会計	869	865	4	4	209	-	-	-	
4 下水道事業会計	550	507	43	79	316	3,789	1,391	-	法適用企業
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
計 公営企業会計等				492		3,789	1,391		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純増益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 千葉県市町村総合事務組合/一般会計	22,493	18,905	3,589	3,589	216	-	-	
2 千葉県市町村総合事務組合/千葉県自治会館管理運営特別会計	187	162	26	26	-	-	-	
3 千葉県市町村総合事務組合/千葉県自治研修センター特別会計	104	94	10	10	1	-	-	
4 千葉県市町村総合事務組合/千葉県市町村交通災害共済特別会計	100	62	37	37	-	-	-	
5 千葉県後期高齢者医療広域連合/一般会計	2,922	2,446	476	476	58	-	-	
6 千葉県後期高齢者医療広域連合/特別会計	758,421	750,353	8,067	8,067	4,245	-	-	
7 南房総広域水道企業団/水道用供水供給事業会計	3,799	3,815	16	6	-	2,310	-	
8 安房郡市広域市町村圏事務組合/一般会計	3,773	3,552	221	221	-	2,000	2,000	
9 三芳水道企業団/水道事業会計	2,036	2,079	43	927	-	2,805	-	
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				13,359		7,115	2,000	

### 公債費負担の状況

### 将来負担の状況

[illegible]

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

[illegible]

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

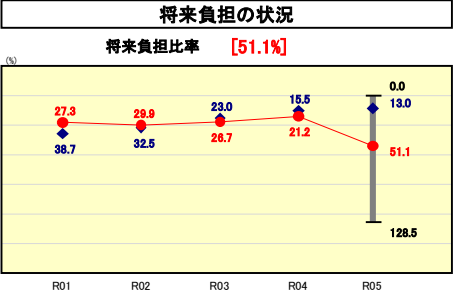
(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和5年度

千葉県館山市

人	44,160	人(R6.1.1現在)	突	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	43,572	人(R6.1.1現在)	連	結	実	実	赤	字	比	率
面積	110.05	k㎡	突	実	公	債	費	比	率	6.8
歳入総額	26,942,384	千円	将	来	負	担	比	率	51.1	%
歳出総額	26,097,697	千円	市	町	村	類	型	R01	I-3	R02
実収支	749,082	千円	(	年	度	毎	)	R04	I-3	R05
標準財政規模	11,588,381	千円								
地方債現在高	21,451,373	千円								

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



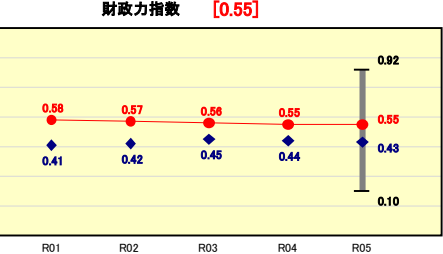
類似団体内順位 41/52  
全国平均 6.3  
千葉県平均 22.1

**将来負担比率の分析欄**

将来負担比率は、地方債の現在高などの増加により、令和4年度から29.9ポイント増加した。

今後は、公共施設の大規模改修事業（中学校建替事業、小学校大規模改修事業）により地方債現在高が増加し、数値の悪化が見込まれることから、引き続き「館山市公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的な施設更新や交付税算入率の高い起債の活用を行う。

財政力



類似団体内順位 9/52  
全国平均 0.48  
千葉県平均 0.68

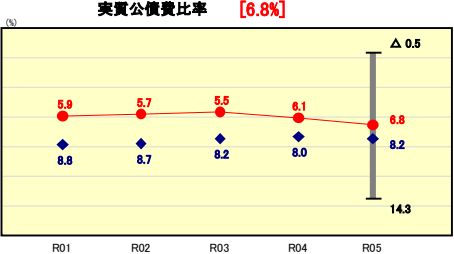
**財政力指数の分析欄**

財政力指数は、引き続き横ばいであり、類似団体より高い値となっている。

今後、人口減少や全国平均を大きく上回る高齢化率（46.8% 令和6年4月1日現在）により、市税収入の減少が見込まれるところである。

引き続き税収事務を強化し、歳入の確保に努める。

公債費負担の状況



類似団体内順位 17/52  
全国平均 5.6  
千葉県平均 5.8

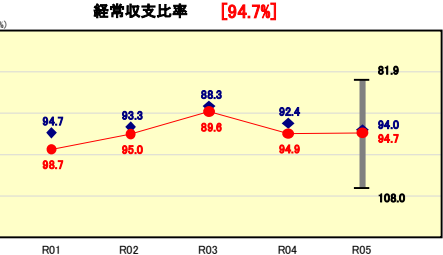
**実質公債費比率の分析欄**

実質公債費比率は、地方交付税や臨時財政対策債が減少したことにより、令和4年度から0.7ポイント増加した。

今後は、近年集中的に実施してきた教育施設耐震化事業に係る起債の償還開始及び大規模改修事業の着手による数値の悪化が見込まれる。

引き続き「館山市公共施設等総合管理計画」に基づき計画的に施設更新を行うことにより、普通建設事業の量をコントロールするよう努める。

財政構造の弾力性



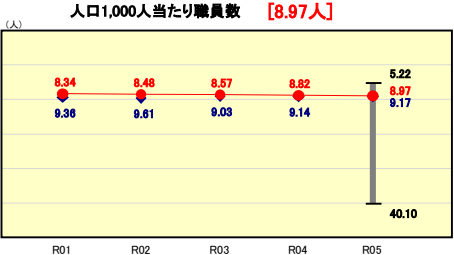
類似団体内順位 30/52  
全国平均 93.1  
千葉県平均 93.5

**経常収支比率の分析欄**

経常収支比率は、令和4年度から0.2ポイント減少となりました。歳入では、地方交付税や臨時財政対策債の減のほか、人口減少や少子高齢化に伴う市税等の経常的な収入減が引き続き課題となっている。

歳出では、物件費や扶助費の増があったものの、補助費や公債費が減少となりました。今後については、高齢化に伴う扶助費の増加や各会計への繰出金が増加する見込みであることから、第四次館山市行財政改革方針及び公共施設等総合管理計画に基づく事務事業や施設運営の見直しに努める。

定員管理の状況



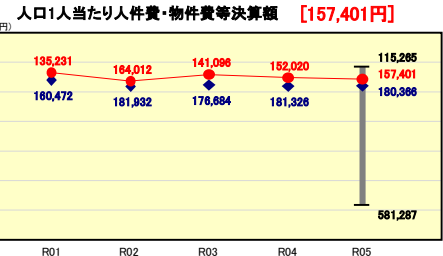
類似団体内順位 23/52  
全国平均 8.32  
千葉県平均 7.48

**人口1,000人当たり職員数の分析欄**

人口1,000人当たりの職員数は、ほぼ横ばいであり、類似団体平均を下回る状況が続いている。平成30年度には、人的資源の有効活用による効率的な組織・人件体制の構築を目的とした調査を実施し、組織の課題や適正な人員規模について検討を行った。

当該調査の結果等を受け策定した「第6期定員適正化計画」に基づき、一定水準まで職員を増員することとしているところだが、人的資源の確保と人件費の抑制を両立させるため、職員の資質向上、事務効率化や民間委託の推進により、さらに効率的な行政運営に努める。

人件費・物件費等の状況



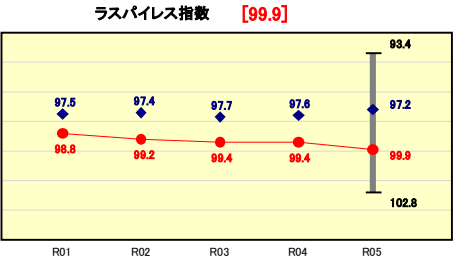
類似団体内順位 12/52  
全国平均 158,103  
千葉県平均 140,987

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

人口1人当たりの人件費・物件費等の決算額は、類似団体平均より低い値で推移している。

今後も、民間委託や事務の効率化を推進し、効率的な財政運営を継続するとともに、人件費・物件費を総合的に抑制できるよう努める。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 46/52  
全国市平均 98.6  
全国町村平均 96.3

**ラスバイレス指数の分析欄**

ラスバイレス指数は類似団体平均を上回っているものの、ほぼ適正な水準にあると考えている。

今後とも適正な昇給・昇格制度の運用等により、給与水準の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

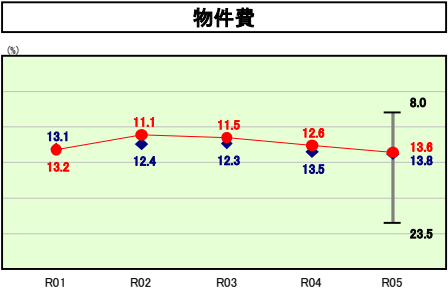
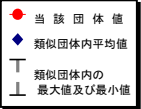
経常収支比率の分析

人口	44,160人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	43,572人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	110.05km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.8%
歳入総額	26,942,384千円	将来負担比率	51.1%
歳出総額	26,097,697千円		
実質収支	749,062千円	市町村類型	R01 I-3 R02 I-3 R03 I-3
標準財政規模	11,588,381千円	(年度毎)	R04 I-3 R05 I-3
地方債現在高	21,451,373千円		

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

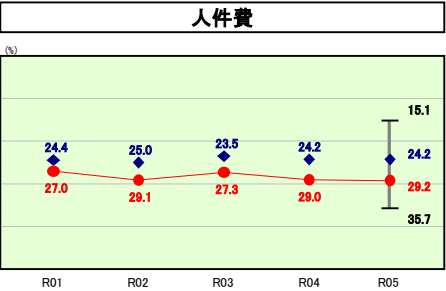
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**物件費の分析欄**

経常収支比率に係る物件費の割合は、清掃センター長寿寿命事業などにより、令和4年度から1.0ポイント増加したものの、類似平均団体よりも低い数値となっている。

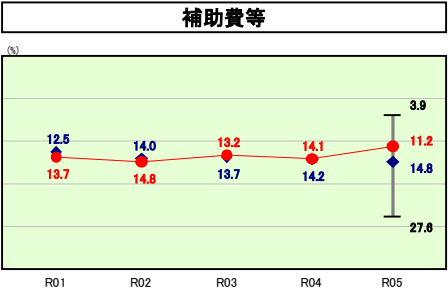
引き続き事務事業の取捨選択を行うとともに、窓口業務の集約化など、民間委託の推進による事務事業の効率化を図る



**人件費の分析欄**

経常収支比率に係る人件費の割合は、手当など職員給与費の増加に伴い、令和4年度から0.2ポイント増加した。

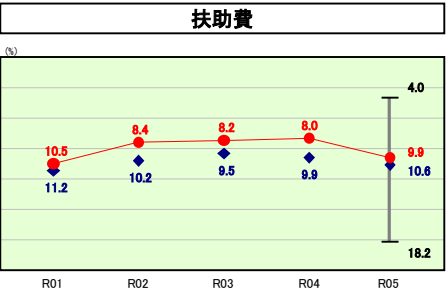
今後は、「館山市第四次行財政改革方針」に基づき、民間委託の推進を進めるとともに、事務作業の効率化を図ることにより経常的な支出に係る人件費の抑制を図る。



**補助費等の分析欄**

経常収支比率に係る補助費等の割合は、粗大ごみ処理施設運営を担う安房郡市広域市町村圏事務組合に対する負担金の減などにより、令和4年度から2.9ポイント減少した。

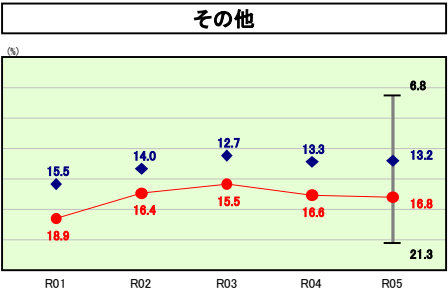
今後は関係市と連携し、公営企業や一部事務組合に経営改善を促すこと、水道事業の経営統合を進めること等により、経費の縮減に努める。



**扶助費の分析欄**

経常収支比率に係る扶助費の割合は、令和元年度までは概ね10%前後で推移していたが、令和2年度以降はやや低い値となった。令和5年度については、住民税非課税世帯給付金により、1.9ポイント増加した。

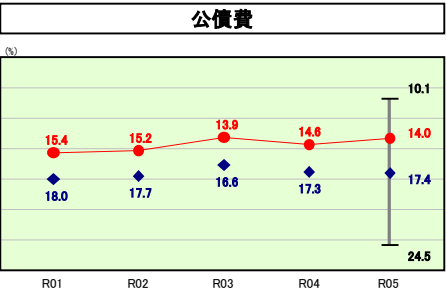
費用の性質から大幅な削減は困難と考えるが、市単独事業の見直し、医療費抑制の啓発や各福祉制度のより適切な運用により、扶助費の抑制に努める。



**その他の分析欄**

経常収支比率に係るその他の割合は後期高齢者医療療養給付費負担金現年度分の増に伴い、令和4年度から0.2ポイント増加した。

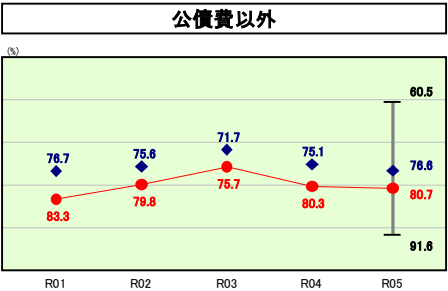
今後は、各会計での独立採算性を高める取り組み（医療費・介護給付費の抑制に係る施策など）を推進し、少しでも繰出金を減少させるよう努める。



**公債費の分析欄**

経常収支比率に係る公債費の割合は、令和4年度から0.6ポイント減少した。

今後、大規模改修事業の着手により、公債費の割合が高くなることが見込まれるため、引き続き計画的な普通建設事業の実施に努める。



**公債費以外の分析欄**

経常収支比率に係る公債費以外の割合は、類似団体平均及び全国平均と比較して高い値で推移している。これは、職員給与費等の人件費や特別会計への繰出金などの影響が大きいと考えられる。

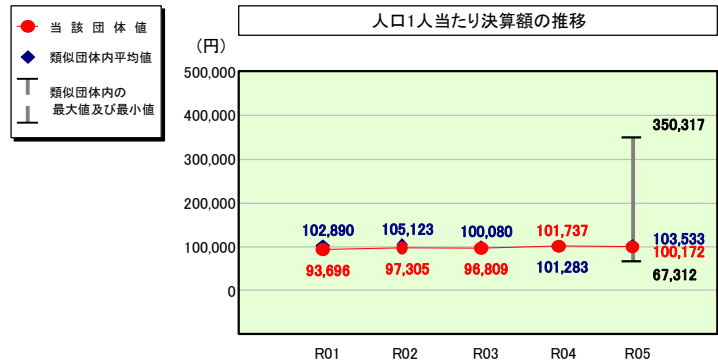
今後は、事務作業の効率化による人件費の抑制や各会計での独立採算性を高め、事業費を減少させるよう努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

千葉県館山市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

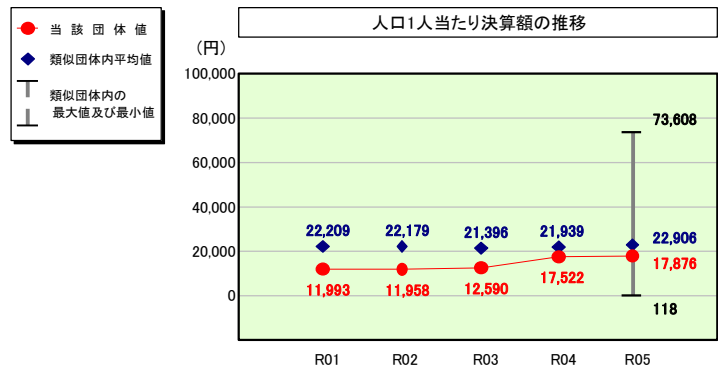
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,781,440	85,630	90,724	▲ 5.6
一部事務組合負担金 (補助費等)	562,806	12,745	11,342	12.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	63,841	1,446	1,033	40.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	16	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	221,290	5,011	3,647	37.4
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	185,764	4,207	1,693	148.5
▲退職金	▲ 391,557	▲ 8,867	▲ 4,922	80.2
合計	4,423,584	100,172	103,533	▲ 3.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	8.97	9.17	▲ 0.20
ラスパイレス指数	99.9	97.2	2.7

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

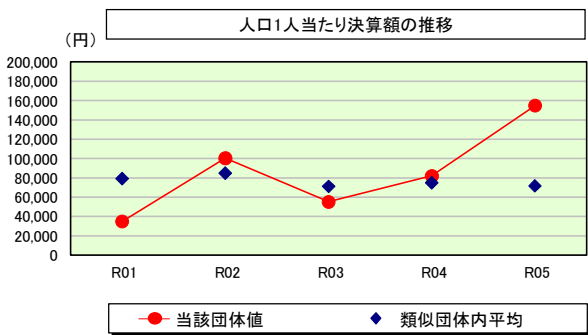
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,719,012	38,927	59,793	▲ 34.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	316,641	7,170	14,599	▲ 50.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	139,644	3,162	2,530	25.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	71,996	1,630	188	767.0
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 284,843	▲ 6,450	▲ 4,866	32.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,173,062	▲ 26,564	▲ 49,341	▲ 46.2
合計	789,388	17,876	22,906	▲ 22.0

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

		当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
			当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
R01		1,614,616	34,978	43.3	79,288	21.8	21.5
	うち単独分	638,333	13,828	4.1	41,870	9.6	▲ 5.5
R02		4,599,602	100,500	187.3	84,962	7.2	180.1
	うち単独分	1,769,494	38,663	179.6	42,793	2.2	177.4
R03		2,506,597	55,376	▲ 44.9	71,279	▲ 16.1	▲ 28.8
	うち単独分	1,253,713	27,697	▲ 28.4	36,731	▲ 14.2	▲ 14.2
R04		3,671,615	82,181	48.4	74,994	5.2	43.2
	うち単独分	1,802,794	40,352	45.7	36,188	▲ 1.5	47.2
R05		6,836,359	154,809	88.4	71,849	▲ 4.2	92.6
	うち単独分	2,829,237	64,068	58.8	36,144	▲ 0.1	58.9
過去5年間平均		3,845,758	85,569	64.5	76,474	2.8	61.7
	うち単独分	1,658,714	36,922	52.0	38,745	▲ 0.8	52.8

## (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

千葉県館山市

人口	44,160	人(前.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%				
うち日本人	43,572	人(前.1.1現在)	通	算	実	質	赤	字	比	率	-	%		
面積	110.05	km <sup>2</sup>	実	質	公	債	費	比	率	6.8	%			
歳入総額	26,942,384	千円	将	来	負	担	比	率	51.1	%				
歳出総額	26,097,697	千円	市	町	村	類	型		R01	I-3	R02	I-3	R03	I-3
歳入収支	744,682	千円	(	年	度	毎	)		R04	I-3	R05	I-3		
国庫財政権高	11,588,381	千円												
地方債残高	21,451,373	千円												

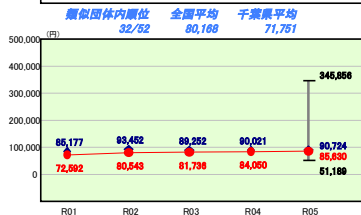


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

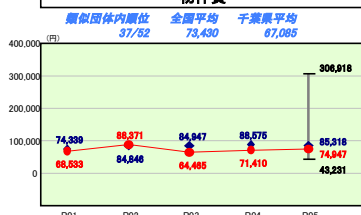
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

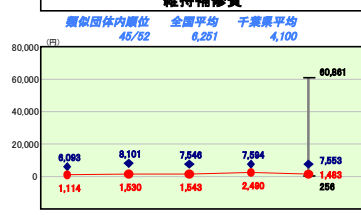
人件費



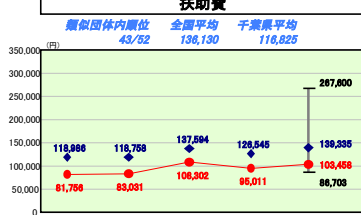
物件費



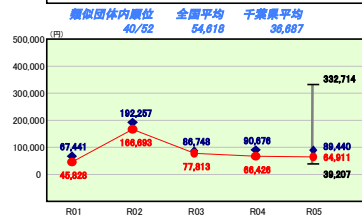
維持補修費



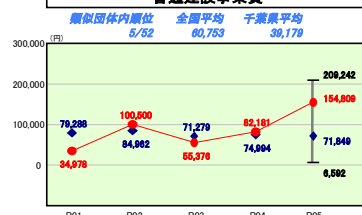
扶助費



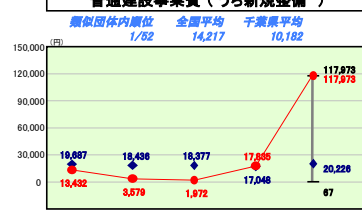
補助費等



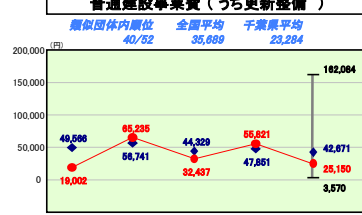
普通建設事業費



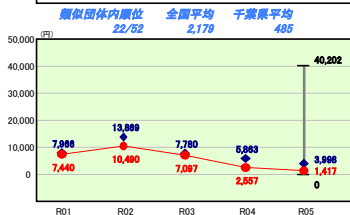
普通建設事業費(うち新規整備)



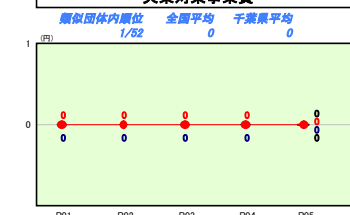
普通建設事業費(うち更新整備)



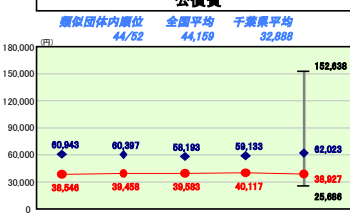
災害復旧事業費



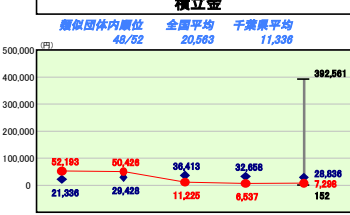
失業対策事業費



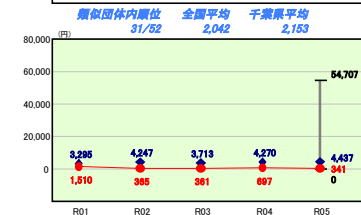
公債費



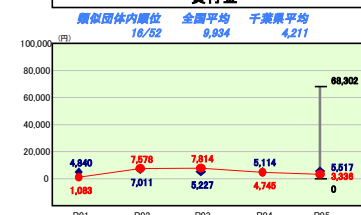
積立金



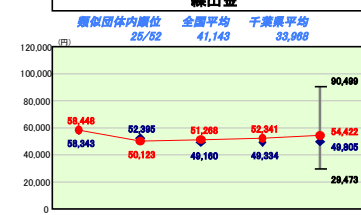
投資及び出資金



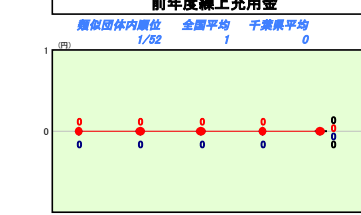
貸付金



繰出金



前年度繰上充用金



### 性質別歳出の分析値

令和5年度歳出決算総額に対する住民1人当たりのコストは、590,980円(前年度\*82,418円)となっており、令和4年度と比較すると普通建設事業費で大幅な増加となっている。

これは、公共施設の大規模改修事業(中学校建替事業、清掃センター長寿命化対策事業)の実施によるものである。

そのほかでは、人件費で手当など職員給与費の増加に伴う増、物件費で廃棄物の外部処理委託の実施に伴う増などがあげられる。

今後効率的な財政運営を継続するとともに、経常収支比率の改善により、各事業に必要な支出が確保できるような財政運営に努める。

## (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

千葉県館山市

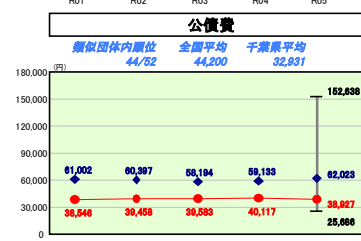
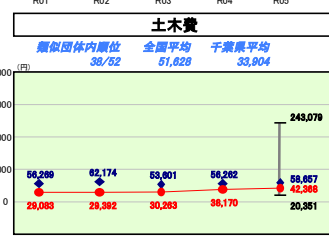
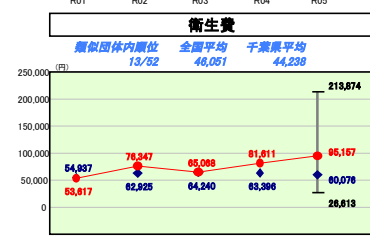
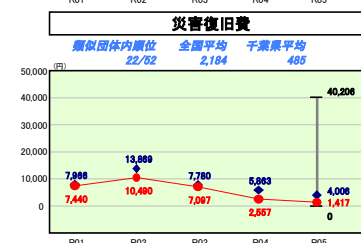
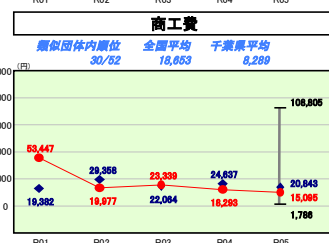
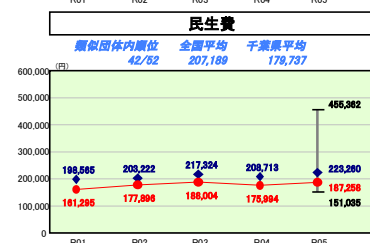
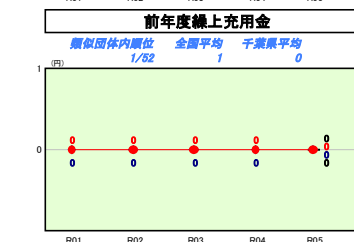
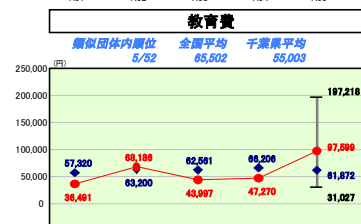
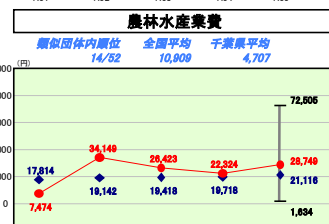
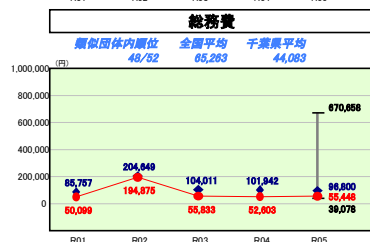
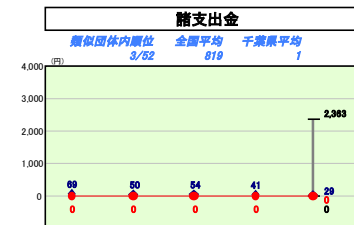
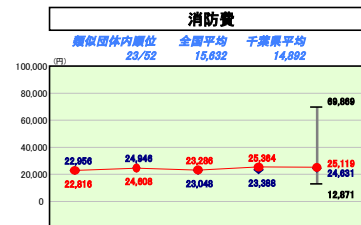
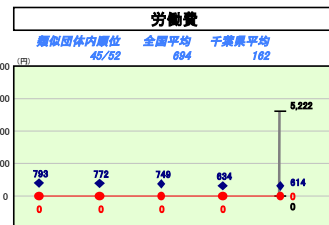
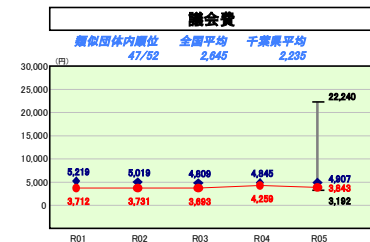
人口	44,160	人(国.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%				
うち日本人	43,572	人(国.1.1現在)	通	結	実	質	赤	字	比	率	-	%		
面積	110.05	km <sup>2</sup>	実	質	公	債	費	比	率	6.8	%			
歳入総額	26,942,384	千円	得	来	負	担	比	率	51.1	%				
歳出総額	26,097,697	千円	市	町	村	類	型		R01	I-3	R02	I-3	R03	I-3
歳入収支	744,682	千円	(	年	度	毎	)		R04	I-3	R05	I-3		
国庫財政補填	11,588,361	千円												
地方債現在高	21,451,373	千円												



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 目的別歳出の分析概

令和5年度歳出決算総額に対する住民1人当たりのコストは、590,980円(前年度\*82,418円)となっており、令和4年度と比較すると教育費で大幅な増加となっている。

これは、教育費で中学校建替事業の実施によるものである。

そのほかでは、衛生費で清掃センター長寿命化対策工事や工事に伴う廃棄物の外部処理委託の実施による増などがあげられる。

今後も効率的な行政運営を継続するとともに、市民のニーズに合う行政サービスを厳選し、各事業に必要な支出を確保するよう努める。

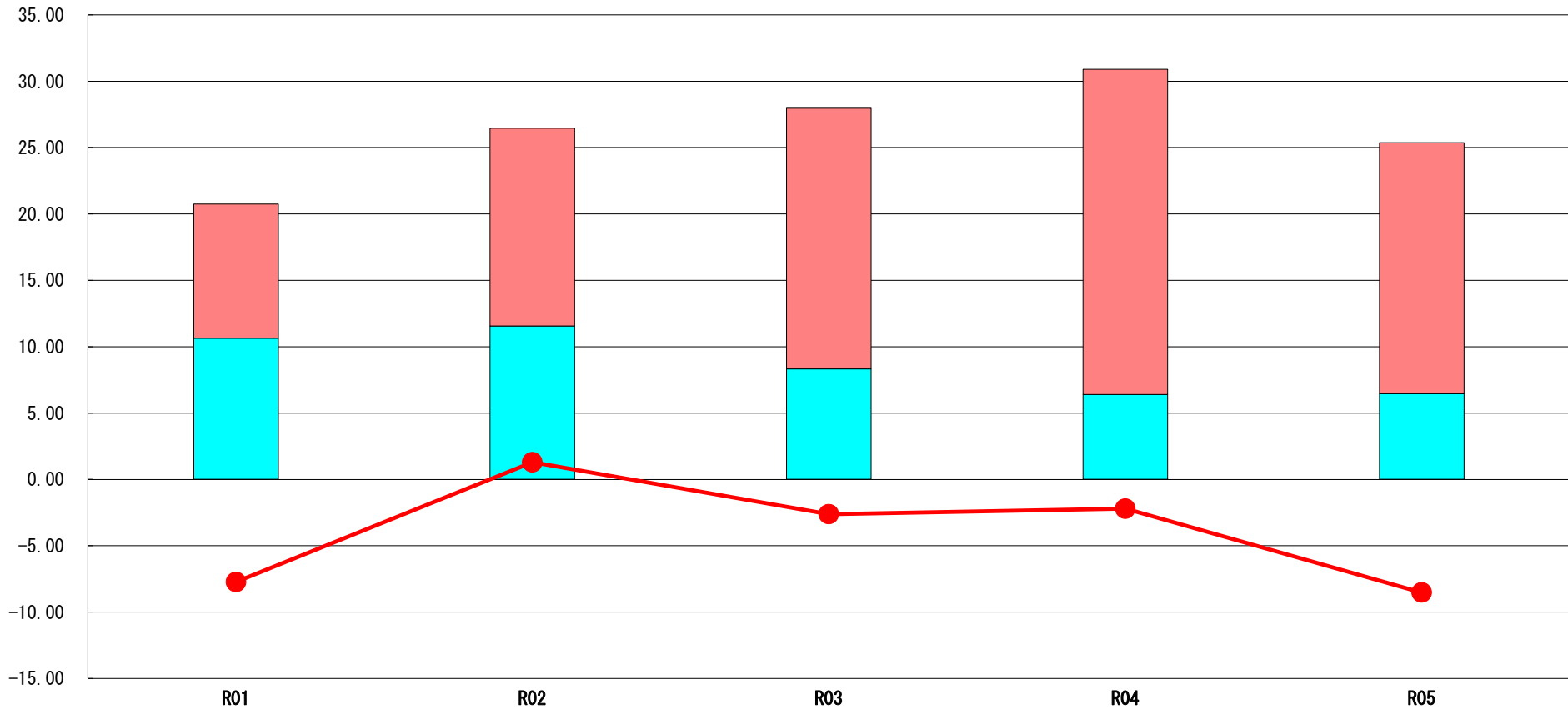


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

千葉県館山市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	R01	R02	R03	R04	R05
財政調整基金残高		10.11	14.89	19.62	24.51	18.90
実質収支額		10.64	11.56	8.34	6.39	6.46
実質単年度収支		▲ 7.73	1.30	▲ 2.62	▲ 2.20	▲ 8.52

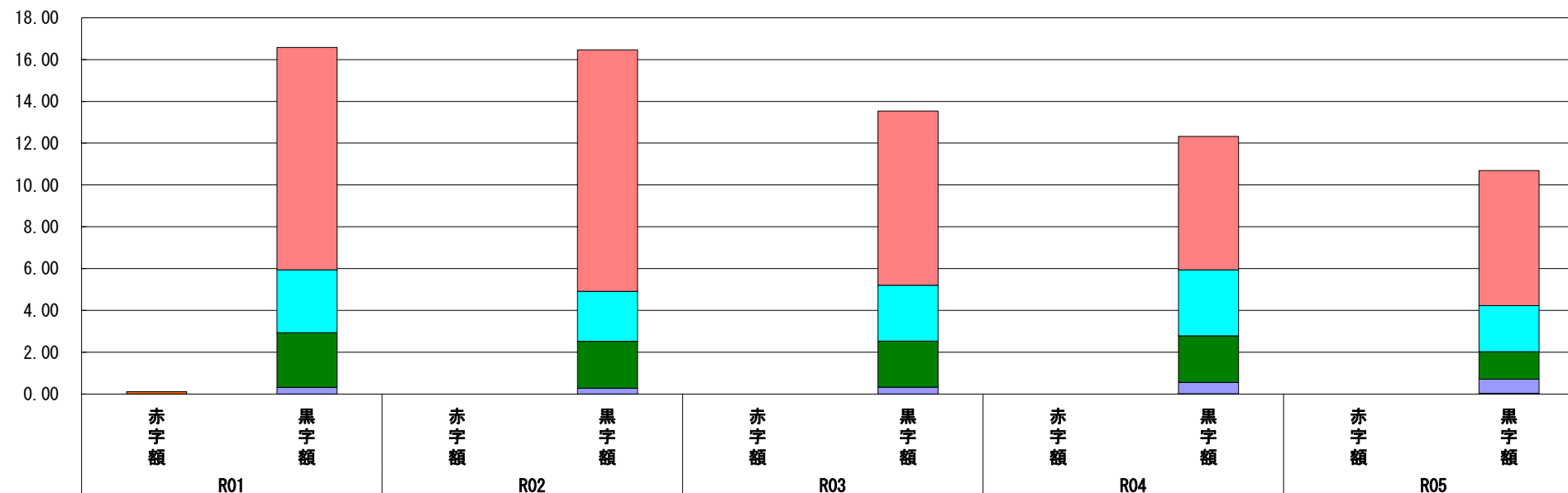
分析欄

令和5年度標準財政規模比における実質収支額は黒字となったが、実質単年度収支は赤字となっている。これは令和5年度の実質収支額が赤字であった前年度とほぼ横ばいであり、単年度収支額が赤字となったためである。また財政調整基金は、1,000百万円取崩しを行った。








当市を取り巻く厳しい財政状況は今後も継続すると考えられるが、事務事業の見直し、施設の統廃合や民間委託の推進など行財政改革に着手することで、健全な財政運営に努める。

## 千葉県館山市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

年度		R01	R02	R03	R04	R05
会計						
	一般会計	10.64	11.55	8.34	6.39	6.46
	介護保険特別会計	3.01	2.40	2.67	3.16	2.21
	国民健康保険特別会計	2.61	2.24	2.20	2.23	1.31
	下水道事業会計	0.32	0.28	0.33	0.54	0.68
	後期高齢者医療特別会計	▲ 0.11	0.00	0.00	0.01	0.03
	その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
	その他会計（黒字）	-	-	-	-	-

分析欄

令和元年度を除き、すべての会計において赤字は発生していない。

なお、令和元年度標準財政規模比における後期高齢者医療特別会計において発生した赤字は、千葉県後期高齢者医療広域連合へ保険料を支出した後、台風災害に伴う保険料の減免措置を行ったことにより、保険料収入額が減少したためであり、令和2年度に当該一部事務組合からの返還金をもって精算された。

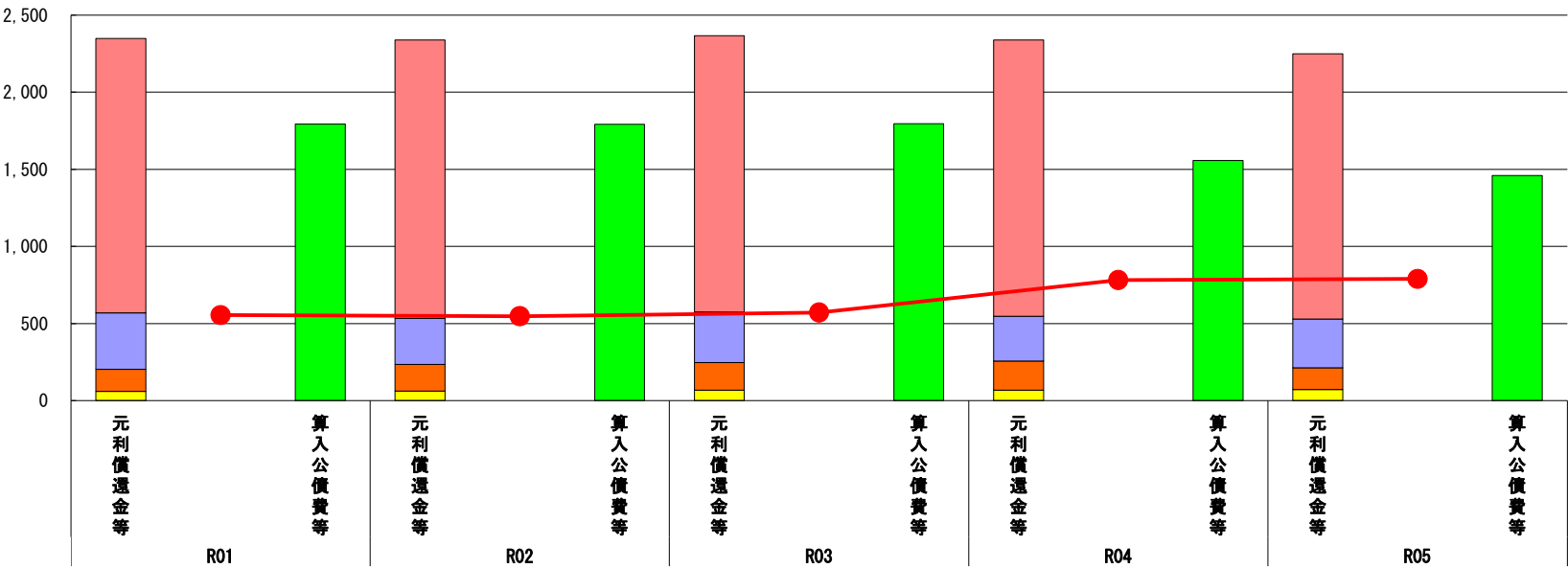
今後も各会計において赤字が発生しないよう、財政運営に努める。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県館山市

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,779	1,806	1,792	1,792	1,719
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		367	298	328	290	317
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		143	174	178	189	140
	債務負担行為に基づく支出額		59	61	68	68	72
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,794	1,792	1,795	1,557	1,459
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		554	547	571	782	789

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

分析欄
令和5年度の実質公債費率の分子は、算入公債費等において、都市計画税などの特定財源の減少や地方交付税の算定における基準財政需要額（公債費）の減などにより、令和4年度から7百万円増加した。
今後、公共施設の大規模改修事業実施に伴い、元利償還金の増が見込まれるため、「館山市公共施設等総合管理計画」に基づく計画的な施設の更新や、交付税参入率の高い地方債の活用等により、新規発行債の平準化と抑制に努める。

(参考)		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		-	-	-	-	-

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

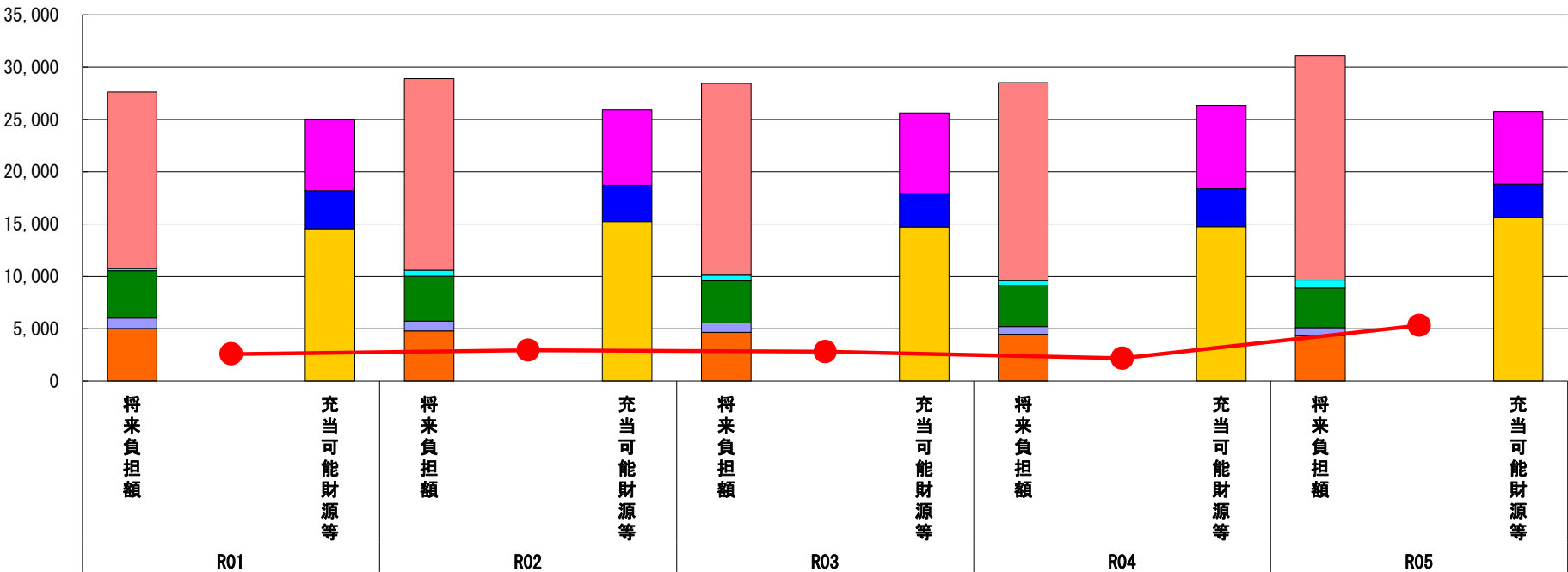
分析欄
平成28年度から令和2年度における減債基金残高は0円であるが、令和3年度と令和5年度に地方交付税の追加交付があったことに伴い、積立を行った。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

千葉県館山市

(百万円)



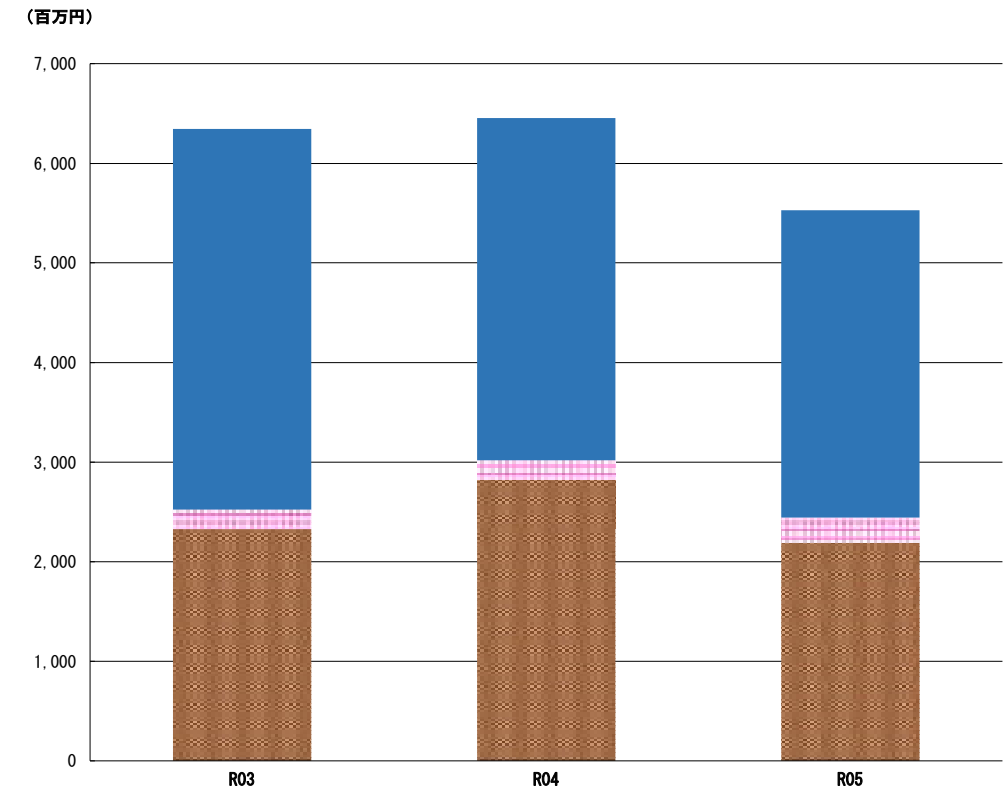
(百万円)




分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		16,846	18,290	18,314	18,926	21,451
	債務負担行為に基づく支出予定額		231	567	549	484	761
	公営企業債等繰入見込額		4,515	4,293	4,039	3,911	3,789
	組合等負担等見込額		1,000	952	897	737	768
	退職手当負担見込額		5,036	4,794	4,667	4,476	4,340
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		6,838	7,215	7,722	7,957	6,954
	充当可能特定歳入		3,641	3,471	3,197	3,644	3,204
	基準財政需要額算入見込額		14,555	15,244	14,730	14,747	15,620
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,595	2,965	2,816	2,186	5,331

分析欄

令和5年度の将来負担比率の分子は、地方債現在高の増により、令和4年度から3,145百万円増加した。  
今後、公共施設の大規模改修事業実施に伴い、元利償還金の増が見込まれるため、「館山市公共施設等総合管理計画」に基づく計画的な施設の更新や、交付税参入率の高い地方債の活用等により、新規発行債の平準化と抑制に努める。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	R03	R04	R05
 財政調整基金		2,326	2,821	2,190
 減債基金		197	197	252
 その他特定目的基金	前澤友作館山応援基金	1,660	1,446	1,334
	館山市庁舎等建設基金	1,420	1,402	1,275
	フレフレ・たてやま応援基金	90	106	129
	館山市子ども・子育て支援基金	116	129	116
	館山市観光振興基金	55	77	91
	基金残高合計	6,345	6,456	5,527

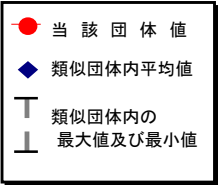
令和5年度	千葉県館山市
<div>基金全体</div> <p>(増減理由)</p> <p>基金全体としては、令和5年度は前年度から929百万円の減少となった。</p> <p>基金減の要因として、財政調整基金において1,000百万円の取崩しを行ったことにより減少した。</p> <p>その他特定目的基金は、前澤友作館山応援基金や館山市子ども・子育て支援基金、庁舎等建設基金等の取崩しにより、減少した。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>各年度の財政需要に対応するため、財政調整基金は現状維持が精一杯の状況である。</p> <p>財政調整基金は、安定的な財政運営のため、目標額の残高となるように積み増すことを目指す。</p> <p>特定目的基金は、当市の厳しい財政状況を考慮しつつ、目的に則した積立及び取崩しを行い、安定した財政運営に資するよう活用する。</p>	
<div>財政調整基金</div> <p>(増減理由)</p> <p>財政調整基金における増減理由は、令和4年度決算における決算剰余金の積立（369百万円）を行った一方で、取崩し（1,000百万円）を行ったことにより減少した。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>県内自治体における標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合は、令和5年度決算において平均17.1%であり、この比率と当市の標準財政規模から算出される財政調整基金残高は、約20億円となる。当市は依存財源の割合が高いことや、過去の災害を踏まえた今後の備え、経常収支比率の動向を踏まえると、県内平均規模である20億円程度を目標額として積み増すことを目指す。</p>	
<div>減債基金</div> <p>(増減理由)</p> <p>減債基金における増減理由は、令和5年度に地方交付税の追加交付があったことに伴い、積立を行った。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>令和3年度、令和5年度積立分（普通交付税の追加交付）は、今後、公債費が増加する時期を目安に取崩しとする。</p>	
<div>その他特定目的基金</div> <p>(基金の使途)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>前澤友作館山応援基金：前澤友作氏からの寄附を原資として、未来への発展に資する事業や観光振興事業等に充当</li><li>館山市庁舎等建設基金：基金運用利子を原資として、庁舎及び教育施設の建設に係る事業に充当</li><li>フレフレ・たてやま応援基金：ふるさと納税を原資として、寄附者の意思を具体化し、多様な人々の参加による個性あるまちづくりに資する事業に充当</li><li>館山市子ども・子育て支援基金：ふるさと納税を原資として、子ども・子育て支援に関する事業（遊具購入や園建設等の施設管理）に充当</li><li>館山市観光振興基金：ふるさと納税等を原資として、観光振興に関する事業に充当</li></ul> <p>(増減理由)</p> <p>その他特定目的基金は、食のまちづくり拠点施設整備や中小企業融資事業への充実に伴う前澤友作館山応援基金の取崩し、中学校建替事業への充実に伴う館山市庁舎等建設基金の取崩し、清掃センター長寿命化対策事業への充実に伴う館山市環境保全基金の取崩しなどにより、減少となった。</p> <p>(今後の方針)</p> <p>当市の厳しい財政状況を考慮するとともに、基金を充当する事業、積立目標額を明確化し、財政運営への適切な活用を図る。</p>	

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

令和5年度

千葉県館山市

人	44,160	人(R6.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	43,572	人(R6.1.1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面 積	110.05	km <sup>2</sup>	実 質 公 債 費 比 率	6.8	%
歳 入 総 額	26,942,384	千円	将 来 負 担 比 率	51.1	%
歳 出 総 額	26,097,697	千円	市 町 村 類 型	R01 I-3 R02 I-3 R03 I-3	
実 質 収 支	749,062	千円	( 年 度 毎 )	R04 I-3 R05 I-3	
標準財政規模	11,588,381	千円			
地方債現在高	21,451,373	千円			

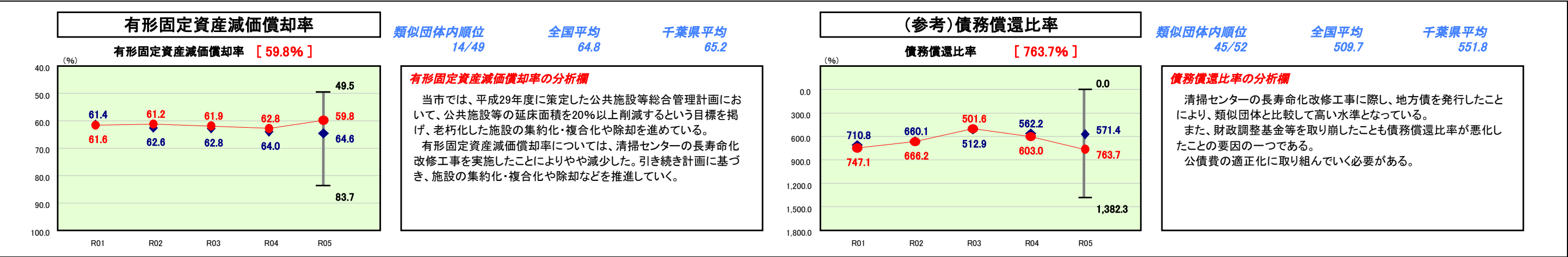


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

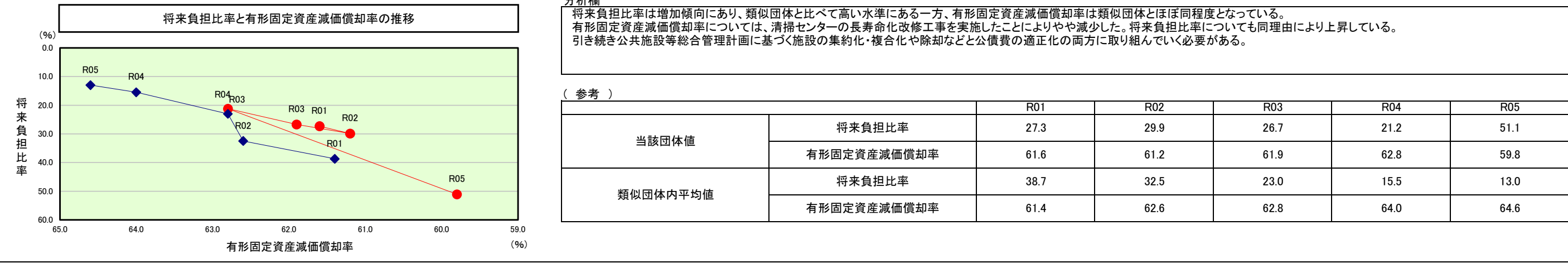
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

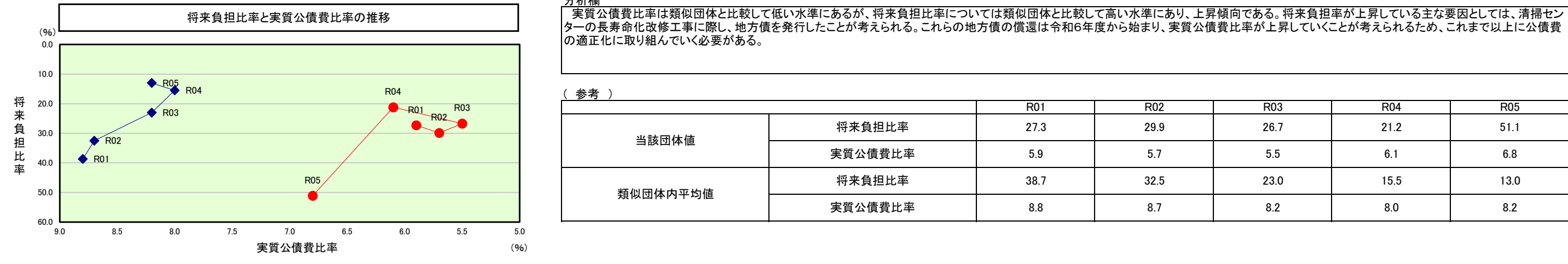
※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



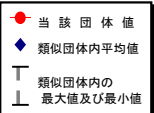


(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和5年度

千葉県館山市

人口	44,160人(86.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	43,572人(86.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	110.05km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.8%
歳入総額	26,942,384千円	将来負担比率	51.1%
歳出総額	26,097,697千円	市町村類型	R01 I-3 R02 I-3 R03 I-3
実質収支	749,062千円	(年度毎)	R04 I-3 R05 I-3
標準財政規模	11,588,381千円		
地方債現在高	21,451,373千円		

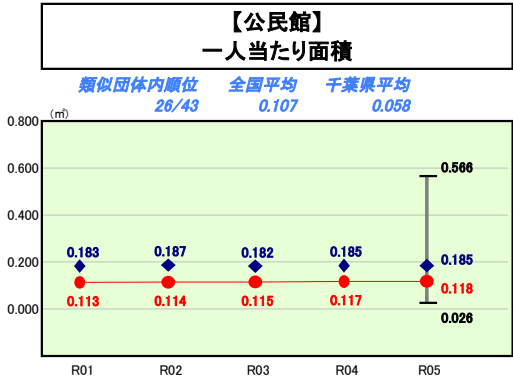
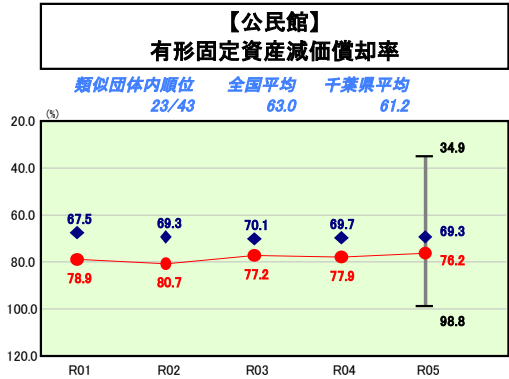
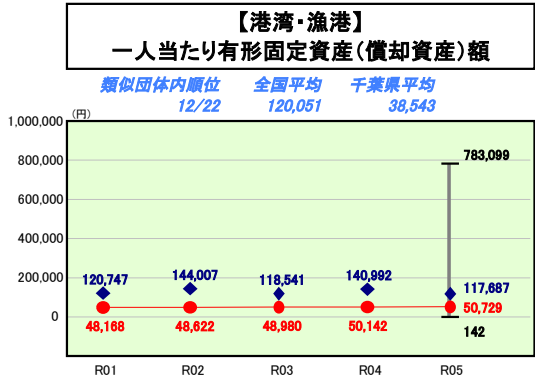
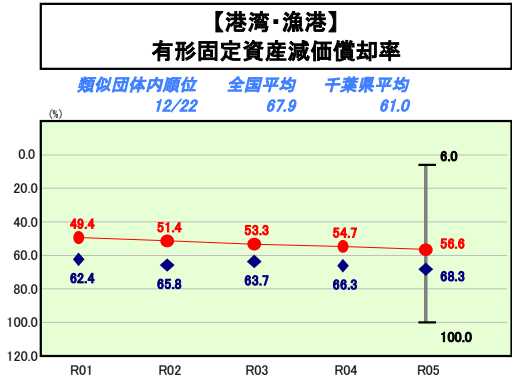
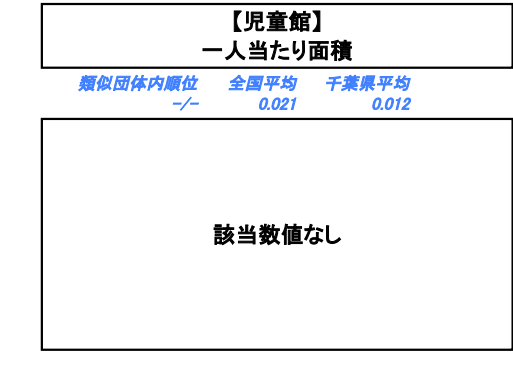
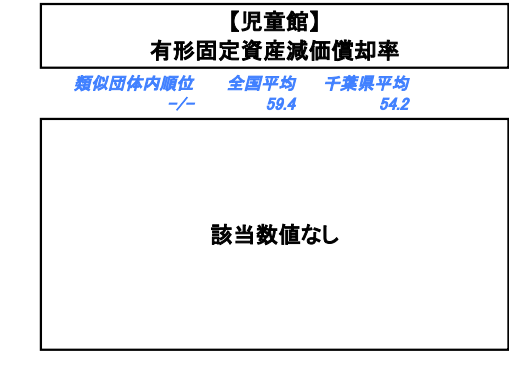
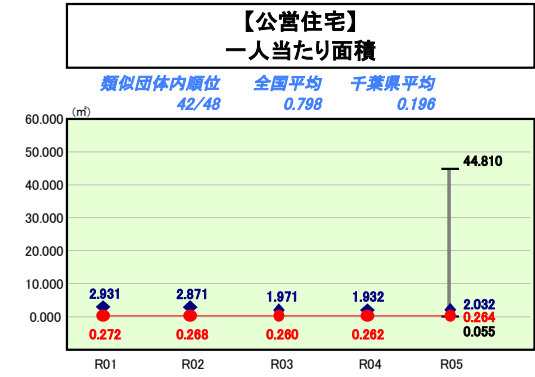
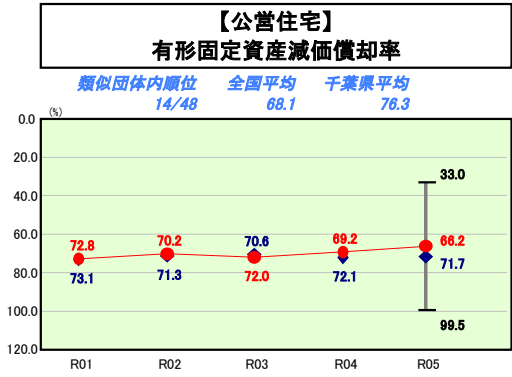
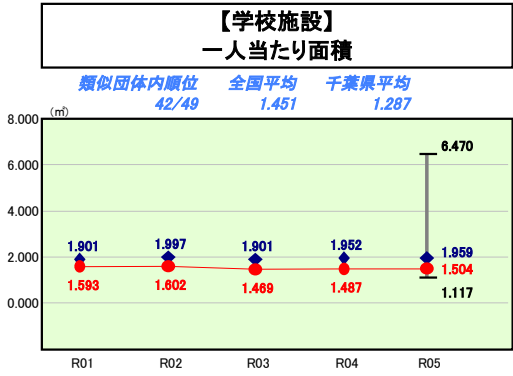
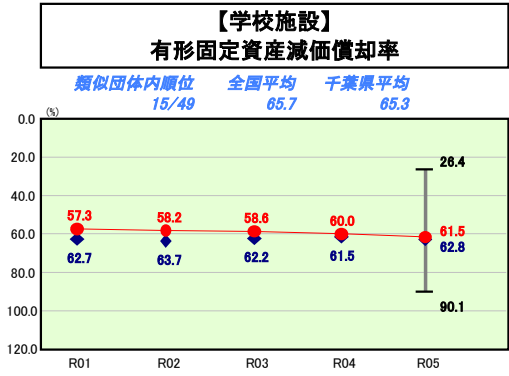
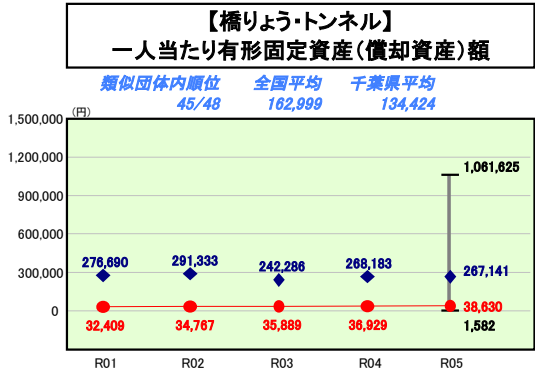
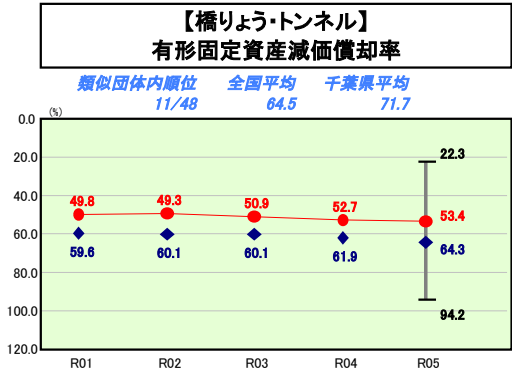
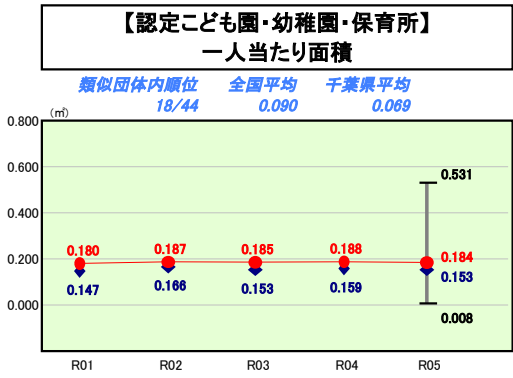
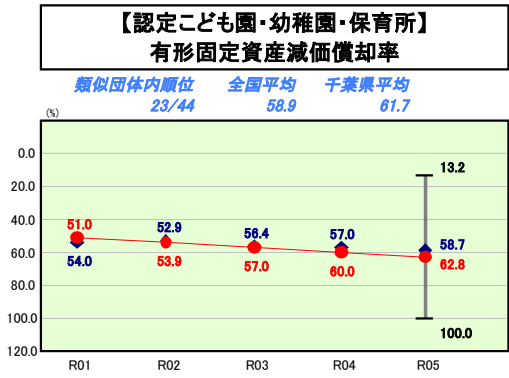
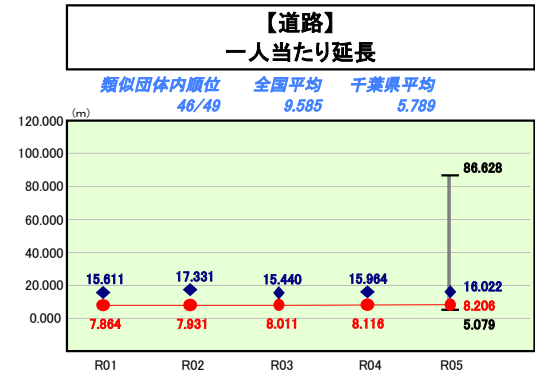
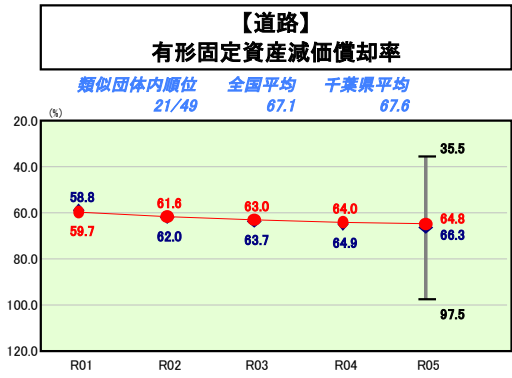


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に记载されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析欄

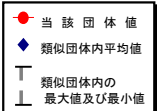
ほとんどの類型において、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っているものの、公民館については、類似団体平均を上回っている。  
これは、1970年代に多くの公民館が建設されており、耐用年数である24年を経過したためである。適切に日々の修繕を行っているため、使用する上での問題はない。

(13)ー2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和5年度

千葉県館山市

人口	44,160	人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	43,572	人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	110.05	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.8	%
歳入総額	26,942,384	千円	将来負担比率	51.1	%
歳出総額	26,097,697	千円	市町村類型	R01 I-3 R02 I-3 R03 I-3	
実質収支	749,062	千円	(年度毎)	R04 I-3 R05 I-3	
標準財政規模	11,588,381	千円			
地方債現在高	21,451,373	千円			

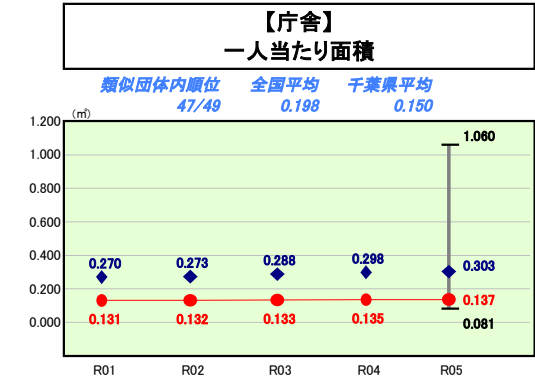
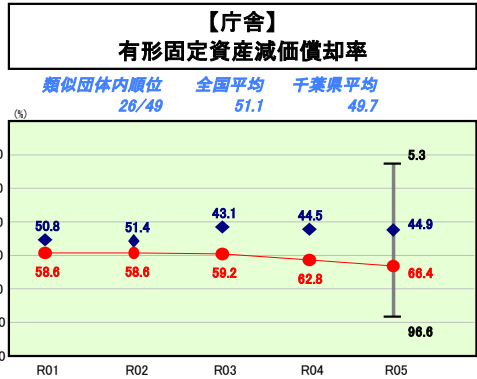
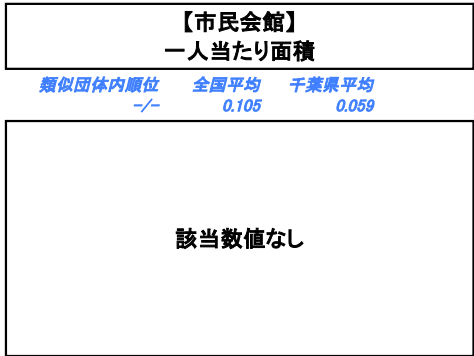
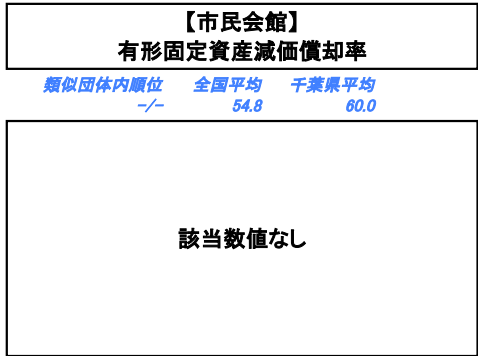
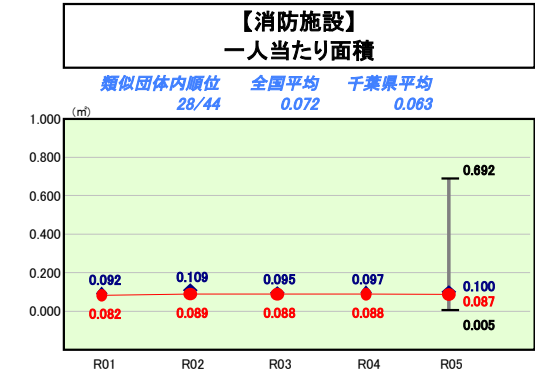
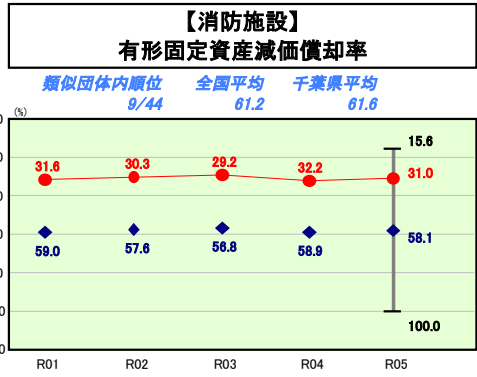
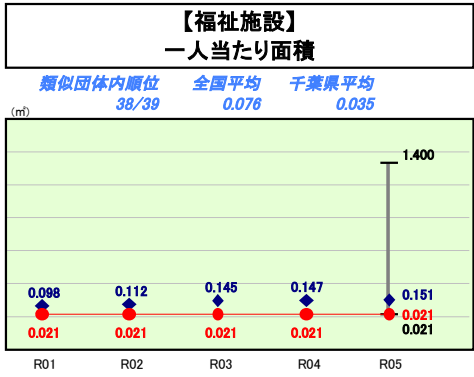
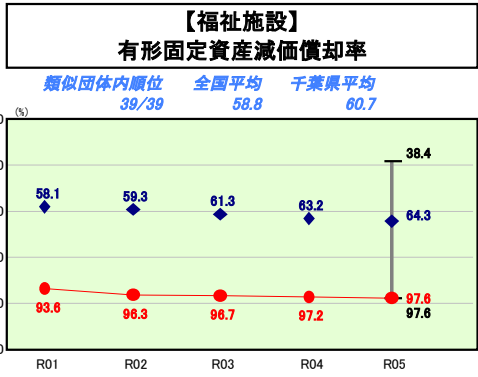
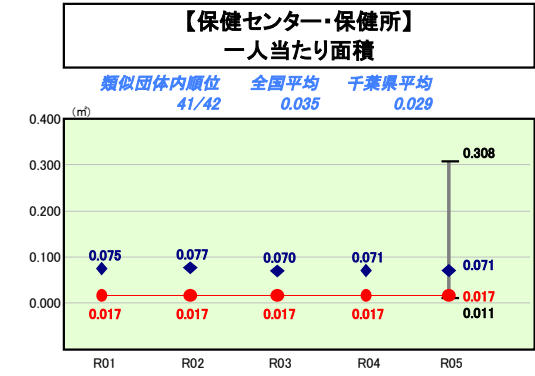
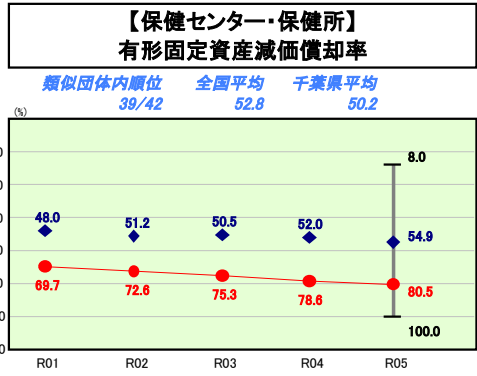
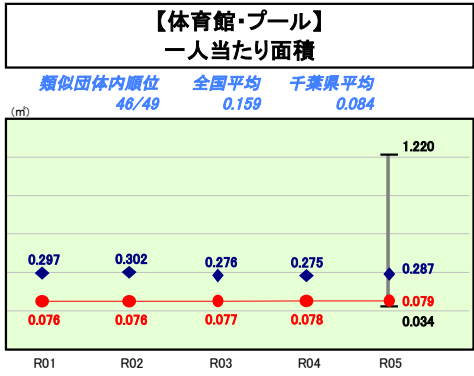
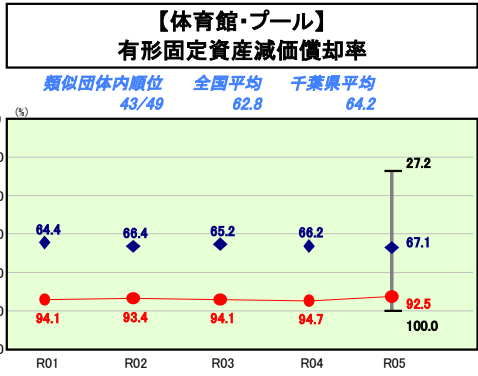
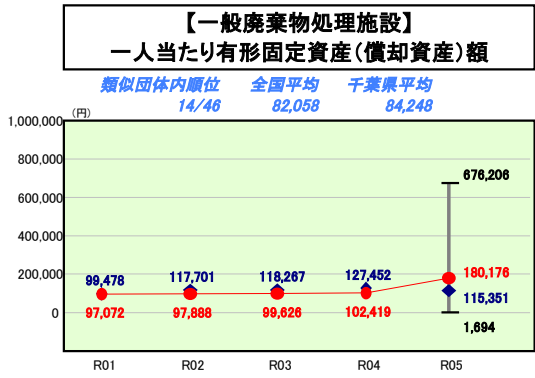
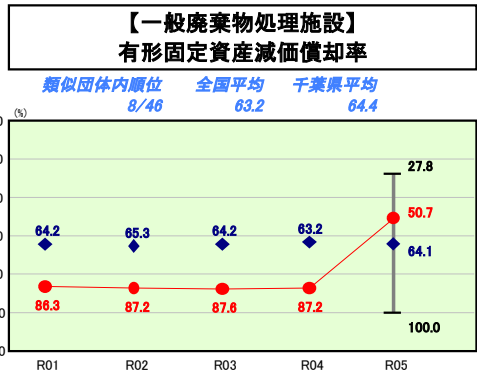
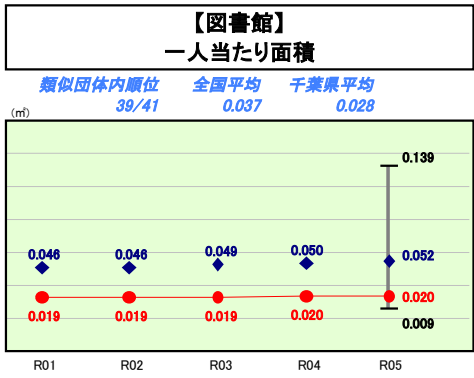
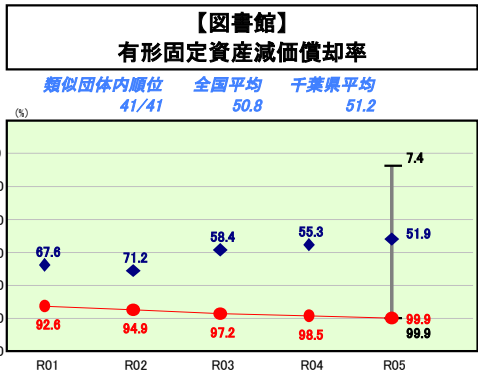


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析欄

一般廃棄物処理施設の有形固定資産減価償却率は、今年度大幅に改善した。理由は清掃センターの長寿命化改修工事を実施したためである。  
また、庁舎の有形固定資産減価償却率が類似団体平均を下回っているが、これは1960年に建築され、耐用年数である50年を経過したためである。(2012年に耐震改修工事を実施)  
それ以外の類型においても、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を上回っているため、引き続き計画に基づき、施設の集約化・複合化や除却などを推進していく。